書評 201812

フェルメール～作品と画家のとっておき知識～
千足　伸行 著
河出書房新社
あなたをもっとフェルメール通にする入門書。「牛乳を注ぐ女」「真珠の耳飾りの少女」など 12 作品の見どころや謎などを解説するほか、技法やモチーフに込められた意味、画家の素顔、フェルメール作品を襲った事件を紹介する。

産経新聞 2018/12/01

2018:9./ 182p 図 版 16p
978-4-309-25608-5
本体 ¥920+税

消えたフェルメール(インターナショナル新書 029)
朽木　ゆり子 著
集英社インターナショナル
1990 年に米ボストンの美術館から盗まれて以来、行方が知れないフェルメール作品「合奏」。他のフェルメール作品盗難事件を例にさまざまに分析・推理をしつつ、FBI の最新捜査情報をもとに「合奏」の現在を追う。

産経新聞 2018/12/01

2018:10./ 222p
978-4-7976-8029-4
本体 ¥860+税

役人道入門～組織人のためのメソッド～　新装版(中公新書ラクレ 637)
久保田　勇夫 著
中央公論新社
国家、国民への義務を果たすために、役人は何を心がけ、何をなすべきか。国内外における自らの経験に基づき、心の病の克服法や成熟した政と官の関係、世界の役人道などを綴った指南書。役人学の真髄を込めた自伝的回顧録。

産経新聞 2018/12/02

2018:11./ 293p
978-4-12-150637-5
本体 ¥880+税

鳩と桜 防衛大学校の日々
宮嶋　茂樹 著
文藝春秋
国家防衛の志を同じくする学生たちの、濃密な青春時代。初めての登校日から、射撃訓練、開校記念祭、卒業式、さらには校友会活動、制服図鑑まで、防衛大学校のすべてをオールカラーで収めた写真集。

産経新聞 2018/12/02

2018:10./ 1 冊(ページ付なし)
978-4-16-390851-9
本体 ¥8,500+税

ゴー・ホーム・クイックリー
中路　啓太 著
文藝春秋
終戦直後の昭和 21 年初め、最高司令官総司令部(GHQ)が、憲法草案を押し付けてきた。この時、日本の未来のために抗った官僚と政治家たちの戦いを描く。『別冊文藝春秋』連載を単行本化。

産経新聞 2018/12/02

2018:11./ 356p
978-4-16-390932-5
本体 ¥1,850+税

- ご注文の際には，タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部（課）までお申し付けください。
- 表示価格は 2019 年 1 月時点での税抜価格です。

MARUZEN-YUSHODO
丸善雄松堂株式会社 ［学術情報ソリューション事業部 和書企画グループ］
〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町 10-10
TEL.03-6367-6077 FAX.03-6367-6207 URL kw.maruzen.co.jp

西欧の東(エクス・リブリス)
ミロスラフ・ペンコフ 著
白水社
1969 年、脳梗塞で倒れた妻とともに介護施設に入居する 71 歳の主人公。彼が偶然発見したものは…。「マケドニア」をはじめ、過去と現在を行き来しながら紡がれる 8 つの物語。ブルガリア出身の新鋭によるデビュー短篇集。

産経新聞 2018/12/02

2018:10./ 306p
978-4-560-09271-2
本体 ¥2,800+税

島の地理学～小さな島々の島嶼性～
スティーヴン・A.ロイル、中俣 均 著
法政大学出版局
地球のあらゆる海域に分布する、多様な島々。遠隔性、狭小性などの制約に光を当て、島ならではの自然と人間社会との関わりを、自然地理学と人文地理学の視点から描き出す。移民の政治、ツーリズムの問題なども取り上げる。

産経新聞 2018/12/02

2018:8./ 9p,308p,18,8p
978-4-588-37714-3
本体 ¥4,400+税

社会学はどこから来てどこへ行くのか
岸 政彦、北田 暁大、筒井 淳也、稲葉 振一郎 著
有斐閣
事実とは何か。理解とは何か。社会とは何か。理論と方法の根源に遡行し、「社会問題」の現場へと向かう。「理論」「量的」「質的」の 3 つの領域の社会学者によるリレー対談・鼎談を収録。

産経新聞 2018/12/02

2018:11./ 3p,368p
978-4-641-17441-2
本体 ¥2,200+税

ぼくら「昭和 33 年」生まれ～「同級生」集合、みんなの自伝～
四家 秀治 著
言視舎
「花の中 3 トリオ」、原辰徳、秋元康、岡田惠和、マドンナ…。分野を超えた「同級生」たちの活躍を追うことで、「昭和 33 年度」生まれが辿ってきた 60 年の歴史を再現する。藤沢周、小宮悦子へのインタビューも収録。

産経新聞 2018/12/02

2018:10./ 257p
978-4-86565-131-7
本体 ¥1,600+税

義のアウトサイダー
新保 祐司 著
藤原書店
田中小実昌、三島由紀夫、五味康祐…。明治以降の日本の精神史において、近代化の奔流に便乗することなく、神・歴史・自然に正対する道を歩んだ人物たち。内村鑑三が重んじた「義」の光で彼らを照射し、その系譜を浮上させる。

産経新聞 2018/12/02

2018:10./ 415p
978-4-86578-195-3
本体 ¥3,200+税

83 1/4 歳の素晴らしき日々
ヘンドリック・フルーン、長山 さき 著
集英社
オランダ、アムステルダムのケアハウスに暮らすヘンドリック 83 歳は仲間と共に「オマニド(老いても死んでない)クラブ」を結成する。遠足やカジノなどさまざまな催しを企画して、楽しく生きようと試みるが…。

産経新聞 2018/12/09

2018:10./ 396p
978-4-08-773493-5
本体 ¥2,000+税

白いジオラマ
堂場　瞬一　著
中央公論新社
元刑事の祖父・麻生和馬にバイトとしてある老女の張り込みを命じられた、元引きこもりの孫・新城将。調査を開始した彼が垣間見た、街のリアルとは…。学芸通信社の配信により『山陰中央新報』等に掲載されたものを単行本化。

産経新聞　2018/12/09

2018:10./ 352p
978-4-12-005126-5
本体 ¥1,500+税

斗星、北天にあり
鳴神　響一　著
徳間書店
国造りこそ、最大の防衛策なり! 安東家を統一し、東北最大の湊を造り、蝦夷を治め、信長・秀吉とも誼を通じた男の野望、葛藤、そして恋…。秋田の礎を築いた智将、安東愛季に迫る歴史巨編。

産経新聞　2018/12/09

2018:11./ 425p
978-4-19-864715-5
本体 ¥1,800+税

太平洋戦争日本語諜報戦～言語官の活躍と試練～(ちくま新書　1347)
武田　珂代子　著
筑摩書房
太平洋戦争の対日諜報戦から終戦後まで活躍した、連合国軍の言語官たち。彼らはどのように動員、訓練されたのか。各国の言語官養成の実際、戦地での活躍、二世たちの葛藤…。貴重な記録から、日本語諜報の実像に迫る。

産経新聞　2018/12/09

2018:8./ 231p
978-4-480-07162-0
本体 ¥800+税

ニホンオオカミの最後～狼酒・狼狩り・狼祭りの発見～
遠藤　公男　著
山と渓谷社
ニホンオオカミはどうやって絶滅したのか? 東北の地で明治・大正を生き、オオカミを見てきた山の民の言葉を集め、藩政の書面をたどりながら、ニホンオオカミの最後に迫るノンフィクション。

産経新聞　2018/12/09

2018:9./ 255p
978-4-635-23009-4
本体 ¥1,600+税

奄美の空にコウモリとんだ～奄美の生きもの調査～
木元　侑菜、松橋　利光　著
アリス館
鹿児島県の奄美大島は、めずらしい動物の宝庫。なかでも謎が多いのはコウモリで、調査ではつねに新しい発見がある。観察者の女性の視点から、コウモリの生態や集団で生活する様子を、たくさんの写真とともに紹介する。

産経新聞　2018/12/09

2018:10./ 40p
978-4-7520-0857-6
本体 ¥1,400+税

1 時間でわかる西洋美術史～カラー版～(宝島社新書　508)
宮下　規久朗　著
宝島社
ビジネス社会で生き残るために新たに求められている美意識や感性。西洋美術を鑑賞することで、その審美眼を鍛えることができる。世界的名画を 150 点以上掲載し、古代から現代までの西洋美術史を入門者にもわかりやすく解説。

産経新聞　2018/12/09

2018:11./ 255p
978-4-8002-8726-7
本体 ¥1,200+税

カミとホトケの幕末維新～交錯する宗教世界～(龍谷叢書 46)
桐原 健真 編
法藏館
「維新」は教科書どおりには語れない! 廃仏毀釈、世直し、民衆宗教、キリシタン禁制、攘夷…。時代を彩るキーワードに焦点を当て、思想・宗教の側面から幕末維新期を考察。文化史の視座から近世と近代の架橋を試みる。

産経新聞 2018/12/09

2018:11./ 4p,383p
978-4-8318-5555-8
本体 ¥2,000+税

文学はおいしい。
小山 鉄郎、ハルノ 宵子 著
作品社
カツ丼:吉本ばなな「キッチン」、鯖の味噌煮:森?外「雁」、ビール:田山花袋「田舎教師」…。日本の食と文学への愛を綴ったエッセイ集。カラーの料理挿絵つき。共同通信社配信の連載を改題して単行本化。

産経新聞 2018/12/09

2018:9./ 211p
978-4-86182-719-8
本体 ¥1,800+税

そこにあった江戸～幕末明治寫真圖會～
上條 真埜介 著
求龍堂
幕末?明治初期の古写真集。横浜居留地に写真館を開いたベアト、そのあとに続いたスティルフリードの貴重写真を中心に、開国以来、時の流れで失われていった江戸の町並み、人々の姿をまとめる。

産経新聞 2018/12/15

2018:10./ 242p
978-4-7630-1823-6
本体 ¥4,500+税

海とジイ
藤岡 陽子 著
小学館
漁師として生き、現在は末期ガンを抱えるジイと、いじめが原因で不登校となったひ孫が交わした約束とは-。『小説 BOC5』掲載を改題した「海神」ほか、美しい海辺を舞台に繰り広げられる 3 人のジイの物語を収録する。

産経新聞 2018/12/15、朝日新聞 2018/12/22

2018:11./ 225p
978-4-09-386526-5
本体 ¥1,400+税

ミッションスクールになぜ美人が多いのか～日本女子とキリスト教～(朝日新書 691)
井上 章一、郭 南燕、川村 信三 著
朝日新聞出版
女子アナ、読者モデルは、なぜキリスト教系大学出身女性が多いのか。キリスト教と女性の関係を問題提起し、日本のカトリック系女子教育が採った上流階層路線の成功や、日本に流れるキリスト教への憧れを検証する。

産経新聞 2018/12/16

2018:11./ 247p
978-4-02-273795-3
本体 ¥810+税

プーチンとロシア革命～百年の蹉跌～
遠藤 良介 著
河出書房新社
ロシアを知り尽くした元モスクワ特派員が、プーチンとその体制について、歴史の中に位置づけて究明し、長期化した理由と今後に潜む脆さや危うさを明かす。『産経新聞』連載に加筆し書籍化。

産経新聞 2018/12/16

2018:11./ 257p
978-4-309-22755-9
本体 ¥1,700+税

フィフティ・ピープル(となりの国のものがたり 01)
チョン　セラン、斎藤　真理子　著
亜紀書房
ガンで余命宣告を受けた母に結婚を急かされるスジョン。血みどろの手術に嬉々として挑む医師ギユン…。死と痛みと悲しみ、回復と再生の物語がすれ違い、交錯する。韓国文学をリードする若手作家による、めくるめく連作短編集。

産経新聞　2018/12/16

2018:9./ 485p
978-4-7505-1564-9
本体 ¥2,200+税

神道とは何か～小泉八雲のみた神の国、日本～
平川　祐弘、牧野　陽子　著
錦正社
日本固有の宗教「神道」は海外からしばしば誤解されてきた。その誤解を解くため、最初の西洋人神道発見者といえる小泉八雲を通じて、神道の宗教的世界観を明らかにする。前から日本語テキスト、後ろから英語テキストが読める。

産経新聞　2018/12/16

2018:9./ 250p
978-4-7646-0137-6
本体 ¥1,200+税

つたえるエッセイ～心にとどく文章の書き方～
重里　徹也、助川　幸逸郎　著
新泉社
方法をつかめば、思いや考えが相手につたわる文章が書ける! 失敗や挫折、失恋や不幸といった人生のマイナスカードをプラスに変えて、相手の心を揺さぶる、生きた文章の書き方のコツを紹介する。現役大学生の文章添削例付き。

産経新聞　2018/12/16

2018:10./ 214p
978-4-7877-1813-6
本体 ¥1,600+税

時の過ぎゆくままに
佐々木　史朗、田中　ひろこ　編
佐々木　史朗　著
ワイズ出版
60 年代・演劇の現場から、テレビ興隆期の放送現場へ、そして ATG の社長に…。半世紀以上にわたり、日本のカルチャーシーンの変動に立ち会い先頭を走ってきた映画プロデューサー・佐々木史朗の全貌がわかる一冊。

産経新聞　2018/12/16

2018:11./ 353p
978-4-89830-322-1
本体 ¥2,750+税

照明家(あかりや)人生～劇団四季から世界へ～
吉井　澄雄　著
早川書房
劇団四季の創立に参加し、浅利慶太、蜷川幸雄らと共に演劇界を革新した照明デザインの第一人者・吉井澄雄の回顧録。戦後の舞台芸術史と幾度も交差する「照明家(あかりや)人生」をつづる。

産経新聞　2018/12/16、日本経済新聞　2018/12/22

2018:11./ 335p
978-4-15-209810-8
本体 ¥2,700+税

羅針盤は壊れても～小説集～
西村　賢太　著
講談社
中卒、日雇いバイトの貫多は 23 歳を迎えて人生の敗北を決定的に覚える。やがて、彼は私小説を書き始めるが…。生命力溢れる生活不能者の儚い希望とあえなき挫折を描いた孤狼私小説集。掌篇「一隅の夜」を収録した折込みつき。

産経新聞　2018/12/22

2018:12./ 245p
978-4-06-513804-5
本体 ¥3,000+税

もしも宇宙に行くのなら～人間の未来のための思考実験～
橋島 次郎 著
岩波書店
生命科学・医学、ジェンダー、人工知能やロボットの問題、人類の進化などをテーマに、人類の未来を描く優れた SF 作品をヒントにしながら議論する。未来への想像力を取り戻すための思考実験。

朝日新聞 2018/12/01

2018:10./ 15p,165p,7p
978-4-00-025323-9
本体 ¥1,900+税

ナミヤ雑貨店の奇蹟(角川つばさ文庫 B ひ 1-1)
東野 圭吾、よん 著
KADOKAWA
敦也、翔太、幸平の幼なじみ 3 人組は、いまは営業していない雑貨店に入った。そこで受け取った手紙はなんと、30 年以上むかしの人からのお悩み相談で…。2017 年 9 月公開映画の原作小説をもとに読みやすくしたもの。

朝日新聞 2018/12/01

2017:9./ 398p
978-4-04-631744-5
本体 ¥780+税

人間のように泣いたのか?(講談社タイガ モ A-10)
森 博嗣 著
講談社
ウォーカロン・メーカの連合組織 WHITE が、人口増加に資する研究成果を発表しようとしていた。実行委員であるハギリは、発表を阻止するために武力介入が行われるという情報を得るのだが…。W シリーズ完結。

朝日新聞 2018/12/01

2018:10./ 299p
978-4-06-513594-5
本体 ¥720+税

乙女文藝ハッカソン<1>(イブニング KC)
山田 しいた 著
講談社
小説執筆は孤独なもの－?作家志望の安達倉麻紀が入学した地方大学の文藝部には、そんなイメージを覆す奴らがいた!独自の創作方法でそれぞれのジャンルを極めんとする乙女たちの文藝青春譚、開幕!

朝日新聞 2018/12/01

2018:11./ 176p
978-4-06-513624-9
本体 ¥630+税

なんとめでたいご臨終
小笠原 文雄 著
小学館
おひとりさまでも、がんになっても、ボケてても、誰だって最期まで家で朗らかに生きられる! 在宅看取り 1000 人以上の名医が、在宅ホスピス緩和ケアの真実を伝える。「旅立つ人も見送る人も満足な死に方」がわかる一冊。

朝日新聞 2018/12/01

2017:6./ 319p
978-4-09-396541-5
本体 ¥1,400+税

中国経済講義～統計の信頼性から成長のゆくえまで～(中公新書 2506)
梶谷 懐 著
中央公論新社
中国の経済統計は信頼できるか。不動産バブルを止められるか。格差問題を乗り越えられるか。中国経済が直面する根本的な課題について分析。表面的な変化の奥にある、中国経済の本質を明らかにする。

朝日新聞 2018/12/01

2018:9./ 5p,255p
978-4-12-102506-7
本体 ¥880+税

宇宙はどこまで行けるか～ロケットエンジンの実力と未来～(中公新書　2507)
小泉　宏之　著
中央公論新社
月や小惑星で資源を採掘、火星に有人探査機を送る-。ベンチャー企業が勃興し、宇宙が新たなビジネスの主戦場になりつつある。世界初の小型イオンエンジン実用化を果たした若き研究者が、人類の可能性の限界に迫る。

朝日新聞　2018/12/01

2018:9./ 2p,309p
978-4-12-102507-4
本体 ¥1,000+税

サバイバル英会話～「話せるアタマ」を最速でつくる～(NHK 出版新書　565)
関　正生　著
NHK出版
英語で話すときのマインドセットから、今すぐ使える万能テクニックまで、英会話の“ファースト・ステージ”を突破するとっておきの方法を伝授する。オンライン予備校「スタディサプリ」の人気講師による超効率的講義、第 3 弾。

朝日新聞　2018/12/01

2018:10./ 221p
978-4-14-088565-9
本体 ¥780+税

接続戦闘分隊～暗闇のパトロール～(ハヤカワ文庫　SF 2198)
リンダ・ナガタ、中原　尚哉　著
早川書房
天空からの指導官の命令を電子帽体で受け、反乱分子掃討の任務についている米国陸軍接続戦闘分隊。その分隊長シェリーが持つ危機を察知する特殊能力が、やがて世界を戦乱へ導く要因に…。近未来戦争 SF。

朝日新聞　2018/12/01

2018:9./ 553p
978-4-15-012198-3
本体 ¥1,180+税

安楽死で死なせて下さい(文春新書　1134)
橋田　壽賀子　著
文藝春秋
人に迷惑をかける前に、死に方とその時期くらい自分で選びたい。安楽死が選択肢のひとつとして、ごく自然にあったらいいな、と思う-。92 歳、「渡る世間は鬼ばかり」の人気脚本家が、究極の往生論を語る。

朝日新聞　2018/12/01

2017:8./ 208p
978-4-16-661134-8
本体 ¥800+税

予感の帝国～風間サチコ作品集～
風間　サチコ　著
朝日出版社
「現在」起きている現象の根源を「過去」に探り、「未来」に垂れこむ暗雲を予兆させる黒い木版画を中心に制作する美術家・風間サチコの初作品集。超大型作品<ディスリンピック 2680>をはじめ、主要作品を一挙収録。

朝日新聞　2018/12/01

2018:11./ 143p
978-4-255-01089-2
本体 ¥3,700+税

日本 200 年地図～伊能図から現代図まで全国 130 都市の歴史をたどる～
今尾　恵介　著
河出書房新社
江戸、明治大正、昭和、平成。同じ都市を 4?5 時代で見比べると、その歩みと変貌がわかる-。全国 130 都市・161 地域を対象に伊能図から現代図までを収録した「都市の歴史地図帳」。

朝日新聞　2018/12/01

2018:10./ 556p
978-4-309-22749-8
本体 ¥9,200+税

MARUZEN-YUSHODO

マルセル・デュシャン アフタヌーン・インタヴューズ～アート、アーティスト、そして人生について～

マルセル・デュシャン、カルヴィン・トムキンズ、中野 勉 著

河出書房新社

没後 50 年。コンテンポラリー・アート界において今も決定的な影響を持ち続けるマルセル・デュシャン。1964 年、NY にあるデュシャンの自宅で行なわれたインタヴューを収録する。聞き手へのインタヴューも併録。

朝日新聞 2018/12/01

2018:9./ 181p
978-4-309-25606-1
本体 ¥2,100+税

日本が売られる(幻冬舎新書 つ-4-1)

堤 未果 著

幻冬舎

水や米、森や農地、食の安全、個人情報…。日本が誇る貴重な資産を米国や中国、EU などのハゲタカどもが買い漁っている! マスコミが報道しない衝撃の舞台裏と反撃の戦略を、気鋭の国際ジャーナリストが暴き出す。

朝日新聞 2018/12/01

2018:10./ 291p
978-4-344-98518-6
本体 ¥860+税

不思議の国の少女たち(創元推理文庫 F マ 13-1)

ショーニン・マグワイア、原島 文世 著

東京創元社

異世界から戻ってきた子供ばかりの寄宿学校に、死者の世界に行ったナンシーがやってきた。ところが、彼女に触発されたかのように不気味な事件が…。「不思議の国のアリス」たちのその後を描いたファンタジー3 部作開幕。

朝日新聞 2018/12/01

2018:10./ 222p
978-4-488-56702-6
本体 ¥840+税

貧困を救えない国日本(PHP 新書 1161)

阿部 彩、鈴木 大介 著

PHP研究所

なぜ貧困を放置してはいけないのか? 貧困への無理解に対抗するための本気対談。日本の貧困問題のリアルと本質について、社会調査とデータのエキスパートと、貧困家庭の現実を見聞きしてきたライターが語り合う。

朝日新聞 2018/12/01

2018:10./ 332p
978-4-569-83583-9
本体 ¥920+税

「武国」日本～自国意識とその罠～(平凡社新書 894)

佐伯 真一 著

平凡社

日本は「武国」だという意識は、16 世紀末頃から始まり、20 世紀前半、「軍国」意識として頂点に達した。古代から現代まで、「詐術」をも含んだ、自国意識変遷の道筋をとらえる。

朝日新聞 2018/12/01

2018:10./ 287p
978-4-582-85894-5
本体 ¥950+税

中国はここにある～貧しき人々のむれ～

梁 鴻、鈴木 将久、河村 昌子、杉村 安幾子 著

みすず書房

都市の繁栄と農村の荒廃。近代化の矛盾に苦しむ農村に、現代中国の姿を浮かび上がらせる-。中国文学の研究者でもある著者が、故郷の農村の現状を描き出したノンフィクション。

朝日新聞 2018/12/01

2018:9./ 304p
978-4-622-08721-2
本体 ¥3,600+税

MARUZEN-YUSHODO

山怪～山人が語る不思議な話～
田中　康弘　著
山と渓谷社
日本の山には何かがいる。その何かは古今東西さまざまな形で現れ、老若男女を脅かす。狐火があふれる地、マタギの臨死体験、山塊に蠢くもの…。山で働き暮らす人々が実際に遭遇した奇妙な体験を紹介する。現代版遠野物語。

朝日新聞　2018/12/01

2015:6./ 252p
978-4-635-32004-7
本体 ¥1,200+税

山怪～山人が語る不思議な話～<2>
田中　康弘　著
山と渓谷社
山に潜みしモノ、その正体は誰にも分からない-。山で働き暮らす人々が実際に遭遇した奇妙な体験を紹介する。2 は、「八甲田山」「山の中で聞こえる音は」「最新科学と交差する謎」などを収録。現代版遠野物語。

朝日新聞　2018/12/01

2017:2./ 254p
978-4-635-32008-5
本体 ¥1,200+税

山怪～山人が語る不思議な話～<3>
田中　康弘　著
山と渓谷社
山に潜みしモノ、その正体は誰にも分からない-。山で働き暮らす人々が実際に遭遇した奇妙な体験を紹介する。3 は、「優しい狐と幻の椿」「追いつけない鈴音」「ツチノコの里」などを収録。現代版遠野物語。

朝日新聞　2018/12/01

2018:9./ 253p
978-4-635-32016-0
本体 ¥1,200+税

1ドル札の動きでわかる経済のしくみ
ダーシーニ・デイヴィッド、池上　彰、花塚　恵　著
かんき出版
米テキサスの郊外で買い物に使われた 1 ドル紙幣は、中国の中央銀行、ナイジェリアの鉄道、イラクの油田へと渡り世界を巡る。そのドルの動きを追いながら、日々のニュースの背後に潜む経済的な事実を明らかにする。

朝日新聞　2018/12/01

2018:11./ 427p
978-4-7612-7376-7
本体 ¥1,700+税

死ぬまでに一度は訪ねたい東京の文学館
増山　かおり　著
エクスナレッジ
太宰治文学サロン、ミステリー文学資料館、少女まんが館など、文学から漫画・アニメまで、東京の文学館全 60 館を紹介。飲食スペースの有無や図録以外のグッズ販売といった情報も掲載する。データ:2018 年 7?8 月現在。

朝日新聞　2018/12/01

2018:11./ 158p
978-4-7678-2553-3
本体 ¥1,600+税

「リンゴの唄」の真実～戦後初めての流行歌を追う～
永嶺　重敏　著
青弓社
敗戦後の人々を勇気づけたとされる「リンゴの唄」は、どのようにして誕生し、当時のメディアとどのような関係を切り結び、どのように人々に歌われたのか。「リンゴの唄」のリアルな姿を捉え直し、その力を再検討する。

朝日新聞　2018/12/01

2018:10./ 194p
978-4-7872-2079-0
本体 ¥2,000+税

長生き地獄(SB 新書　401)
松原　惇子　著
SBクリエイティブ
日本人の寿命が延びる一方、長生きを望まない人が増えている。“死にたくても死なせてもらえない高齢者”の現場や、オランダの安楽死協会を徹底取材し、これからの生き方・死に方を考える一冊。

朝日新聞　2018/12/01

2017:8./ 206p
978-4-7973-9144-2
本体 ¥800+税

廃道を歩く～地図で楽しむ「忘れられた道」～
石井　あつこ　著
洋泉社
役目を終えた旧道、自然災害で通行不能になった道、通う者がいなくなった道、開通しなかった未成道…。廃道の物語を新旧地形図の見比べや市町村誌などの資料から見つけ出し、現地探索と周辺住民への聞き取りで紐解く。

朝日新聞　2018/12/01

2018:11./ 159p
978-4-8003-1569-4
本体 ¥1,500+税

セゾン～堤清二が見た未来～
鈴木　哲也　著
日経BP社
先の見通せない時代に生きる私たちに、堤清二が語りかけるものとは。無印良品、西武百貨店、パルコなど「セゾングループ」と堤が生み出した先駆企業の栄光と苦闘を振り返り、異能の経営者が目指した世界を探る。

朝日新聞　2018/12/01

2018:9./ 309p
978-4-8222-5605-0
本体 ¥1,800+税

「演劇の街」をつくった男～本多一夫と下北沢～
本多　一夫、徳永　京子　著
ぴあ
世田谷区下北沢にある本多劇場グループ 8 つの劇場は、すべてたったひとりの人物が一代でオープンし、経営している。世界でも類をみない個人劇場主である本多一夫の情熱の源を、本人の言葉と演劇人たちの証言で解き明かす。

朝日新聞　2018/12/01

2018:10./ 270p
978-4-8356-3849-2
本体 ¥2,500+税

西部劇論～その誕生から終焉まで～
吉田　広明　著
作品社
ジョン・フォードから、サム・ペキンパー、クリント・イーストウッドまで。ハリウッドにおける西部劇の歴史を総覧し、映画にとって、アメリカにとって、西部劇とは何だったのかを明らかにする。主要作品解説なども収録。

朝日新聞　2018/12/01

2018:10./ 512p
978-4-86182-724-2
本体 ¥4,600+税

百人一首という感情
最果　タヒ　著
リトル・モア
記録でもなく、伝説でもない。歌だからこそ残っていた、白黒つけられない人々の感情-。千年の向こうがわで生きていた彼らの感情に触れていくことで、見えたもの、思ってしまったことを綴る「百人一首」案内エッセイ。

朝日新聞　2018/12/01

2018:11./ 299p
978-4-89815-487-8
本体 ¥1,500+税

MARUZEN-YUSHODO

安楽死を遂げるまで
宮下　洋一　著
小学館
安らかに死ぬ-。安楽死は本当に字義通りの逝き方なのか。スイス、オランダ、ベルギー、アメリカ、スペイン、日本。各国の現場を訪ね、安楽死の瞬間にまで立ち会ったジャーナリストが、なぜ彼らは自ら死を選んだのかに迫る。

朝日新聞 2018/12/01、読売新聞 2018/12/23

2017:12./ 348p
978-4-09-389775-4
本体 ¥1,600+税

「自分の子どもが殺されても同じことが言えるのか」と叫ぶ人に訊きたい(講談社文庫 も 38-2)
森　達也　著
講談社
メディアや政治家に煽られ、危機意識ばかりが高揚し続ける日本。集団化はさらに加速し、異物を排除しようとする動きが強まっている。取り返しのつかない事態を避けるため、今何ができるのかを考える。

朝日新聞 2018/12/08

2018:11./ 469p
978-4-06-513720-8
本体 ¥880+税

14 歳、明日の時間割
鈴木　るりか　著
小学館
中学校を舞台に、時間割に見立てた 7 編の短編で、現代人の苦悩、笑い、絆、友情、想いを鮮やかに描写する。笑って笑って、ホロッと泣かせる、胸に迫る青春群像。中学生作家の小説第 2 弾。

朝日新聞 2018/12/08

2018:10./ 284p
978-4-09-386524-1
本体 ¥1,300+税

動的平衡<2> 新版 生命は自由になれるのか(小学館新書 333)
福岡　伸一　著
小学館
「生命体は遺伝子の乗り物か」「なぜ多様性が必要か」「なぜ動物は誕生したのか」「生命は宇宙からやってきたのか」など、「生命の本質」という根源的な問題に誘う最新のサイエンスを紹介。時間についての論考を追加した新版。

朝日新聞 2018/12/08

2018:10./ 285p
978-4-09-825333-3
本体 ¥820+税

ボッコちゃん 改版(新潮文庫)
星　新一　著
新潮社
朝日新聞 2018/12/08

1988:1./ 315p
978-4-10-109801-2
本体 ¥590+税

美しき免疫の力～人体の動的ネットワークを解き明かす～
ダニエル・M.デイヴィス、久保　尚子　著
NHK出版
免疫学に革命をもたらした大発見をたどりながら、驚くほど精密で、ダイナミックな免疫システムの全体像に迫る。また、ストレスや加齢と免疫の相互作用や、がんの免疫療法など、健康に関わる最新の知見も紹介する。

朝日新聞 2018/12/08

2018:10./ 357p
978-4-14-081757-5
本体 ¥2,300+税

MARUZEN-YUSHODO

リベラル再生宣言
マーク・リラ、夏目　大　著
早川書房
リベラルの敵はトランプにあらず-。アメリカを代表する知性が、社会の分断を乗り越え、アメリカ政治を再生するための道筋を示す。2016 年の大統領選挙直後に『ニューヨーク・タイムズ』に寄稿した論考の書籍化を邦訳。

朝日新聞 2018/12/08

2018:10./ 159p
978-4-15-209787-3
本体 ¥2,300+税

ベートーヴェンを聴けば世界史がわかる(文春新書　1191)
片山　杜秀　著
文藝春秋
自作の讃美歌で宗教改革を広めたルター、時代から浮いていた「音楽の父」バッハ、就活で苦しんだモーツァルト、グローバリズムに牙をむいたワーグナー…。大作曲家たちの意外な素顔から、世界史を解き明かす。

朝日新聞 2018/12/08

2018:11./ 239p
978-4-16-661191-1
本体 ¥800+税

ジーヴズの事件簿<才智縦横の巻>(文春文庫　ウ 22-1)
P.G.ウッドハウス　著
文藝春秋
朝日新聞 2018/12/08

2011:5./ 260p
978-4-16-770592-3
本体 ¥590+税

大阪環状結界都市　1(ボニータ・コミックス)
白井　弓子　著
秋田書店
朝日新聞 2018/12/08

2018:10./ 192p
978-4-253-26431-0
本体 ¥490+税

死の美術大全～8000 年のメメント・モリ～
ジョアンナ・エーベンシュタイン、北川　玲　著
河出書房新社
死の技術、死の擬人化、死後の世界…。絵画や彫像といった美術作品から科学的な挿絵、大衆文化の入場券まで、古今東西の<死>に関する図版を多数収録。思想家、芸術家、収集家、学芸員、学者らによるエッセイも掲載。

朝日新聞 2018/12/08

2018:10./ 367p
978-4-309-25590-3
本体 ¥6,000+税

もしかして、私、大人の ADHD?～認知行動療法で「生きづらさ」を解決する～(光文社新書　963)
中島　美鈴　著
光文社
ADHD(注意欠如・多動症)とは、先天的な発達障害のひとつ。最近の研究で、大人になっても ADHD の症状が残ることがわかってきた。最新の知見も交えながら、実践できる認知行動療法のエッセンスを伝える。

朝日新聞 2018/12/08

2018:9./ 226p
978-4-334-04369-8
本体 ¥780+税

MARUZEN-YUSHODO

リリース(光文社文庫 こ 42-1)
古谷田　奈月　著
光文社
男女同権が実現し、同性愛者がマジョリティとなった世界。マイノリティに転落した異性愛者の男子大学生、タキナミ・ボナは精子バンクを占拠し、衝撃の演説を始め…。現代の人間の在り方を問うディストピア小説。

朝日新聞 2018/12/08

2018:10./ 363p
978-4-334-77729-6
本体 ¥680+税

ドストエフスキーの詩学(ちくま学芸文庫)
ミハイル・ミハイロヴィッチ・バフチン　著
筑摩書房
朝日新聞 2018/12/08

1995:3./ 590p,12p
978-4-480-08190-2
本体 ¥1,500+税

わたしの城下町～天守閣からみえる戦後の日本～(ちくま学芸文庫 キ 7-2)
木下　直之　著
筑摩書房
明治以降「無用の長物」となった城は、新たな価値をにない、昭和・平成を生き続けている。ホンモノ、ニセモノ、現役、退役…。江戸城、小田原城、駿府城、名古屋城など、様々なお城から見えてくる日本の近・現代史。

朝日新聞 2018/12/08

2018:11./ 415p
978-4-480-09893-1
本体 ¥1,400+税

イマジン ジョン&ヨーコ～そのときそこにいた人々が語った言葉～
ジョン・レノン、オノ ヨーコ、松村　雄策、川岸　史、岩井　木綿子　著
ヤマハミュージックメディア
傑作アルバム「イマジン」はいかに作られたのか? 曲を紹介するジョン・レノンとオノ・ヨーコの言葉を集め、関係者のコメントを掲載。ビデオ映像を並べた連続写真やヨーコのアート作品、未公開写真などをふんだんに盛り込む。

朝日新聞 2018/12/08

2018:11./ 318p
978-4-636-95893-5
本体 ¥5,800+税

井筒俊彦英文著作翻訳コレクション<5> 言語と呪術
井筒　俊彦　著
慶應義塾大学出版会
1950 年代から 80 年代にかけて井筒俊彦が海外読者に向けて著した英文代表著作を本邦初訳。5 は、井筒哲学の起源にして、その後の展開のすべてを萌芽状態のままに孕んだはじめての英文著作「言語と呪術」の全訳を収録。

朝日新聞 2018/12/08

2018:9./ 254p,11p
978-4-7664-2457-7
本体 ¥3,200+税

中世禁裏女房の研究
松薗　斉　著
思文閣出版
中世の宮廷女房の中心的な役割を果たした典侍・掌侍(内侍)。平安後期の堀河天皇から戦国時代の後奈良天皇までの内侍を歴史的に復元し、「看聞日記」をもとに中世女房の存在形態を紹介。中世の日記と女房との関わりも論じる。

朝日新聞 2018/12/08

2018:11./
11p,513p,23p
978-4-7842-1956-8
本体 ¥8,000+税

MARUZEN-YUSHODO

AI に心は宿るのか(インターナショナル新書 022)
松原 仁 著
集英社インターナショナル
独創的な物語を紡ぎ、絵を描き、プロ棋士を凌駕する知能すら獲得した AI が、アトムのように「心」を宿す日は来るのか? 長年に渡り汎用人工知能の研究を続ける著者が、AI と人類の未来を予見する。羽生善治との対談も収録。

朝日新聞 2018/12/08

2018:2./ 168p
978-4-7976-8022-5
本体 ¥700+税

ものがたりのあるものづくり～ファクトリエが起こす「服」革命～
山田 敏夫 著
日経BP社
店舗なし、セールなし、生産工場を公開、価格は工場に決めてもらう-。アパレル業界のタブーを破って日本のものづくりを変えた革命児が、つくる人・売る人・買う人誰もが「語りたくなる」新しいものづくりを伝える。

朝日新聞 2018/12/08

2018:11./ 175p
978-4-8222-5727-9
本体 ¥1,400+税

「現代能楽集」の挑戦～錬肉工房 1971-2017～
岡本 章 著
論創社
能を現代に開き、活かしていく「錬肉工房」による「現代能楽集」の挑戦の試みを紹介。また、第一線で活躍する多様な論者、表現者が、多面的な角度から、能の本質、能と現代演劇、錬肉工房の実践活動などを論じる。

朝日新聞 2018/12/08

2018:10./ 641p 図版16p
978-4-8460-1710-1
本体 ¥4,800+税

あの映画に、この鉄道
川本 三郎 著
キネマ旬報社
失われゆく鉄道の風景が映画のなかに甦る-。評論家で鉄道ファンでもある川本三郎が、日本映画に登場した全国の鉄道を廃線になった鉄道も含めて紹介。各地域の路線図、駅舎や車両の写真も多数収録。

朝日新聞 2018/12/08

2018:10./ 328p,14p
978-4-87376-461-0
本体 ¥2,500+税

客船の世界史～世界をつないだ外航客船クロニクル～
野間 恒 著
潮書房光人新社
小さな木造の「蒸気船」が大洋に現れたとき、世界は大きな変革を遂げた-。人を運び、国営事業である郵便運送を担った、定期航路に就航する船=定期客船。海事史研究の第一人者が、歴史を紡いだ船と人の物語を綴る。

朝日新聞 2018/12/08、産経新聞 2018/12/16

2018:11./ 451p
978-4-7698-1665-2
本体 ¥3,000+税

ある男
平野 啓一郎 著
文藝春秋
里枝には、2 歳の次男を脳腫瘍で失って、夫と別れた過去があった。長男を引き取り、14 年ぶりに故郷に戻ったあと、「大祐」と再婚するが、「大祐」は事故で命を落とす。さらに、衝撃の事実が…。『文學界』掲載を単行本化。

朝日新聞 2018/12/08、読売新聞 2018/12/23

2018:9./ 354p
978-4-16-390902-8
本体 ¥1,600+税

モーツァルトのムクドリ～天才を支えたさえずり～
ライアンダ・リン・ハウプト、宇丹　貴代実　著
青土社
モーツァルトは、嫌われもののムクドリをペットとしてかわいがっていた。みずからムクドリを飼って逸話の詳細を解明しようとした著者が、想像の翼を縦横に広げ、ときに詩的、ときに哲学的な考察を展開する。

朝日新聞　2018/12/08、読売新聞　2018/12/23

2018:9./ 286p
978-4-7917-7106-6
本体 ¥2,000+税

大拙
安藤　礼二　著
講談社
宗教における霊性を究めてアジアを超えた「知の巨人」の全貌とは。西田幾多郎とともに歩み、ジョン・ケージにまで影響を与えた鈴木大拙の思索の跡をたどり、その全体像を解き明かす。『群像』掲載を単行本化。

朝日新聞　2018/12/08、日本経済新聞　2018/12/08、東京・中日新聞　2018/12/09

2018:10./ 350p
978-4-06-512969-2
本体 ¥2,700+税

モンゴル人の中国革命(ちくま新書　1364)
楊　海英　著
筑摩書房
内モンゴルは中国共産党が解放したのではない。清朝、国民党、共産党と草原の民はいかに戦い、敗れたのか。諸勢力間で翻弄された草原の人々の激動の歴史を、その地を故郷とする歴史人類学者が鮮やかに描き出す。

朝日新聞　2018/12/08、日本経済新聞　2018/12/15

2018:10./ 318p
978-4-480-07182-8
本体 ¥940+税

くろいの
田中　清代　著
偕成社
ひとりで帰るいつもの道で、女の子が出会った不思議ないきもの“くろいの”。ある日、“くろいの”についていってみると…。細やかな銅版画で愛情をこめて描いた、あたたかな世界。

朝日新聞　2018/12/09

2018:10./ 64p
978-4-03-332880-5
本体 ¥1,400+税

人喰観音
篠　たまき　著
早川書房
分限者の薬種問屋に拾われた女、スイ。並外れて美しく豊満な肉体を持つ彼女は、人の形をして人にあらざる「観音様」だった。スイと因縁関わり合う男たち、女たちは、少しずつ人倫を踏み外していく。そして彼女自身も…。

朝日新聞　2018/12/09

2018:10./ 294p
978-4-15-209805-4
本体 ¥1,800+税

影を歩く
小池　昌代　著
方丈社
目の前にひそむ、もうひとつの景色。影の深淵は「生」を照らし出す-。追憶と予感にみちた、珠玉の掌編集。「西日のさす家」「塩をまきに」など全 17 編を収録。方丈社 WEB 連載に書き下ろしを加えて書籍化。

朝日新聞　2018/12/09

2018:11./ 163p
978-4-908925-41-2
本体 ¥1,600+税

推薦文、作家による作家の～全集内容見本は名文の宝庫～
中村　邦生　編
風濤社
比喩的な修辞にあふれる讃嘆、独自の作風を巧みに記すミニ作家ガイド、意外な一面を伝える出会いのエピソード、思い出をたどるエッセイからにじみ出る敬愛…。個人全集の宣伝用小冊子「内容見本」に掲載された推薦文を集録。

朝日新聞　2018/12/09、読売新聞　2018/12/16

2018:10./ 317p
978-4-89219-452-8
本体　¥2,300+税

外国人労働者受け入れを問う(岩波ブックレット　No.916)
宮島　喬、鈴木　江理子　著
岩波書店
外国人労働者が映し出す、日本社会のあり方とは? 労働力人口が減り続けている日本。安倍政権の政策のあり方を問いただし、公正と人権の原則に基づき、共に生きる隣人として外国人労働者を受け入れる方策を考える。

朝日新聞　2018/12/15

2014:12./ 63p
978-4-00-270916-1
本体　¥520+税

移民国家アメリカの歴史(岩波新書　新赤版　1744)
貴堂　嘉之　著
岩波書店
移民国家アメリカはどう形成され、いかに変貌してきたのか。移民をグローバル・ヒストリーのなかに位置づけるとともに、日本や中国などアジア系移民の歴史経験に着目して、アメリカ史をとらえなおす。

朝日新聞　2018/12/15

2018:10./ 3p,235p,7p
978-4-00-431744-9
本体　¥840+税

ヘテロゲニア　リンギスティコ～異種族言語学入門～<1>(角川コミックス・エース)
瀬野　反人　著
KADOKAWA
怪我をした教授に代わり、魔界でモンスターとの言語的&非言語的コミュニケーションの調査を任されたハカバ君。ガイドのススキと共に魔界を旅をする、新人研究者の苦悩と日常を描いたモンスター研究コメディ!

朝日新聞　2018/12/15

2018:12./ 166p
978-4-04-107620-0
本体　¥580+税

除染と国家～21 世紀最悪の公共事業～(集英社新書　0957)
日野　行介　著
集英社
福島第一原発事故後に数兆の予算を投じられ行われた除染作業。その効果は怪しいままに避難住民の支援は打切られ帰郷を促されている。環境省の非公開会合の記録を入手した著者が、官僚、学者に取材し、為政者の真意を暴く。

朝日新聞　2018/12/15

2018:11./ 248p
978-4-08-721057-6
本体　¥860+税

サカナとヤクザ～暴力団の巨大資金源「密漁ビジネス」を追う～
鈴木　智彦　著
小学館
密漁ビジネスは、暴力団の巨大な資金源となっている。その実態を突き止めるため、築地市場への潜入労働をはじめ、北海道から九州、台湾、香港まで足を運び突撃取材した、日本の食品業界最大のタブーに迫る衝撃のルポ。

朝日新聞　2018/12/15

2018:10./ 319p
978-4-09-380104-1
本体　¥1,600+税

MARUZEN-YUSHODO

コンビニ外国人(新潮新書　767)
芹澤　健介　著
新潮社
全国の大手コンビニで働く外国人店員はすでに 4 万人超。「移民不可」にもかかわらず、世界第 5 位の「外国人労働者流入国」に日本がなったカラクリと、知られざる隣人たちの切ない現実に、丹念な取材で迫ったルポルタージュ。

朝日新聞 2018/12/15

2018:5./ 223p
978-4-10-610767-2
本体 ¥760+税

指導者の条件(新潮新書　789)
黒井　克行　著
新潮社
最高の結果を勝ちとるためには、テクニックやメンタルの強化だけではなく、指導者と選手たちとの信頼こそが不可欠だ。独特の指導でアスリートに成長と栄冠をもたらした、伝説の指導者 24 人の言葉と流儀を紹介する。

朝日新聞 2018/12/15

2018:11./ 204p
978-4-10-610789-4
本体 ¥740+税

老いと孤独の作法(中公新書ラクレ　633)
山折　哲雄　著
中央公論新社
この国には、老いと孤独を楽しむ豊かな教養がある-。西行、鴨長明、芭蕉、良寛…。宗教学者として日本人のさまざまな生と死に思いをめぐらせてきた著者が、みずからの経験を交えつつ、第二の人生をどう充実させるかを考える。

朝日新聞 2018/12/15

2018:10./ 251p
978-4-12-150633-7
本体 ¥860+税

本が崩れる～随筆～(中公文庫　く28-1)
草森　紳一　著
中央公論新社
数万冊の蔵書が雪崩となってくずれてきた。ドアが開かず、風呂場に閉じこめられ-。本好き、積ん読派に恐怖と共感の嵐をまきおこす表題作に、著者の愛する野球と喫煙についての随筆、単行本未収録原稿を加えた作品集。

朝日新聞 2018/12/15

2018:11./ 306p
978-4-12-206657-1
本体 ¥880+税

樹木たちの知られざる生活～森林管理官が聴いた森の声～(ハヤカワ文庫　NF 531)
ペーター・ヴォールレーベン、長谷川　圭　著
早川書房
樹木たちはコミュニケーションを取り合い、ときに助け合う。その一方で熾烈な縄張り争いをも繰り広げる。学習をし、音に反応し、数を数える-。ドイツの森林管理官が、長年の経験と科学的裏付けをもとに、木や森の真実を語る。

朝日新聞 2018/12/15

2018:11./ 286p
978-4-15-050531-8
本体 ¥700+税

四人組がいた。(文春文庫　た 39-3)
高村　薫　著
文藝春秋
村の老人 4 人組の元には不思議な来客ばかり。タヌキのアイドルに、はたまたキャベツの大行進。最後には闇魔様まで-。ニッポンの偉大な田舎から今を風刺する、著者初めてのユーモア小説。

朝日新聞 2018/12/15

2018:11./ 299p
978-4-16-791170-6
本体 ¥650+税

チャーチルは語る
チャーチル、マーティン・ギルバート 編
チャーチル、浅岡 政子 著
河出書房新社
公式伝記作家によるチャーチルの名言集・名演説集。あらゆる文献から集めた珠玉の言葉を、発言の時代背景と解説を付して収録。言葉を最大の武器とし、演説の名手でもあったチャーチルの経験、考え、困難の足跡をたどる。

朝日新聞 2018/12/15

2018:9./ 618p
978-4-309-20751-3
本体 ¥3,980+税

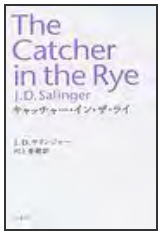
怪異を読む・書く
勝又 基 編
国書刊行会
秋成や庭鐘、西鶴、綾足から、漱石、鏡花、秋聲、ポオやボルヘス、ラヴクラフトまで。気鋭の近世・近代文学研究者たちが、怪異小説や怪異の表現を、「読む」「書く」の双方から解き明かす。

朝日新聞 2018/12/15

2018:11./ 488p
978-4-336-06320-5
本体 ¥5,800+税

日英語表現辞典(ちくま学芸文庫)
最所 フミ 著
筑摩書房
朝日新聞 2018/12/15

2004:1./ 635p
978-4-480-08807-9
本体 ¥1,500+税



キャッチャー・イン・ザ・ライ
J.D.サリンジャー 著
白水社
さあ、ホールデンの声に耳を澄ましてください…。村上春樹訳、新時代の「ライ麦畑でつかまえて」ペーパーバック版。ホールデンが永遠に 16 歳でありつづけるのと同じように、読者の中にいつまでも留まる物語。

朝日新聞 2018/12/15

2006:4./ 361p
978-4-560-09000-8
本体 ¥880+税

社会主義リアリズム(文庫クセジュ 1023)
ミシェル・オクチュリエ 著
白水社
芸術を全体主義的な党=国家の権限下に置き、その目的に服従させる公認教義の地位にあった「社会主義リアリズム」。それがどう機能し、ソヴィエトと共産主義の国々の文学と芸術生産の発展に影響を及ぼしたのかを解明する。

朝日新聞 2018/12/15

2018:10./ 174p,16p
978-4-560-51023-0
本体 ¥1,200+税

若年ノンエリート層と雇用・労働システムの国際化～オーストラリアのワーキングホリデー制度を利用する日本の若者のエスノグラフィー～
藤岡 伸明 著
福村出版
日本の若者が閉塞状況への打開策として豪州 WH 制度を選択するあり方を考察し、WH 渡航者が日本企業の海外進出に必要な日本人労働者を確保するための国境横断的な雇用・労働システムに組み込まれている状況を分析する。

朝日新聞 2018/12/15

2017:2./ 496p
978-4-571-41060-4
本体 ¥7,500+税

建設現場
坂口　恭平　著
みすず書房
もう崩壊しそうになっていて、崩壊が進んでいる。体が叫んでいる。体は一人で勝手に叫んでいて、こちらを向いても知らん顔をした-。未経験の幻視世界を言語でまざまざと体感させ、新しい次元をひらく書き下ろし長編。

朝日新聞　2018/12/15

2018:10./ 311p
978-4-622-08741-0
本体 ¥3,400+税

田中克彦セレクシヨン<4> はるけきモンゴル
田中　克彦　著
新泉社
知識の世界へようこそ。民族、差別、言語、食べ物、ジプシー(ロマ)、モンゴル…。たたかう言語学者・田中克彦が、半世紀にわたる執筆作品を自身でセレクトした著作集。4 は、モンゴルとその周辺に関する論文等を収録。完結。

朝日新聞　2018/12/15

2018:11./ 637p
978-4-7877-1824-2
本体 ¥4,200+税

胎内都市～暗闇の世界にひろがる地下水道の迷宮～
白汚　零　著
草思社
下水道は都市の胎内だ。そこを流れる白く濁った水はまさに羊水のよう。時という概念がなく、痛みや苦しみもない、ただ安息のみがある小宇宙…。日本でただ一人の下水道写真家が捉えた地下水道の姿を収めた写真集。

朝日新聞　2018/12/15

2018:10./ 1 冊(ページ付なし)
978-4-7942-2359-3
本体 ¥2,300+税

もどってきた鏡(フィクションの楽しみ)
アラン・ロブ=グリエ、芳川　泰久　著
水声社
ヌーヴォーロマンの旗手であり、実験的な文学を世に出してきた作家ロブ=グリエの知られざる世界。幼少期の思い出から作家になってからの講演旅行まで、さまざまな自伝的回想と幻想的なフィクションを織り交ぜながら綴る。

朝日新聞　2018/12/15

2018:10./ 302p
978-4-8010-0362-0
本体 ¥2,800+税

メルカリ～希代のスタートアップ、野心と焦りと挑戦の 5 年間～
奥平　和行　著
日経BP社
メルカリはいかにして、5 年で 3000 億円市場を築いたのか。起業経験者たちがなぜ、メルカリ創業者のもとに集まるのか。国内事業の足元が固まっていないうちに、なぜ海外を目指すのか-。巨大市場を築いた起業家たちに迫る。

朝日新聞　2018/12/15

2018:11./ 259p
978-4-8222-8950-8
本体 ¥1,600+税

世界のお正月百科事典
ウィリアム・D.クランプ、澤田　治美、石川　久美子、大塚　典子、児玉　敦子　著
柊風舎
世界各地の「正月」のみに焦点を当てた事典。130 か国における国全体あるいは一部地域や民族による新年の祝い方のほか、現在用いられてる主な暦や歴史的に興味深い暦についても詳述。新年にまつわる娯楽や習慣も取り上げる。

朝日新聞　2018/12/15

2018:12./ 4p,505p
978-4-86498-063-0
本体 ¥15,000+税

維新派・松本雄吉～1946-1970-2016～
松本　雄吉　著
リトル・モア
唯一無二の前衛集団・維新派を率い、世界の演劇シーンを震撼させた全身芸術家・松本雄吉の著作集。エッセイ、短篇小説、散文、戯曲、絵画、対談、劇場デザイン、演出ノート、年譜などを収録。見返しにも写真あり。

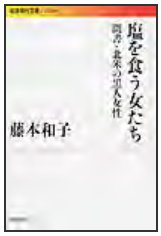
朝日新聞　2018/12/15

2018:10./ 317p
978-4-89815-486-1
本体 ¥4,600+税

不妊、当事者の経験～日本におけるその変化 20 年～
竹田　恵子　著
洛北出版
不妊治療をめぐる不安、迷い、焦り等の経験は、不妊治療が普及していったこの 20 年間でどのように変化したか? 当事者へのインタビュー調査をもとに、医療の素人である当事者が編み出す、不妊治療への対処法を明らかにする。

朝日新聞　2018/12/15

2018:9./ 589p
978-4-903127-27-9
本体 ¥2,700+税



塩を食う女たち～聞書・北米の黒人女性～(岩波現代文庫)
藤本　和子　著
岩波書店
アフリカから連れてこられた黒人女性たちは、アメリカの狂気の中をいかにして生き延びたのか。1960 年代の公民権運動・ブラックパワーの高まりと挫折を乗り越えた 1980 年代に、多くの黒人女性と著者が語り合った記録。

朝日新聞　2018/12/22

2018:12./ 5p,262p
978-4-00-602303-4
本体 ¥980+税

論破力(朝日新書　689)
ひろゆき　著
朝日新聞出版
“論破王”ひろゆきが、敵を作らず、かつ理路整然と言い返し、他人を思い通りに動かす方法を伝授。論理的な考え方の基本や便利なキラーフレーズなど、ビジネスから日常のイライラにまで役立つスキルが満載。

朝日新聞　2018/12/22

2018:10./ 246p
978-4-02-273791-5
本体 ¥810+税

渋カジが、わたしを作った。～団塊ジュニア&渋谷発ストリート・ファッションの歴史と変遷～
増田　海治郎　著
講談社
団塊ジュニアにとって「青春」の象徴である「渋カジ」。その誕生前夜から誕生、終焉までを記す。渋カジとチームの関係、スタイリストやデザイナーたちそれぞれの渋カジ物語、渋カジ・ショップ・マップなども掲載。

朝日新聞　2018/12/22

2017:3./ 298p
978-4-06-220502-3
本体 ¥1,600+税

胃弱・癇癪・夏目漱石～持病で読み解く文士の生涯～(講談社選書メチエ　685)
山崎　光夫　著
講談社
心の暗部を描き続けた夏目漱石は、多病持ちだった。次々襲う病と彼はいかに闘ったのか、それは文学にどんな影響を与えたのか。作品、書簡、家族の証言、当時のカルテ等をもとに、病という切り口から夏目漱石の生涯を読み解く。

朝日新聞　2018/12/22

2018:10./ 317p
978-4-06-513381-1
本体 ¥1,900+税

ふたり～皇后美智子と石牟礼道子～(講談社文庫 た 131-1)
高山 文彦 著
講談社
戦後の清算として水俣へ慰霊にでた天皇と美智子皇后。現地で迎えた作家・石牟礼道子。水俣病を通して理解しあうふたりのミチコに起きた「奇跡」、渡辺京二の愛と献身、祈りのこけし…。天皇皇后と水俣病患者との対話の記録。

朝日新聞 2018/12/22

2018:11./ 381p
978-4-06-513418-4
本体 ¥740+税

前世は兎
吉村 萬壱 著
集英社
雌兎として生きた前世の記憶を持ち、常に交尾を欲する女。日々「ヌッセン総合カタログ」を詳細に書き写す独身女…。表題作ほか全 7 編を収録した、現実感覚を揺さぶる怪作集。『すばる』『徳島文學』掲載を単行本化。

朝日新聞 2018/12/22

2018:10./ 189p
978-4-08-771155-4
本体 ¥1,600+税

オトナの保健室～セックスと格闘する女たち～
朝日新聞「女子組」取材班 著
集英社
セックスレス、不倫、セクハラ…性に関する女性の本音が、医師、作家、AV 俳優、社会活動家らのコメントやインタビュー、読者の赤裸々な投稿で炸裂!『朝日新聞』連載をもとに書籍化。酒井順子×村山由佳の対談も収録する。

朝日新聞 2018/12/22

2018:10./ 258p
978-4-08-788006-9
本体 ¥1,300+税

二十五年後の読書
乙川 優三郎 著
新潮社
響子は新たに追い求めた。完璧に美しい小説と書評、パートナーとの切り結びを-。文芸の極みと女の旅。成熟の世界を描く記念碑的長篇。『小説新潮』連載を単行本化。

朝日新聞 2018/12/22

2018:10./ 242p
978-4-10-439308-4
本体 ¥1,600+税

この地上において私たちを満足させるもの
乙川 優三郎 著
新潮社
高橋光洋の古い記憶のフィルムがまわりはじめる。終戦後の混沌と喪失、漂泊したパリ、マラガ、マニラの日々、死線を越えてからの小説家デビュー…。著者の原点と歳月を刻む記念碑的書下ろし長篇。

朝日新聞 2018/12/22

2018:12./ 249p
978-4-10-439309-1
本体 ¥1,600+税

自殺論 改版(中公文庫 テ 4-2)
デュルケーム 著
中央公論新社
19 世紀ヨーロッパにおける自殺率の統計を仔細に分析し、自殺を「自己本位的」「宿命的」など 4 つに分類。生の意味喪失や疎外感など、現代社会における個人の存在の危機をいち早く指摘した、近代社会学の礎となる名著を完訳。

朝日新聞 2018/12/22

2018:9./ 707p
978-4-12-206642-7
本体 ¥1,500+税

MARUZEN-YUSHODO

マルクス・ガブリエル欲望の時代を哲学する(NHK 出版新書 569)
マルクス・ガブリエル、丸山 俊一、NHK「欲望の時代の哲学」制作班 著
NHK出版
若き天才哲学者の滞日記録をまとめた NHK 番組「欲望の時代の哲学」を新書化。マルクス・ガブリエルが、誰にでも分かる言葉で、「戦後史」から「日本」までを語りつくす。世界的ロボット工学者・石黒浩との対論も収録。

朝日新聞 2018/12/22

2018:12./ 234p
978-4-14-088569-7
本体 ¥820+税

アンサングシンデレラ～病院薬剤師 葵みどり～<1>(ゼノンコミックス)
荒井ママレ、富野浩充 著
徳間書店
総合病院の薬剤師として働く、葵みどり・26 歳。医師のように頼られず、看護師のように親しまれなくても、今日も彼女は患者の「当たり前の毎日」を守るため、院内を駆け回る!!称賛されなくてもあなたを支える医療ドラマ!!

朝日新聞 2018/12/22

2018:11.
978-4-19-980532-5
本体 ¥580+税

料理の科学大図鑑
スチュアート・ファリモンド 著
河出書房新社
料理についてのさまざまな難問を 160 以上集め、最新の科学に基づいて、有意義で実用的な答えを提示。広く使われている料理の手順やテクニック、キッチンに最高の道具をそろえるためのガイドも収録。

朝日新聞 2018/12/22

2018:10./ 255p
978-4-309-25382-4
本体 ¥4,600+税

渋谷学
石井 研士 著
弘文堂
現代日本の都市文化の創造と発信の源、メガロポリスの副都心、先端的な企業・流行を生み出す地域経済…。<シブヤ>を地域学として定点観測してきた國學院大學の研究者らが、複雑で多様な顔を持つ<シブヤ>の姿を探る。

朝日新聞 2018/12/22

2017:4./ 6p,199p
978-4-335-25069-9
本体 ¥1,500+税

なぜ迷う?複雑怪奇な東京迷宮(ダンジョン)駅の秘密(じっぴコンパクト新書 327)
田村 圭介、造事務所 著
実業之日本社
駅で迷うのは、我々のせいなのか、駅に理由があるのか? 切り貼り駅、立体構造駅…。ダンジョンのような複雑な東京の駅の類型から、迷う原因を考え理解し楽しむ本。迷宮駅の豆知識も掲載する。

朝日新聞 2018/12/22

2017:7./ 223p
978-4-408-33714-2
本体 ¥800+税

受胎告知～絵画でみるマリア信仰～(PHP 新書 1165)
高階 秀爾 著
PHP研究所
聖母マリアが身籠ったことを知らされる一瞬を描いた<受胎告知>。歴史だけでなく、図像学的なモチーフやその変遷、さらに、名高い画家たちの名作の秘密や背景も解説し、西洋絵画屈指の名場面の魅力を明らかにする。

朝日新聞 2018/12/22

2018:11./ 189p
978-4-569-82712-4
本体 ¥920+税

現代世界の陛下たち～デモクラシーと王室・皇室～
水島　治郎、君塚　直隆　著
ミネルヴァ書房
21 世紀の現代、世界の「陛下たち」はどのような存在なのか。日本をはじめとする世界の王室・皇室の歴史から現在をみつめ、デモクラシーのもとにある君主制・天皇制のありようをエピソード豊富に描き出す。

朝日新聞 2018/12/22

2018:9./ 16p,282p,8p
978-4-623-08277-3
本体 ¥2,800+税

自衛官という生き方(イースト新書 Q Q052)
廣幡　賢一　著
イースト・プレス
誰もがその存在は知っている自衛隊。その毎日の仕事とは? 主に陸上自衛隊の新入隊員からその後のキャリア形成、幹部自衛官の仕事までを一望し、特殊な職場ならではのエピソードやプライベートなど、多岐にわたって紹介する。

朝日新聞 2018/12/22

2018:11./ 191p
978-4-7816-8052-1
本体 ¥840+税

愛のあるところ、神はそこにおられる～神とのより親しい一致と人びとに向かう大きな愛への道～
マザーテレサ、ブライアン・コロディエチュック、里見　貞代　著
女子パウロ会
愛することからわたしたちを遠ざける、多くの内面的障がいとは-。神の愛の宣教者、マザーテレサの講話や忠告、訓戒、公式スピーチや公式書簡から、マザーの愛の模範と英知の言葉を紹介する。

朝日新聞 2018/12/22

2018:12./ 613p
978-4-7896-0797-1
本体 ¥2,600+税

鎌倉資本主義～ジブンゴトとしてまちをつくるということ～
柳澤　大輔　著
プレジデント社
鎌倉の上場企業カヤックが考える、地域を中心とした新しい資本主義のかたち「鎌倉資本主義」とは。その軸となる経済資本(財源や生産性)、社会資本(人のつながり)、環境資本(自然や文化)を増やす取り組みと考え方を紹介。

朝日新聞 2018/12/22

2018:12./ 173p
978-4-8334-2304-5
本体 ¥1,400+税

美とかたち 岩宮武二の仕事
岩宮　武二、近藤　宏樹、榎並　悦子　著
光村推古書院
戦後いち早く、日本文化が内包する美を見出した写真家・岩宮武二。日本の原点を捉えた写真の数々は、今なおゆるぎないスタンダードであり、多くの写真家に影響を与え続けている。421 点の作品を収録し、その軌跡をたどる。

朝日新聞 2018/12/22

2018:12./ 375p
978-4-8381-0581-6
本体 ¥3,800+税

世界の鳥(My Picture Book)
マット・メリット、瀧下　哉代　著
青幻舎
鳥のイラストに沿って全ページ型抜き加工が施され、余白部分を手で切り離していくと、ページから鳥が飛び出したような美しい図鑑が完成します。本を広げて飾ることもできます。

朝日新聞 2018/12/22

2018:12./ 110p
978-4-86152-701-2
本体 ¥2,700+税

世界の花(My Picture Book)
マイケル・スコット、瀧下　哉代　著
青幻舎
花のイラストに沿って全ページ型抜き加工が施され、余白部分を手で切り離していくと、ページから花が飛び出したような美しい図鑑が完成します。本を広げて飾ることもできます。

朝日新聞　2018/12/22

2018:12./ 110p
978-4-86152-702-9
本体 ¥2,700+税

好日日記～季節のように生きる～
森下　典子　著
PARCO出版
週に一回、「お茶」の稽古に通って 40 年。稽古場での会話、稽古中に心の中にわき起こった感情、日々思うことなど、季節とともにめぐる茶道のお稽古の 1 年を綴った記録。「日日是好日」の続編。

朝日新聞　2018/12/22

2018:10./ 221p
978-4-86506-279-3
本体 ¥1,500+税

買いものは投票なんだ～EARTH おじさんが教えてくれたこと～
フォレスト出版
今からこの星で君たちが起こしている問題を伝えていくよ-。子どもたちの未来を少しだけよくするために、今すぐできることを、EARTH おじさんがナビゲート。買いものを通して社会を変えることを提案するイラストブック。

朝日新聞　2018/12/22

2018:9./ 39p
978-4-86680-900-7
本体 ¥1,200+税

給食の歴史(岩波新書　新赤版　1748)
藤原　辰史　著
岩波書店
学校の給食は、子どもの味覚に対する権力行使ともいえる側面と、未来へ命をつなぎ新しい教育を模索する側面とを持つ。貧困、災害、運動、教育、世界という 5 つの視角から知られざる歴史に迫り、今後の可能性を探る。

朝日新聞　2018/12/22、毎日新聞　2018/12/23

2018:11./
13p,268p,17p
978-4-00-431748-7
本体 ¥880+税

噴煙姉妹
名梁　和泉　著
KADOKAWA
「莫迦げてるわ。恋したら島が噴火するなんて」 美しい妻とその妹。過去が折りたたまれた不思議な温泉旅館で、徐々に明らかになる歴史と真実とは…。姉妹愛と夫婦愛のスラップスティック・温泉地奇譚。

朝日新聞　2018/12/29

2018:9./ 281p
978-4-04-106061-2
本体 ¥1,500+税

戒名探偵卒塔婆くん
高殿　円　著
KADOKAWA
有力檀家のルーツ探しに仏教界のイメージアップ計画、巨大コンテンツメーカー創始者の生前戒名をめぐる遺産争い…。金満寺の次男・春馬が、同じ高校に通う“戒名探偵”を頼って謎を解く!『小説現代』掲載を加筆・修正。

朝日新聞　2018/12/29

2018:11./ 290p
978-4-04-107424-4
本体 ¥1,400+税

MARUZEN-YUSHODO

ハートウッドホテル<1> ねずみのモナと秘密のドア
ケイリー・ジョージ、久保　陽子、高橋　和枝　著
童心社
ハートウッドホテルでメイドとして働くことになった、ねずみのモナ。冬眠前のパーティーが開かれ、穏やかな日が続くはずでしたが、わがままな公爵がやってきたり、なぞの侵入者に食料が奪われたりと大騒ぎで…。

朝日新聞　2018/12/29

2018:10./ 199p
978-4-494-01741-6
本体 ¥1,300+税

まめつぶこぞうパトゥフェ～スペイン・カタルーニャのむかしばなし～
BL出版
豆つぶほどしかない小さなパトゥフェは、好奇心旺盛な男の子。そんなパトゥフェがお使いに出かけると…。スペイン・カタルーニャに伝わる、小さな男の子のユーモアあふれるおはなし。世界のむかしばなし絵本シリーズ。

朝日新聞　2018/12/29

2018:10./ 32p
978-4-7764-0862-8
本体 ¥1,600+税

なんげえはなしっこしかへがな
BL出版
「なが一い話をしてやろうかな」という語りで始まる、津軽の「果てなし話」。綿々とくりかえされる言葉が紡ぐ滑稽な昔話全 7 話を、生き生きとした津軽弁と味わい深い絵で収録する。

朝日新聞　2018/12/29

2018:11./ 32p
978-4-7764-0881-9
本体 ¥1,500+税

新・旧銀座八丁　東と西
坪内　祐三　著
講談社
文士に愛された小料理屋「はせ川」、東洋一とうたわれた「松屋」デパート、永井荷風が愛した名店、ゴジラと「和光」の因縁…。150 年の歴史を、昔と今のこぼれ話でたどる珠玉のエッセイ集。『小説現代』掲載を単行本化。

東京・中日新聞　2018/12/02

2018:10./ 325p
978-4-06-513062-9
本体 ¥1,600+税

空をゆく巨人
川内　有緒　著
集英社
現代アートのスーパースター蔡國強と、いわきの“すごいおっちゃん”志賀忠重。国籍も職業も生き方も異なるふたりの男の人生と、彼らが築いてきた友情、そこから生み出された「美術作品」を追う。

東京・中日新聞　2018/12/02

2018:11./ 365p
978-4-08-781671-6
本体 ¥1,700+税

30 センチの冒険
三崎　亜記　著
文藝春秋
バスに乗って迷い込んだ異世界の人々は奇妙な災害に苦しんでいた。彼らを救うため、男はこの世界にあるはずのない「30 センチのものさし」を手に立ち上がる-。『別冊文藝春秋』連載を加筆し単行本化。

東京・中日新聞　2018/12/02

2018:10./ 367p
978-4-16-390915-8
本体 ¥1,850+税

MARUZEN-YUSHODO

ウラミズモ奴隷選挙
笙野　頼子　著
河出書房新社
男尊国にっほんから女尊国ウラミズモに移民した房代。男性保護牧場を任されるが、少女達に銃で脅され、にっほんの少女遊廓の訴えをきき、死者のメールに耐える日々。そんなある日、石の女神が訪れ…。『文藝』掲載を単行本化。

東京・中日新聞　2018/12/02

2018:10./ 279p
978-4-309-02736-4
本体 ¥2,100+税

いつか深い穴に落ちるまで
山野辺　太郎　著
河出書房新社
人類は、地球を貫く穴を通れるのか? 日本-ブラジル間・直線ルート極秘開発プロジェクト。大手建設会社の子会社の広報係・鈴木一夫は、この謎めいた事業の存在理由について調査を開始するが…。『文藝』掲載を単行本化。

東京・中日新聞　2018/12/02

2018:11./ 151p
978-4-309-02761-6
本体 ¥1,300+税

童謡百年史～童謡歌手がいた時代～
井上　英二　著
論創社
日本における子どものための歌文化「童謡」は、世界に類のないものといわれている。そうした歌たちは、どうして人々の心に生き続けてきたのだろうか。童謡文化の歴史をつぶさにたどり、その魅力の源泉をひもとく。

東京・中日新聞　2018/12/02

2018:10./ 279p
978-4-8460-1745-3
本体 ¥2,500+税

流砂
黒井　千次　著
講談社
70 歳の息子は思想検事だった父の記した「思想犯の保護を巡って」自己の所信を開陳した報告書を見つけた。息子は父の過去に向き合い、己の来し方を確かめようとしはじめる…。自伝的長篇小説。『群像』連載を単行本化。

東京・中日新聞　2018/12/02、朝日新聞　2018/12/15

2018:10./ 222p
978-4-06-513309-5
本体 ¥1,900+税

天皇陵古墳を歩く(朝日選書　978)
今尾　文昭　著
朝日新聞出版
奈良・大阪に点在する大型前方後円墳のうち約 80 基が天皇などの陵墓に治定されている。研究者への限定公開に立ち合ってきた著者が、天皇陵古墳ひとつひとつの年代観、治定の正否を示す。『朝日新聞』奈良版連載を書籍化。

東京・中日新聞　2018/12/09

2018:10./ 378p,7p
978-4-02-263078-0
本体 ¥1,700+税

<東京オリンピック>の誕生～1940 年から 2020 年へ～
浜田　幸絵　著
吉川弘文館
1940 年開催予定であった幻の東京オリンピックから、1964 年をへて 2020 年へ。戦時に返上した挫折から、戦後の開催へ招致活動した在米日系人や IOC の動向など、その連続性に着目し、メディア史から描く。

東京・中日新聞　2018/12/09

2018:10./ 7p,281p,7p
978-4-642-03881-2
本体 ¥3,800+税

MARUZEN-YUSHODO

プロ野球を選ばなかった怪物たち
元永　知宏　著
イースト・プレス
杉浦正則、鍛治舎巧、應武篤良…。彼らはなぜ、プロ野球を選ばなかったのか? 決断を下した裏には、どんな思いがあったのか?「プロ野球を選ばなかった怪物」7 人に質問をぶつけ、自ら歩んだその人生に迫る。

東京・中日新聞 2018/12/09

2018:11./ 238p
978-4-7816-1723-7
本体 ¥1,500+税

山椒魚の忍耐～井伏鱒二の文学～
勝又　浩　著
水声社
平穏な日々を綴るかに見える、井伏鱒二の小説。しかしそこには、「人類古来の悲しみ」が織り込まれている。巧まざる文学によって生そのものを見つめた井伏の人と作品をめぐる逍遙。『季刊文科』連載をもとに単行本化。

東京・中日新聞 2018/12/16

2018:10./ 268p
978-4-8010-0371-2
本体 ¥2,800+税

地球 46 億年気候大変動～炭素循環で読み解く、地球気候の過去・現在・未来～(ブルーバックス B-2074)
横山　祐典　著
講談社
なぜ地球の気候はかくも劇的に変化したのか? 謎を解く鍵は炭素にあった! 最新の地球惑星科学が解き明かした、驚くべき地球の気候大変動のからくりを、科学者やその周辺の人々のエピソードを交えながら紹介する。

東京・中日新聞 2018/12/16、毎日新聞 2018/12/16

2018:10./ 334p
978-4-06-513515-0
本体 ¥1,200+税

昭和期デカダン短篇集(講談社文芸文庫 み M1)
道籏　泰三　編
講談社
昭和 20 年代と 40 年代。世を根底から疑い、これに背を向け、あるいは反逆しようとする「デカダン文学」が現れ出た。反逆者たる 10 人の作家たちの、ラディカルな思想的格闘と理想への希求を示す 13 篇を収録。

読売新聞 2018/12/02

2018:10./ 406p
978-4-06-513300-2
本体 ¥2,100+税

司馬江漢～「江戸のダ・ヴィンチ」の型破り人生～(集英社新書 0951)
池内　了　著
集英社
遠近法を先駆的に取り入れた天才画家にして、地動説を人々に紹介した科学者でもあり、かつ文筆家。「江戸のダ・ヴィンチ」とでも呼ぶべき才人・司馬江漢に関する記録を丹念に読み解き、その破天荒な人生の全体像を描き出す。

読売新聞 2018/12/02

2018:10./ 317p
978-4-08-721051-4
本体 ¥940+税

母の教え～10 年後の『悩む力』～(集英社新書 0953)
姜　尚中　著
集英社
これまでの生活をリセットして東京近郊の高原へと移住した著者が、「田舎暮らしエッセイ」という器に載せて、これまでになく素直な気持ちで、来し方行く末を綴る。

読売新聞 2018/12/02

2018:10./ 236p
978-4-08-721053-8
本体 ¥840+税

隠れ菊<上>(集英社文庫　れ 1-3)
連城　三紀彦　著
集英社
浜名湖畔の料亭「花ずみ」の跡取りと結婚した通子。名女将と評判の姑が亡くなり、まもなく 1 年になる日、1 人の女が現れた。この日から、平凡な主婦だった通子の日常は一変、妻の座と店の運命を賭けた闘いが始まった…。

読売新聞　2018/12/02

2013:7./ 369p
978-4-08-745095-8
本体 ¥660+税

隠れ菊<下>(集英社文庫　れ 1-4)
連城　三紀彦　著
集英社
莫大な借金を背負って新しい「花ずみ」を始めた通子。夫を奪いにきた女・多衣と商売の面ではパートナーとなり、複雑な心境のまま世間の荒波に飛び込んでゆく。数々の災難に襲われる通子だったが…。

読売新聞　2018/12/02

2013:7./ 430p
978-4-08-745096-5
本体 ¥700+税

世界史を変えた新素材(新潮選書)
佐藤　健太郎　著
新潮社
コラーゲンがモンゴル帝国を強くした? 「材料科学」の視点から描くグローバル・ヒストリー。数ある材料の中から 12 種を選び、歴史との関わりを紹介する。『Web でも考える人』連載を加筆修正し単行本化。

読売新聞　2018/12/02

2018:10./ 230p
978-4-10-603833-4
本体 ¥1,300+税

七つの街道(中公文庫　い 38-5)
井伏　鱒二　著
中央公論新社
篠山街道、久慈街道、近江路など古き時代の面影を残す旧街道。昭和 31 年に街道めぐりを始め、「旅に出たいために旅行記を書くことにした」著者が、史実や文献を辿りつつ歩き、その今昔を風趣豊かに描き出した紀行文集。

読売新聞　2018/12/02

2018:10./ 266p
978-4-12-206648-9
本体 ¥900+税

愛の?末～恋と死と文学と～(文春文庫　か 68-2)
梯　久美子　著
文藝春秋
運命の出会い、悲恋、ストーカー的妄執、死の床での愛…。文学を深掘りする著者が、小林多喜二、三浦綾子、梶井基次郎など、明治・大正・昭和に生きた文学者 12 人の知られざる愛の物語を辿ったノンフィクション。

読売新聞　2018/12/02

2018:11./ 252p
978-4-16-791181-2
本体 ¥720+税

ルポ 不法移民とトランプの闘い～1100 万人が潜む見えないアメリカ～(光文社新書　971)
田原　徳容　著
光文社
トランプ大統領の就任後、「移民の国」アメリカは様々な形で不法移民への圧力を強めている。はたして、アメリカはこれからも「夢の国」でいられるのか? トランプ政権以後の移民をめぐる現場を追いかけたルポ。

読売新聞　2018/12/02

2018:10./ 383p
978-4-334-04377-3
本体 ¥900+税

クラシック音楽全史～ビジネスに効く世界の教養～
松田　亜有子　著
ダイヤモンド社
ピタゴラスによる音階の解明、ベートーヴェンが起こした 3 つのイノベーション…。ビジネスに活きるクラシック音楽のトピックを厳選して紹介。音楽家の人生と名曲の背景から、歴史がわかる一冊。折り込みの音楽家年表付き。

読売新聞　2018/12/02

2018:10./ 15p,205p
978-4-478-10657-0
本体 ¥1,600+税

Tokyo style(ちくま文庫)
都築　響一　著
筑摩書房
読売新聞　2018/12/02

2003:3./ 433p
978-4-480-03809-8
本体 ¥1,500+税

パールとスターシャ(海外文学セレクション)
アフィニティ・コナー、野口　百合子　著
東京創元社
ユダヤ人の双子パールとスターシャは、12 歳のときにアウシュヴィッツ絶滅収容所に送られた。そこで“死の天使”と恐れられていた医師メンゲレに出会う。メンゲレは双子や三つ子を<動物園>と呼ばれる区画に集めていて…。

読売新聞　2018/12/02

2018:9./ 398p
978-4-488-01665-4
本体 ¥2,900+税

プラハ、二〇世紀の首都～あるシュルレアリスム的な歴史～
デレク・セイヤー、阿部　賢一、河上　春香、宮崎　淳史　著
白水社
「ヨーロッパの十字路」として、幾多の変容を経てきた都市プラハ。中欧の都に花開いた文学、美術、音楽、写真、演劇、建築、デザインなどを論じ、プラハを「20 世紀の首都」として位置づける。

読売新聞　2018/12/02

2018:9./ 579p,143p
978-4-560-09582-9
本体 ¥13,500+税

男を磨くための 31 章
増田　俊也　著
PHP研究所
虚飾に囚われない、自己アピールしない、下から上を見渡す、静かな強さを持つ、映画や文学に学ぶ…。いい男たちの行動哲学を紹介し、「男らしさ」とは何かを考える。『月刊武道』『週刊実話』ほか掲載を書籍化。

読売新聞　2018/12/02

2018:10./ 220p
978-4-569-84143-4
本体 ¥1,500+税

井深　大～生活に革命を～(ミネルヴァ日本評伝選)
武田　徹　著
ミネルヴァ書房
戦後日本を高度経済成長に導いた立役者のひとりで、「ソニー」を生み育てた井深大。晩年には幼児教育にも熱心に取り組んだ井深の思考のありようを科学史に位置づけ、稀代の発明家・企業家の人生に迫る。

読売新聞　2018/12/02

2018:11./
25p,304p,11p
978-4-623-08462-3
本体 ¥2,800+税

MARUZEN-YUSHODO

キャバレー、ダンスホール 20 世紀の夜～美しき“大人の社交場”。消えゆく魅惑の空間を切り取った、写真集。～

今井　晶子、奥川　純一、西村　依莉　著

グラフィック社

入口のゴージャスなレリーフ、壁にホログラムが入った VIP ルーム…。各地に残るキャバレー、ダンスホールなど、消えゆく魅惑の空間を切り取った写真集。戦後から最盛期を経て、現在まで生き残ってきた店を紹介する。

読売新聞　2018/12/02

2018:3./ 175p
978-4-7661-3102-4
本体 ¥1,800+税

ドローン鳥瞰写真集　住宅街・団地・商店街

小林　哲朗、東地　和生　著

玄光社

住宅街、ニュータウン、団地、商店街、橋・川、学校…。さまざまな風景を収めたドローン鳥瞰写真集。夜明けまえ、日中、夜景など、時間とともに変化する街並みを、俯瞰、少し斜め、遠景等で撮影。背景美術の資料にもなる本。

読売新聞　2018/12/02

2017:7./ 175p
978-4-7683-0880-6
本体 ¥2,500+税

夜よ鼠たちのために(宝島社文庫　C れ-1-1)

連城　三紀彦　著

宝島社

脅迫電話に呼び出された医師とその娘婿が、白衣を着せられ、首に針金を巻きつけられた奇妙な姿で遺体となって発見された。犯人の目的は一体…。表題作をはじめ、意外な真相が胸を打つサスペンス・ミステリーの傑作 9 編を収録。

読売新聞　2018/12/02

2014:9./ 413p
978-4-8002-3173-4
本体 ¥730+税

ハンセン病家族の絆～隔離の壁に引き裂かれても～

福西　征子　著

昭和堂

らい予防法によって離散の憂き目にあってもなお、心を通わせ支えあってきた家族。らい予防法廃止、ハンセン病国家賠償請求訴訟勝訴など、昭和・平成の波乱の時代を生き抜いた 3 人兄弟のインタビューを収録する。

読売新聞　2018/12/02

2018:10./ 11p,188p
978-4-8122-1737-5
本体 ¥2,300+税

遺された家～家族の記憶～

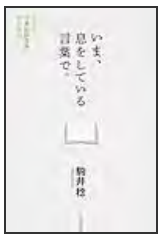
太田　順一　著

海風社

「空き家」を撮った写真集。家族が残した様々な痕跡が昭和の香りと共に遠い記憶を呼び覚ます廃墟でもなく、廃屋でもない、遺された家。主に家の内部の 139 ショットは圧巻。

読売新聞　2018/12/02

2016:12./ 143p
978-4-87616-044-0
本体 ¥3,000+税



いま、息をしている言葉で。～「光文社古典新訳文庫」誕生秘話～

駒井　稔　著

而立書房

ドストエフスキー、カント、親鸞…なぜ、21 世紀に古典が蘇ったのか!?「古典にこそ読書の醍醐味はある」という信念のもと、古典を文庫シリーズとして刊行する企画を立ち上げた、光文社古典新訳文庫・創刊編集長の奮戦記。

読売新聞　2018/12/02

2018:10./ 373p
978-4-88059-410-1
本体 ¥2,000+税

貴族院議長・徳川家達と明治立憲制
原口　大輔　著
吉田書店
明治憲法体制下において貴族院議長はいかなる役割を果たしたのか。明治 36 年から昭和 8 年まで貴族院議長を務めた徳川宗家第 16 代当主・徳川家達の政治的活動と思想を分析し、貴族院議長の実態を明らかにする。

読売新聞 2018/12/02

2018:10./ 281p,8p
978-4-905497-68-4
本体 ¥4,000+税

ヨーゼフ・メンゲレの逃亡(海外文学セレクション)
オリヴィエ・ゲーズ、高橋　啓　著
東京創元社
アウシュヴィッツ解放後、様々な偽名のもと南米に潜んでいたナチスの医師“死の天使・メンゲレ”は、なぜ生き延びられたのか。謎に満ちた後半生の真実と人間の本質をジャーナリスティックな手法で描いた小説。

読売新聞 2018/12/02、東京・中日新聞 2018/12/16

2018:10./ 249p,5p
978-4-488-01666-1
本体 ¥1,800+税

帰れない山(CREST BOOKS)
パオロ・コニェッティ　著
新潮社
牛飼いの少年との出会い、冒険、父の孤独と遺志、友との心地よい沈黙と信頼-。北イタリア、モンテ・ローザ山麓を舞台に、本当の居場所を求めて彷徨う 2 人の男の葛藤と友情を描いた長篇小説。

読売新聞 2018/12/02、毎日新聞 2018/12/09

2018:10./ 271p
978-4-10-590153-0
本体 ¥2,050+税

氷点<上>(朝日新聞社の文庫版シリーズ)
三浦綾子　著
朝日新聞出版
読売新聞 2018/12/09

1978:5./ 344p
978-4-02-260151-3
本体 ¥580+税

氷点<下>(朝日新聞社の文庫版シリーズ)
三浦綾子　著
朝日新聞出版
読売新聞 2018/12/09

1978:5./ 348p
978-4-02-260152-0
本体 ¥580+税

二つの祖国<第 1 巻>(新潮文庫)
山崎　豊子　著
新潮社
読売新聞 2018/12/09

2009:9./ 471p
978-4-10-110445-4
本体 ¥710+税

MARUZEN-YUSHODO

贋作桜の森の満開の下
野田　秀樹、野田　秀樹　著
新潮社
往年の名作「贋作桜の森の満開の下」2018 年版と、亡き十八代目中村勘三郎に捧げ、舞台芸術への愛に満ちた「足跡姫」。新旧の古典的マスターピースからなる戯曲集。野田地図の第 21 回・第 22 回公演の台本。

読売新聞 2018/12/09

2018:9./ 264p
978-4-10-340518-4
本体 ¥1,800+税

わが記憶、わが記録～堤清二×辻井喬オーラルヒストリー～
御厨　貴、橋本　寿朗、鷲田　清一　編
中央公論新社
戦前から戦後復興、高度成長、ポストバブルに至る日本の軌跡-。家族のこと、経営の成功と失敗、セゾン文化とは何か、詩人・作家として…。13 回 29 時間に及ぶ堤清二へのインタビュー全記録を公開。

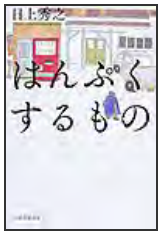
読売新聞 2018/12/09

2015:11./ 327p
978-4-12-004777-0
本体 ¥3,200+税

辺境メシ～ヤバそうだから食べてみた～
高野　秀行　著
文藝春秋
ヒキガエルジュース、ラクダ丼、水牛の脊髄炒め、サルの燻製脳味噌、アマゾンの口?み酒、胎盤餃子…。辺境探検家が、今まで食べた世界各地の珍奇な食品や料理について綴る。『週刊文春』連載を単行本化。

読売新聞 2018/12/09

2018:10./ 311p
978-4-16-390919-6
本体 ¥1,500+税



はんぷくするもの
日上　秀之　著
河出書房新社
毅、30 代独身、自営業、資格ナシ、友だちひとり。岩手県沿岸の地・赤街のタタミ十畳の仮設商店で、今日も 3413 円のツケを巡る攻防がはじまる-。被災後の日常に新たな視座を拓く傑作。『文藝』掲載を単行本化。

読売新聞 2018/12/09

2018:11./ 116p
978-4-309-02760-9
本体 ¥1,300+税

高橋悠治という怪物
青柳　いづみこ　著
河出書房新社
作曲家、ピアニスト、批評家として様々な表現行為をきりひらいてきた高橋悠治。グレン・グールドとの対比から、20 世紀音楽との関わり、独自な民衆音楽への志向性まで、ピアニスト・文筆家の著者による実感的・高橋悠治論。

読売新聞 2018/12/09

2018:9./ 263p
978-4-309-27976-3
本体 ¥2,850+税

ボクたちの BL 論(河出文庫　さ 41-1)
サンキュータツオ、春日　太一　著
河出書房新社
BL(ボーイズラブ)を愛してやまないサンキュータツオが、BL と縁遠い世界に生きてきた春日太一に、BL の魅力の全てを徹底講義する、前人未到の BL 入門。「おっさんずラブ」などを語る文庫特別編も収録。

読売新聞 2018/12/09

2018:11./ 371p
978-4-309-41648-9
本体 ¥900+税

MARUZEN-YUSHODO

私以外みんな不潔
能町　みね子　著
幻冬舎
勝手に他のつまらない子供に、私のなかに入ってこられるのはごめんである-。か弱くも気高い 5 歳の「私」の日常を描く、能町みね子初の自伝的私小説。『小説幻冬』連載を改題して単行本化。

読売新聞　2018/12/09

2018:11./ 184p
978-4-344-03387-0
本体 ¥1,300+税

禅が教えてくれる美しい人をつくる「所作」の基本～シンプルだから今すぐできる! 無駄を無くして丁寧に生きる知恵 70～(幻冬舎文庫　ま-32-1)
枡野　俊明　著
幻冬舎
まず、佇まい。そして、身のこなし。所作を磨くと、心身も人生も輝く-。禅の視点から、姿勢・言葉・朝の時間を整えて無駄を無くして丁寧に生きる、シンプルで今すぐできる 70 の知恵を紹介する。

読売新聞　2018/12/09

2015:4./ 221p
978-4-344-42332-9
本体 ¥500+税

卓球メンタル強化メソッド(パーフェクトレッスンブック)
平野　早矢香　著
実業之日本社
対人競技である卓球は、メンタルの要素が大きく関わってくる競技。五輪メダリストの著者が、練習時のメンタルコントロール、各プレーと場面で意識するメンタル、ジュニア選手のメンタル育成法などについて語る。

読売新聞　2018/12/09

2018:5./ 191p
978-4-408-33737-1
本体 ¥1,400+税

僕たちは、宇宙のことぜんぜんわからない～この世で一番おもしろい宇宙入門～
ジョージ・チャム、ダニエル・ホワイトソン、水谷　淳　著
ダイヤモンド社
宇宙は何でできてるの? ビッグバンの時には何が起こった? ダークマターって何? まだ解明されていない宇宙の謎をイラストを交えてわかりやすく解説した、笑えて学べる世界一おもしろい宇宙入門。

読売新聞　2018/12/09

2018:11./ 3p,444p
978-4-478-06954-7
本体 ¥1,800+税

寝ても醒めてもタカラヅカ!!
牧　彩子　著
平凡社
初心者も、ディープなファンも楽しめるツボが満載! タカラジェンヌ、衣装、メイク、舞台、演出家…。宝塚ファン歴 15 年のイラストレーターが客席から観てきた、愛と夢にあふれる宝塚歌劇の魅力を徹底解説する。

読売新聞　2018/12/09

2018:10./ 143p
978-4-582-28739-4
本体 ¥1,200+税

ヒトラーのモデルはアメリカだった～法システムによる「純血の追求」～
ジェイムズ・Q.ウィットマン、西川　美樹　著
みすず書房
ナチスのニュルンベルク法を生み出したのは、人種主義のリーダー、アメリカの法制度だった-。アメリカがヒトラーのジェノサイド政策に与えた影響を広範な史料から読み解き、アメリカに深く根付いた人種主義をあぶりだす。

読売新聞　2018/12/09

2018:9./ 176p,45p
978-4-622-08725-0
本体 ¥3,800+税

松下幸之助～きみならできる、必ずできる～(ミネルヴァ日本評伝選)
米倉　誠一郎　著
ミネルヴァ書房
松下電器産業(現パナソニック)を一代で築き、「経営の神様」と称される松下幸之助。その足跡を丹念に辿り、感情豊かで、強さと弱さの両面を抱えた人間像、そして壮大なる成功を導いたイノベーターとしての姿を描く。

読売新聞　2018/12/09

2018:9./ 11p,259p,5p
978-4-623-08426-5
本体 ¥2,400+税

バックパッキング入門(ヤマケイ文庫)
芦沢　一洋　著
山と渓谷社
バックパッキング、アウトドア文化を紹介し、日本の登山・野外活動に影響を与えた名著。用具や技術を解説するほか、自然との共生を求めるライフスタイルとしてのバックパッキングの精神を説く。見返しに度量衡の換算法付き。

読売新聞　2018/12/09

2018:11./ 590p
978-4-635-04861-3
本体 ¥1,200+税

朝鮮分断の起源～独立と統一の相克～(慶應義塾大学法学研究会叢書　89)
小此木　政夫　著
慶應義塾大学出版会
朝鮮半島はなぜ分断されたのか? 第二次世界大戦と米ソ冷戦という 2 つの戦争の狭間に生まれた朝鮮分断の悲劇とは? 国際政治と地域政治の交錯を背景に、民族と国家が織りなす過酷な現代政治のドラマを描く。

読売新聞　2018/12/09

2018:10./ 5p,572p
978-4-7664-2545-1
本体 ¥8,000+税

世界は美しくて不思議に満ちている～「共感」から考えるヒトの進化～
長谷川　眞理子　著
青土社
足り過ぎているのに「不足感を募らせよ」と迫りくる、文明の行き着く果てとは-。ヒトが長い時間をかけて進化させてきた「共感」という能力をもう一度想い出し、次世代へとつなげるために、いま、立ち止まって考える。

読売新聞　2018/12/09

2018:9./ 246p
978-4-7917-7101-1
本体 ¥1,800+税

セルバンテス全集<第 5 巻>　戯曲集
ミゲル・デ・セルバンテス　著
水声社
スペイン黄金世紀文学の巨人セルバンテスの全集。第 5 巻は、血に彩られた戦場を描く重厚な悲劇から、恋のコメディア、幕間劇まで、セルバンテスの芸術哲学が凝縮された、現存する全戯曲 18 編を収録。訳注、解説付き。

読売新聞　2018/12/09

2018:8./ 1,069p
978-4-8010-0175-6
本体 ¥14,000+税

後悔を残さない経営～社長が 60 歳になったら考えるべきことやるべきことやってはいけないこと～
三宅　卓　著
あさ出版
社長の本当の価値がわかるのは、引き際の姿。経営者が 60 歳になったら考えたい自身の健康や、事業承継、財産整理についてやさしく解説する。賢く財産を引き継ぐための Q&A、M&A の体験談も収録。

読売新聞　2018/12/09

2018:9./ 286p
978-4-86667-068-3
本体 ¥1,600+税

負ける人は無駄な練習をする～卓球王勝者のメンタリティー～
水谷　隼　著
卓球王国
チャンピオンは異常性を持っている-。卓球王・水谷隼が、チャンピオンにしかわからない次元で、チャンピオンになりたい人に、勝てる男の思考法を紹介する。

読売新聞　2018/12/09

2016:3./ 200p
978-4-901638-49-4
本体 ¥1,500+税

夜よ、ひらけ(韓国文学ショートショート 01)
チョン ミギョン、きむ ふな、きむ ふな 著
クオン
失敗を知らない孤高の天才が抱えた歪んだ欲望と不安、やがて迫りくる人生の破局-。翻訳家きむふなが、今お勧めしたい作家の深い余韻と新たな発見を感じさせる短編を、日本語と韓国語の 2 言語で紹介するシリーズ。

読売新聞　2018/12/09

2018:10./ 63p,58p
978-4-904855-76-8
本体 ¥1,200+税

未来をはじめる～「人と一緒にいること」の政治学～
宇野　重規　著
東京大学出版会
友だち同士から国際社会まで互いに異なる人たちが、共に暮らしていくには。変わりゆく世界の中で、成人の根本を考え抜く。2017 年に豊島岡女子学園中学校・高等学校で行われた講義を書籍化。

読売新聞　2018/12/09、毎日新聞　2018/12/09

2018:9./ 4p,282p
978-4-13-033108-1
本体 ¥1,600+税

いま宗教に向きあう<第 3 巻>　世俗化後のグローバル宗教事情(世界編 1)
岩波書店
20 世紀終盤から世界の宗教情勢はどう変わってきたのか? 伝統宗教回帰、新宗教、スピリチュアリティ、無宗教がそれぞれどのようにヴァージョンアップしているか、20 世紀の「流れの先」の諸断面に焦点を当てる。

読売新聞　2018/12/16

2018:11./ 7p,276p
978-4-00-026509-6
本体 ¥2,300+税

沖縄アンダーグラウンド～売春街を生きた者たち～
藤井　誠二　著
講談社
浄化運動で消された沖縄の「売春街」。売春に従事する女性、風俗店経営者、ヤクザなどに取材した著者が、彼らの肉声を描き出し、街の内実と市民社会からの偏見の構造を明らかにする。沖縄のもう一つの戦後史。

読売新聞　2018/12/16

2018:9./ 347p
978-4-06-512827-5
本体 ¥2,000+税

マラス～暴力に支配される少年たち～(集英社文庫 く34-1)
工藤　律子　著
集英社
中米にはびこる凶悪なギャング団「マラス」。そこに関わる者の多くがごく普通の青年で、悪行は極貧のもと、追い詰められるなかで見つけた“生きる術”にすぎない。残虐性ばかりが強調されてきた彼らの真の姿に迫るルポ。

読売新聞　2018/12/16

2018:11./ 355p
978-4-08-745809-1
本体 ¥750+税

MARUZEN-YUSHODO

歌に私は泣くだらう～妻・河野裕子闘病の十年～(新潮文庫　な-89-1)
永田　和宏　著
新潮社
戦後を代表する女流歌人の妻に乳癌の宣告。一家を襲う混乱と危機…。壮絶な闘病の日々と、最期まで詠み続けた歌人・河野裕子の凛とした生き様を夫・永田和宏が綴る。

読売新聞　2018/12/16

2015:1./ 222p
978-4-10-126381-6
本体 ¥460+税

マーガレット・サッチャー～政治を変えた「鉄の女」～(新潮選書)
冨田　浩司　著
新潮社
英国初の女性首相サッチャーの功績は、経済再生と冷戦勝利だけではない。なぜ彼女は閉塞感に包まれていた社会を変革できたのか。対メディア戦略・大統領型政治・選挙戦術…「鉄の女」が政治にもたらした革命の全貌を分析する。

読売新聞　2018/12/16

2018:9./ 302p
978-4-10-603832-7
本体 ¥1,400+税

NORTH 北へ～アパラチアン・トレイルを踏破して見つけた僕の道～
スコット・ジュレク、栗木　さつき　著
NHK出版
ウルトラマラソン界の王者スコット・ジュレクの新たな挑戦、それはアパラチアン・トレイルの最速踏破記録の樹立-。脚の激痛、孤独感、幻覚、原生自然との闘い…。46日 8 時間 7 分にわたる激闘を日記風に綴った回想録。

読売新聞　2018/12/16

2018:9./　358p　図 版 16p
978-4-14-081754-4
本体 ¥2,000+税

平成くん、さようなら
古市　憲寿　著
文藝春秋
平成を象徴する人物としてメディアに取り上げられ、現代的な生活を送る「平成くん」。だが、平成の終わりと共に安楽死をしたいと恋人に告げ…。平成という時代と、いまを生きることの意味を問い直す。『文學界』掲載を書籍化。

読売新聞　2018/12/16

2018:11./ 187p
978-4-16-390923-3
本体 ¥1,400+税

町の形見
柳　美里　著
河出書房新社
柳美里が主宰する演劇ユニット・青春五月党の 24 年ぶりの新作戯曲。ふたば未来学園演劇部出演「静物画 2018」、朗読劇「窓の外の結婚式」、復活公演の挨拶文も併録。

読売新聞　2018/12/16

2018:11./ 261p
978-4-309-02759-3
本体 ¥2,000+税

編集者ぶたぶた(光文社文庫　や 24-24)
矢崎　存美　著
光文社
初対面の編集者と会う約束をした小説家の礼一郎。待ち合わせの喫茶店に現れたのは、どう見ても小さなピンクの、ぶたのぬいぐるみ。これは夢だと思った礼一郎は、おもしろがってぬいぐるみに新作の構想を話し始めるが…。

読売新聞　2018/12/16

2018:12./ 246p
978-4-334-77764-7
本体 ¥500+税

MARUZEN-YUSHODO

書物のある風景～美術で辿る本と人との物語～
ディヴィッド・トリッグ、赤尾　秀子　著
創元社
読書をする子たち、いろんな姿でいろんな場所で読みふける大人たち、しかめ面で読む者、本を手に遠くをながめる者…。世界各地の美術館やコレクションから、古今東西の書物のある風景を描いた 300 点超の芸術作品を収録する。

読売新聞　2018/12/16

2018:10./ 351p
978-4-422-70116-5
本体 ¥4,200+税

謎解き聖書物語(ちくまプリマー新書　313)
長谷川　修一　著
筑摩書房
アダムとイブ、ノアの方舟、バベルの塔…。旧約聖書の有名な物語は史実なのか、それともフィクションなのか？ 最新の考古学的知見を用いながら、ひとつひとつ明らかにする。旧約聖書の物語が楽しく学べる一冊。

読売新聞　2018/12/16

2018:12./ 238p
978-4-480-68337-3
本体 ¥860+税

わたしの町は戦場になった～シリア内戦下を生きた少女の四年間～
ミリアム・ラウィック、フィリップ・ロブジョワ、大林　薫　著
東京創元社
戦闘の影に覆われていく平和な日常。学校の近くに落ちる爆弾、地下への避難。スナイパーが潜む通学路…。シリア内戦下の日々を、1 人の少女が曇りなき目で綴った、21 世紀版「アンネの日記」。

読売新聞　2018/12/16

2018:10./ 247p
978-4-488-00389-0
本体 ¥1,800+税

平成政権史(日経プレミアシリーズ　390)
芹川　洋一　著
日本経済新聞出版社
自民単独政権の終焉、バブル崩壊、湾岸戦争、人口減少、ネット経済の勃興…。平成 30 年間の激動のなか、日本の政治は何をしてきたのか。長く取材を続けるジャーナリストが、当時の記事も織り込み紡ぐ、全 10 編の政権物語。

読売新聞　2018/12/16

2018:11./ 299p
978-4-532-26390-4
本体 ¥920+税

人生のピース
朝比奈　あすか　著
双葉社
中高女子校で過ごした 34 歳の潤子、みさ緒、礼香。礼香が見合い結婚することになり、潤子は焦り、結婚相談所に入会。みさ緒もダメ男と手を切ってマンションを買おうとし…。「婚活」小説。『小説推理』連載を加筆し書籍化。

読売新聞　2018/12/16

2018:11./ 320p
978-4-575-24129-7
本体 ¥1,500+税

タコの心身問題～頭足類から考える意識の起源～
ピーター・ゴドフリー=スミス、夏目　大　著
みすず書房
進化は「まったく違う経路で心を少なくとも 2 度、つくった」。1 つはヒトを含む脊索動物、もう 1 つはタコやイカといった頭足類。知能の高さゆえの行動など、人間とはまったく異なる心と知性をもつ頭足類の生態を明らかにする。

読売新聞　2018/12/16

2018:11./ 254p,39p
978-4-622-08757-1
本体 ¥3,000+税

MARUZEN-YUSHODO

ハカセ記念日のコンサート　増補版
青柳　いづみこ　著
ショパン
わたしは、ピアノを、水のように弾くのが、大好きです。博士の肩書きを持ち、クラシック界きっての筆の立つピアニスト青柳いづみこの、90 年刊処女エッセイ集の増補版。

読売新聞　2018/12/16

2005:9./ 205p
978-4-88364-202-1
本体 ¥1,500+税

本を贈る
笠井　瑠美子　著
三輪舎
大切な人が困っているとき、金銭だけでなく、私たちは言葉を贈ることもできる。編集者から装丁家、校正者、印刷、製本、取次、営業、本屋まで、贈るように本をつくり、本を届ける 10 人が自身の仕事や、本への想いを綴る。

読売新聞　2018/12/16

2018:9./ 301p
978-4-9908116-3-1
本体 ¥1,800+税

無敵のハンディキャップ～障害者が「プロレスラー」になった日～(ちくま文庫　き42-1)
北島　行徳　著
筑摩書房
障害者同士のプロレス、さらには障害者対健常者のマッチメイクで、「清く正しい」障害者像をひっくり返し、世間の度肝を抜いた障害者プロレス団体「ドッグレッグス」の、汗と涙と笑いの快進撃を描くノンフィクション。

読売新聞　2018/12/16、朝日新聞　2018/12/22

2018:11./ 394p
978-4-480-43550-7
本体 ¥950+税

アリストテレス全集<17>　政治学
アリストテレス、内山　勝利、神崎　繁、中畑　正志、神崎　繁、瀬口　昌久、相澤　康隆、瀬口　昌久　著
岩波書店
自然・人間・社会を見つめる「万学の祖」アリストテレスの原像を、新たな基本訳語と平易な訳文により浮かび上がらせる。17 は、「政治学」「家政論」と解説、政治学関連地図を収録する。

読売新聞　2018/12/23

2018:3./ 3p,593p,24p
978-4-00-092787-1
本体 ¥6,400+税

ディス・イズ・ザ・デイ
津村　記久子　著
朝日新聞出版
ファンたちはそれぞれの思いを抱いて最後の試合の「その日」に向かう。人間関係に悩む会社員、再会した祖母と孫…普通の人々のかけがえのない喜びを、サッカーを通して鮮やかに描き出す連作短編集。『朝日新聞』連載に加筆。

読売新聞　2018/12/23

2018:6./ 366p
978-4-02-251548-3
本体 ¥1,600+税

ののはな通信
三浦　しをん　著
KADOKAWA
横浜のお嬢様学校に通う、クールで毒舌なののと、天真爛漫なはな。親友同士となった 2 人だが、ののははなに友情以上の気持ちを抱き…。少女たちの 20 年超を全編書簡形式で紡ぐ。『小説屋 sari-sari』掲載を書籍化。

読売新聞　2018/12/23

2018:5./ 448p
978-4-04-101980-1
本体 ¥1,600+税

怪物
中村　航、井上　尚弥　著
KADOKAWA
父、弟、従兄弟とファミリーで腕を磨いた少年時代、史上初のアマチュア七冠を達成した高校時代、日本最短記録を塗り替え続けたプロデビュー以降…。怪物と呼ばれるボクサー、井上尚弥の途上の物語を描く。

読売新聞　2018/12/23

2018:3./ 199p
978-4-04-896068-7
本体 ¥1,400+税

なぜ世界は存在しないのか(講談社選書メチエ　666)
マルクス・ガブリエル　著
講談社
1980 年生まれのドイツ哲学界の新星が、ポストモダン以後の時代を表す「新しい実在論」をキーワードに示す、哲学の原則。「なぜ世界は存在しないのか」という大胆な問いを投げかけ、豊富な具体例とともに解きほぐす。

読売新聞　2018/12/23

2018:1./ 335p
978-4-06-258670-2
本体 ¥1,850+税

県立!再チャレンジ高校～生徒が人生をやり直せる学校～(講談社現代新書　2477)
黒川　祥子　著
講談社
貧困、生活保護、虐待、ひとり親-。「底辺校」「課題集中校」「教育困難校」などと形容される高校で、困難な境遇で生きざるを得なかった子どもたちを、全力で身体を張って、命を懸けて支え続けてきた教師たちの闘いの記録。

読売新聞　2018/12/23

2018:4./ 309p
978-4-06-288477-8
本体 ¥880+税

日本永代蔵～全訳注～(講談社学術文庫　2475)
井原　西鶴、矢野　公和、有働　裕、染谷　智幸　著
講談社
生真面目すぎる商人、ドラ息子、度を越した吝嗇たち。越後屋は「現金掛け値なし」で大当たりして…。元禄前夜、富を築き、また守らんとあがく庶民の姿を活写した、井原西鶴による町人物浮世草子の傑作を新訳。

読売新聞　2018/12/23

2018:9./ 446p
978-4-06-292475-7
本体 ¥1,440+税

人間に向いてない
黒澤　いづみ　著
講談社
ある日突然発症し、一夜のうちに人間を異形の姿へと変貌させる病「異形性変異症候群」。不可解な病が蔓延する日本で、異形の「虫」に変わり果てた引きこもりの息子を持つひとりの母親がいて…。

読売新聞　2018/12/23

2018:6./ 335p
978-4-06-511758-3
本体 ¥1,500+税

岡崎に捧ぐ<5>(BIG SUPERIOR COMICS SPECIAL)
山本　さほ　著
小学館
あの日の喧嘩を境に、連絡を取り合わなくなってしまった二人…ずっと続くと思っていた山本さんと岡崎さんの友情に入ってしまったヒビは、4 年間もの空白を生んでしまった。二人の実録友情叙事コメディ、遂に完結!!

読売新聞　2018/12/23

2018:10./ 151p
978-4-09-179262-4
本体 ¥787+税

1Q84～a novel～<BOOK1 前編>　4 月-6 月(新潮文庫　む 5-27)
村上　春樹 著
新潮社
好もうが好むまいが、私は今この「1Q84 年」に身を置いている。私の知っていた 1984 年はもうどこにも存在しない…。ヤナーチェックの「シンフォニエッタ」に導かれ、青豆と天吾の不思議な物語がはじまる。

読売新聞 2018/12/23

2012:4./ 357p
978-4-10-100159-3
本体 ¥590+税

北朝鮮核の資金源～「国連捜査」秘録～
古川　勝久 著
新潮社
厳しい国際包囲網の中、なぜ北朝鮮は核兵器や米国にまで届くミサイルを開発できるのか。犯罪ネットワークを駆使して戦闘機やミサイルすら密輸する非合法ビジネス、組織の中核で暗躍する日本人の存在を明らかにする。

読売新聞 2018/12/23

2017:12./ 463p
978-4-10-351411-4
本体 ¥1,700+税

自主独立とは何か<前編> 敗戦から日本国憲法制定まで(新潮選書)
細谷　雄一 著
新潮社
日本人はなぜ自らの手で憲法を起草できなかったのか。戦後日本の新しい「国のかたち」を巡り、米ソ、近衛文麿らが激しい駆け引きを繰り広げ…。世界史と日本史を融合させた視点から、日本と国際社会の「ずれ」の根源に迫る。

読売新聞 2018/12/23

2018:7./ 283p
978-4-10-603829-7
本体 ¥1,300+税

墓が語る江戸の真実(新潮新書 786)
岡崎　守恭 著
新潮社
その墓はなぜそこにあり、誰が建てたのか? 並び方の意味は? 春日局の執念、お由羅騒動の真相、家光兄弟の確執、越前家始祖の本心など、墓が語る江戸時代の愛憎と恩讐の物語 10 話を紹介する。

読売新聞 2018/12/23

2018:10./ 203p
978-4-10-610786-3
本体 ¥740+税

敗れても敗れても～東大野球部「百年」の奮戦～
門田　隆将 著
中央公論新社
日本野球のルーツというべき伝統を誇る東大野球部は、なぜ負け続けるのに挑戦をやめないのか。戦火の中、沖縄に消えた英雄や、「赤門旋風」の主役たち、150 キロ左腕宮台康平らへの取材を通じて、謎を秘めた集団を解剖する。

読売新聞 2018/12/23

2018:5./ 307p
978-4-12-005089-3
本体 ¥1,600+税

物語アラビアの歴史～知られざる 3000 年の興亡～(中公新書　2496)
蔀　勇造 著
中央公論新社
シリア砂漠からアラビア半島の先端まで、古代の王国からイスラームの勃興をへて、石油資源をもとに近代化をすすめる現代まで。中東の核心地帯の 3000 年の歴史を追う。

読売新聞 2018/12/23

2018:7./ 386p
978-4-12-102496-1
本体 ¥1,100+税

MARUZEN-YUSHODO

陸奥宗光～「日本外交の祖」の生涯～(中公新書 2509)
佐々木 雄一 著
中央公論新社
幕末の紀州に生まれた陸奥宗光は、坂本龍馬のもと海援隊で頭角を現し、伊藤博文内閣の外務大臣として条約改正や日清戦争で手腕を発揮した。最新の研究成果をもとに「日本外交の祖」の実像に迫る。

読売新聞 2018/12/23

2018:10./ 5p,303p
978-4-12-102509-8
本体 ¥900+税

忘却する戦後ヨーロッパ～内戦と独裁の過去を前に～
飯田 芳弘 著
東京大学出版会
内戦と独裁をめぐる忌まわしい過去…。何が記憶を封じ、何が忘却を促すのか。恩赦、戦犯の解放、「神話」の創造など、民主化過程に現れた「忘却の政治」の具体的内容を明らかにする。

読売新聞 2018/12/23

2018:4./ 4p,320p
978-4-13-030165-7
本体 ¥4,600+税

極夜行
角幡 唯介 著
文藝春秋
暗闇のなか、氷床を歩き続け 3 カ月ぶりに太陽を見た時、人は何を思うのか-。太陽が昇らない冬の北極を、一頭の犬とともに命懸けで体感した探検家がつづる冒険ノンフィクション。『文春オンライン』連載に加筆修正。

読売新聞 2018/12/23

2018:2./ 333p
978-4-16-390798-7
本体 ¥1,750+税

小萩のかんざし(いとま申して 3)
北村 薫 著
文藝春秋
昭和 8 年、父は慶應義塾大学を卒業した。だが、不景気の波が押し寄せる時代に就職口はなく、経済の逼迫に苦しむ-。遺された日記を手がかりに綴る、文化薫る著者の父の評伝風小説、完結編。

読売新聞 2018/12/23

2018:4./ 461p
978-4-16-390822-9
本体 ¥2,200+税

飛ぶ孔雀
山尾 悠子 著
文藝春秋
石切り場の事故以来、火が燃えにくくなった世界。庭園の大茶会で火を運ぶ娘たちを孔雀が襲い、大蛇うごめく地下世界を男は遍歴する…。不世出の幻想作家による連作長編小説。『文學界』掲載に、書き下ろしを加える。

読売新聞 2018/12/23

2018:5./ 243p
978-4-16-390836-6
本体 ¥2,000+税

選べなかった命～出生前診断の誤診で生まれた子～
河合 香織 著
文藝春秋
現在の母体保護法では障害を理由にした中絶は認められていない。誤診で提訴した母親に病院側はそう反論し…。家族とは? 生きるとは? 出生前診断を巡る様々な当事者たちの声から紡ぐノンフィクション。

読売新聞 2018/12/23

2018:7./ 245p
978-4-16-390867-0
本体 ¥1,700+税

MARUZEN-YUSHODO

久保田万太郎の履歴書
久保田　万太郎、大高　郁子　著
河出書房新社
家は三度も火事で焼け、女関係にだらしなく、溺愛した猫に死なれ、息子にも先立たれ…。下町に生きる人々を描き続けた小説家・劇作家・俳人、久保田万太郎の波乱の人生を、自伝的文章と絵でつづる。見返しにも絵あり。

読売新聞　2018/12/23

2018:2./ 300p
978-4-309-02653-4
本体 ¥2,000+税

ブルーハワイ
青山　七恵　著
河出書房新社
いま、わたしは、わっと泣きだしたいくらいの敗北感を覚える-。あなたの心にそっと染み込む、至極の短篇集。表題作ほか「辰年」「聖ミクラーシュの日」など、全 6 篇を収録する。『文藝』等掲載を単行本化。

読売新聞　2018/12/23

2018:7./ 233p
978-4-309-02705-0
本体 ¥1,550+税

死に山～世界一不気味な遭難事故《ディアトロフ峠事件》の真相～
ドニー・アイカー、安原　和見　著
河出書房新社
学生登山家 9 名が凄惨な死に様で発見された、旧ソ連・ウラル山脈で起きた遭難事件「ディアトロフ峠事件」。原因は雪崩か吹雪か、あるいは衝撃波か? アメリカ人ドキュメンタリー映画作家が、未解決事件の全貌と真相に迫る。

読売新聞　2018/12/23

2018:8./ 351p
978-4-309-20744-5
本体 ¥2,350+税

核は暴走する～アメリカ核開発と安全性をめぐる闘い～<上>
エリック・シュローサー、布施　由紀子　著
河出書房新社
冷戦期に日常的なミスにより起きた、大陸間弾道ミサイル「タイタンII」発射施設の事故。アメリカの核兵器にまつわる事故の実例を明らかにし、核のリスクを生々しく描くとともに、アメリカの核兵器の歴史を丹念に振り返る。

読売新聞　2018/12/23

2018:7./ 356p
978-4-309-25385-5
本体 ¥3,900+税

祝祭の日々～私の映画アトランダム～
高崎　俊夫　著
国書刊行会
映画から文学へ、文学からジャズへ、そして映画へ-。ジャンルを縦横無尽に越境しながら綴る、魅惑の 20 世紀カルチュア・グラフィティ。清流出版ホームページの連載「高崎俊夫の映画アットランダム」を抜粋して収録。

読売新聞　2018/12/23

2018:2./ 315p
978-4-336-06248-2
本体 ¥2,600+税

英国怪談珠玉集
南條　竹則　著
国書刊行会
英国怪談の第一人者が半世紀に近い歳月を掛けて選び抜いた、イギリス怪奇幻想恐怖小説集。26 人の作品 32 編を一堂に集める。フィオナ・マクラウド「牧人」等の単行本未収録作も多数収録する。

読売新聞　2018/12/23

2018:7./ 587p
978-4-336-06280-2
本体 ¥6,800+税

MARUZEN-YUSHODO

帰還～父と息子を分かつ国～
ヒシャーム・マタール、金原　瑞人、野沢　佳織　著
人文書院
1979 年リビア。反体制運動のリーダーだった父はエジプトに亡命後、拉致された。そして 2012 年、息子である著者は、故国リビアに「帰還」し…。旅の記録と共に、家族の歴史、自身の心の軌跡を綴ったノンフィクション。

読売新聞 2018/12/23

2018:11./ 309p
978-4-409-13041-4
本体 ¥3,200+税

平成デモクラシー史(ちくま新書　1299)
清水　真人　著
筑摩書房
権力を巡るゲームのルールはどう変わり、プレーヤーたちはどう行動してきたのか。どんな力学が働き、統治システムがどう変容してきたのか。30 年の政治力学を構造的に読み解き、「平成デモクラシー」の航跡を描き出す。

読売新聞 2018/12/23

2018:1./ 401p,12p
978-4-480-07119-4
本体 ¥1,100+税

精講 漢文(ちくま学芸文庫　マ 39-2)
前野　直彬　著
筑摩書房
「論語」や李白・杜甫といった受験の定番から、歴史書、小説、日本の漢文学までを幅広くカバーした漢文の参考書。例文を読むことによって、文法の知識だけでなく中国の歴史や思想・文化をも体系的に学べる。

読売新聞 2018/12/23

2018:8./ 653p
978-4-480-09868-9
本体 ¥1,700+税

NEXT GENERATION BANK～次世代銀行は世界をこう変える～(blkswn paper vol.1)
若林　恵　著
日本経済新聞出版社
キャッシュはなくなり、店舗は消える。スマホが支店になり、金融商品はアプリとなる。データは資産。信用は貨幣。そして「お金」は、あなたそのものになる-。世界中で起こっている金融と社会の変化を紹介する。

読売新聞 2018/12/23

2018:12./ 131p
978-4-532-18275-5
本体 ¥1,200+税

ニュルンベルク合流～「ジェノサイド」と「人道に対する罪」の起源～
フィリップ・サンズ、園部　哲　著
白水社
2 人のユダヤ系法学者とナチスの法律家ハンス・フランク。それぞれの人生と運命が交錯し、戦後のニュルンベルク裁判へ-。ホロコーストの新たな稜線を描く、英国の勅撰弁護士・国際法学者によるノンフィクション。

読売新聞 2018/12/23

2018:4./ 563p,57p
978-4-560-09625-3
本体 ¥5,200+税

サバイバルボディー～人類の失われた身体能力を取り戻す～
スコット・カーニー、小林　由香利　著
白水社
短パン姿で、キリマンジャロ登頂！ 過酷な環境にわが身をさらし、ついに「凍えぬ体」を獲得したジャーナリストが、人類が進化の過程で失った能力を引き出す方法の一部始終を明かす、サイエンス・ノンフィクション。

読売新聞 2018/12/23

2018:9./ 308p,3p 図版16p
978-4-560-09653-6
本体 ¥2,200+税

例外時代～高度成長はいかに特殊であったのか～
マルク・レヴィンソン、松本　裕　著
みすず書房
現在の低成長が「平常」経済であり、第二次世界大戦後の高度成長期こそが「例外」であるという見方を、戦後史をたどって裏づける。また、カール・シラー、アーサ・バーンズらを細密に描写し、経済の実相を明らかにする。

読売新聞　2018/12/23

2017:11./ 315p,43p
978-4-622-08653-6
本体 ¥3,800+税

生存する意識～植物状態の患者と対話する～
エイドリアン・オーウェン、柴田　裕之　著
みすず書房
「植物状態」と診断された患者の脳が、問いかけに Yes と No で答えるなどの認知活動をやってのけた事実が明らかとなった。意識があるかないかの二分法では捉えきれない「グレイ・ゾーン」を探究する、緊迫の研究報告。

読売新聞　2018/12/23

2018:9./ 293p,14p
978-4-622-08735-9
本体 ¥2,800+税

経済史～いまを知り,未来を生きるために～
小野塚　知二　著
有斐閣
経済はなぜ成長するのか、人類はいかにして生存してきたのか、経済はいかに成長してきたのか。分業、市場、貨幣といった経済学の用語のみならず、権力、文化、共同体等人文科学の基本的な概念も用いて経済史を俯瞰する。

読売新聞　2018/12/23

2018:2./ 27p,541p,28p
978-4-641-16515-1
本体 ¥4,000+税

植物たちの救世主
カルロス・マグダレナ、三枝　小夜子　著
柏書房
なによりも植物が大好きなカルロス・マグダレナは、世界最大級の英国王立植物園キュー・ガーデンで学び、植物たちの救世主となった-。みずからの人生を織り交ぜつつ、植物の大切さを伝える。

読売新聞　2018/12/23

2018:7./ 287p
978-4-7601-5006-9
本体 ¥2,600+税

小川
キム・チュイ、山出　裕子　著
彩流社
ロケット弾や銃弾が横切る空の下で、私は生まれた。母の続きの人生を生きるために-。ベトナム戦争後の混乱の中、ボートピープルとなってカナダに渡った少女が、家族の絆のありかたを綴る自伝的小説。

読売新聞　2018/12/23

2012:9./ 145p
978-4-7791-1822-7
本体 ¥2,000+税

記憶の海辺～一つの同時代史～
池内　紀　著
青土社
人生の軌跡をたどり、何を実証しようとしたのか。念願としたのは私的な記録を通した時代とのかかわりだった…。10 歳のときの朝鮮戦争から、カフカ訳を終えた 60 歳までをたどる、自伝的回想録。『ユリイカ』掲載を書籍化。

読売新聞　2018/12/23

2017:12./ 355p
978-4-7917-7023-6
本体 ¥2,400+税

人工知能のための哲学塾<東洋哲学篇>
三宅　陽一郎　著
ビーエヌエヌ新社
人工知能は欲望を持てるのか? ニコニコ生放送で生配信されたイベント「人工知能のための哲学塾　東洋篇」の講演録。東洋と西洋の対立を通して、人工知能の未来の姿を浮かび上がらせる。

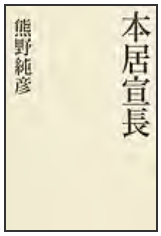
読売新聞　2018/12/23

2018:4./ 382p
978-4-8025-1080-6
本体 ¥2,500+税

アリになった数学者(たくさんのふしぎ傑作集)
森田　真生、脇阪　克二　著
福音館書店
ある日、アリになってしまったぼく。アリになる前、ぼくは普通の人間の数学者だった。ぼくは数学について、アリたちと語り合いたいと思い…。アリになって考え感じる人間の数学とは? 世界の見え方、感じ方がかわる本。

読売新聞　2018/12/23

2018:10./ 47p
978-4-8340-8434-4
本体 ¥1,300+税



本居宣長
熊野　純彦　著
作品社
吉田松陰、佐佐木信綱、丸山眞男、相良亨…。本居宣長をめぐる近代日本の精神史を検討。また、その蓄積をふまえ、若き日々から萬葉研究、「古事記傳」や「秘本玉くしげ」まで、宣長の全体像を描く。

読売新聞　2018/12/23

2018:9./ 4p,899p
978-4-86182-705-1
本体 ¥8,200+税

ヴィクトリア朝怪異譚
ウィルキー・コリンズ、ジョージ・エリオット、メアリ・エリザベス・ブラッドン、マーガレット・オリファント、三馬　志伸　著
作品社
イタリアで客死した叔父の亡骸を捜す青年、予知能力と読心能力を持つ男の生涯、先々代の当主の亡霊に死を予告された男…。日本への紹介が少なく、かつ読み応えあるヴィクトリア朝の中篇幽霊物語 4 作品を精選したアンソロジー。

読売新聞　2018/12/23

2018:8./ 331p
978-4-86182-711-2
本体 ¥2,800+税

回転草
大前　粟生　著
書肆侃侃房
僕は待っていた。平穏な日々がつづくなかで、僕だけが、また崩壊がくるのを待っていた-。『食べるのがおそい』で話題を呼んだ表題作をはじめ、愛と狂気と笑いと優しさと残酷さとが混在した 10 の物語を収録。

読売新聞　2018/12/23

2018:6./ 213p
978-4-86385-321-8
本体 ¥1,500+税

阿弗利加から旅して来た日本の楽器たち～音の図書館をめざして～
及川　尊雄　著
アルテスパブリッシング
日本の楽器の遠い祖先は、アフリカと関係があると考えている著者が、和楽器を中心に 48 年間かけて蒐集した楽器を「管楽器」「弦楽器」「打楽器」「明治から昭和(戦前)までの和楽器の世界」に分類し、カラー写真で紹介する。

読売新聞　2018/12/23

2018:1./ 239p
978-4-86559-178-1
本体 ¥6,800+税

精神障害とともに
南日本新聞取材班 著
ラグーナ出版
精神疾患患者を地域で支える体制を整えていった欧米諸国と対照的に隔離収容を推し進めた日本。病院・暮らし・就労などの現場を密着取材し、社会的偏見の解消を目指す。『南日本新聞』連載を書籍化。

読売新聞 2018/12/23

2017:12./ 298p
978-4-904380-70-3
本体 ¥1,400+税

運命～文在寅自伝～
文 在寅、矢野 百合子 著
岩波書店
2012 年 12 月の大統領選に向けて「出馬宣言」として刊行された、文在寅の自伝。「問題児」から「人権弁護士」への足跡、そして運命を導いた故・盧武鉉大統領との歩みを綴る。書き下ろし「日本語版への序文」も収録。

日本経済新聞 2018/12/01

2018:10./ 17p,408p
978-4-00-022239-6
本体 ¥2,700+税

マイケル・K(岩波文庫 32-803-1)
J.M.クッツェー 著
岩波書店
内戦の続く南アフリカ。マイケルは手押し車に病気の母親を乗せて、騒乱のケープタウンから内陸の農場をめざす…。国家の運命に翻弄されながら、どこまでも自由に生きようとする個人のすがたを描く。

日本経済新聞 2018/12/01

2015:4./ 311p
978-4-00-328031-7
本体 ¥840+税

星の王子さま(岩波文庫 37-516-1)
サン=テグジュペリ、内藤 濯 著
岩波書店
サハラ砂漠に不時着した孤独な飛行士と、「ほんとうのこと」しか知りたがらない純粋な星の王子さまとのふれあいを描いた、永遠の名作。内藤濯による歴史的名訳。「星の王子さま」誕生の秘話を満載したエッセイも収録。

日本経済新聞 2018/12/01

2017:7./ 220p
978-4-00-375131-2
本体 ¥520+税

マメな豆の話～世界の豆食文化をたずねて～(角川ソフィア文庫 N227-1)
吉田 よし子 著
KADOKAWA
ヒヨコマメ、キマメ、果肉が冷たく甘いアイスクリームビーン。豆腐?、茶で煮しめ風干しした豆腐干、臭豆腐や腐乳…。多彩な豆食文化を求め、中国・インド・東南アジア・南米を探査。人間の知恵と知られざる豆のパワーに迫る。

日本経済新聞 2018/12/01

2018:11./ 273p
978-4-04-400423-1
本体 ¥920+税

観音さま(講談社学術文庫 2531)
鎌田 茂雄 著
講談社
観音さまは、いちばん身近な仏さま。そもそも観音はいつ、どこで生まれたのか。人はなぜ観音を信じるのか。日本文化に与えた影響は-。歴史的背景や「法華経」などの経典、観音像を検証しながら、「観音信仰」の真髄に迫る。

日本経済新聞 2018/12/01

2018:11./ 195p
978-4-06-513728-4
本体 ¥880+税

拗ね者たらん～本田靖春 人と作品～
後藤 正治 著
講談社
読売新聞社会部エース記者として名を馳せ、独立後は「不当逮捕」「誘拐」「警察回り」などの名作を生んだ孤高のジャーナリスト、本田靖春。その生涯を、作品群と関係者の証言を通して描く。『本』連載を単行本化。

日本経済新聞 2018/12/01

2018:11./ 396p
978-4-06-514030-7
本体 ¥2,400+税

夷狄を待ちながら(集英社文庫)
J.M.クッツェー 著
集英社
日本経済新聞 2018/12/01

2003:12./ 359p
978-4-08-760452-8
本体 ¥850+税

「首尾一貫感覚」で心を強くする(小学館新書 334)
舟木 彩乃 著
小学館
悲しみ・不安・ストレスに勝つ“魔法の力”-それが、過酷な人生経験をしながらも前向きに生きる人々が持つ「首尾一貫感覚」だ。のべ 8000 人以上をカウンセリングした著者による、最新ストレス・マネジメント術。

日本経済新聞 2018/12/01

2018:10./ 221p
978-4-09-825334-0
本体 ¥780+税

パワー
ナオミ・オルダーマン、安原 和見 著
河出書房新社
ある日を境に、女たちが手から強力な電流を発する力を得る。そして、世界中で女性たちの反逆がはじまった-。究極の復讐世界を描いたディストピア・エンタテインメント小説。

日本経済新聞 2018/12/01

2018:10./ 433p
978-4-309-20755-1
本体 ¥1,850+税

国境なき助産師が行く～難民救助の活動から見えてきたこと～(ちくまプリマー新書 310)
小島 毬奈 著
筑摩書房
貧困、病気、女性の地位の低さ、レイプ…。難民の現実は厳しい!「国境なき医師団」で、助産師として難民救助の活動に 8 回参加した著者が、日本と世界の見方が変わる、貴重な体験を伝える。

日本経済新聞 2018/12/01

2018:10./ 223p
978-4-480-68336-6
本体 ¥840+税

魯迅と紹興酒～お酒で読み解く現代中国文化史～(東方選書 50)
藤井 省三 著
東方書店
1979 年の上海ビールの味、映画に見る北京の地酒、魯迅が描く紹興酒の風景…。酒をキーワードに、改革・開放経済体制以後 40 年の中国語圏文化の変遷を語る。『NHK ラジオ中国語講座』連載を加筆修正。

日本経済新聞 2018/12/01

2018:10./ 6p,271p
978-4-497-21819-3
本体 ¥2,000+税

MARUZEN-YUSHODO

50～いまの経済をつくったモノ～
ティム・ハーフォード、遠藤　真美　著
日本経済新聞出版社
新しいアイデアの誕生は、生活に予期せぬ影響をおよぼす。「粉ミルク」「電池」といった身近なモノから、「S 字トラップ」といったちょっと意外なモノまで、「50」のモノを軸に、現代経済を解説する。

日本経済新聞 2018/12/01

2018:9./ 430p
978-4-532-17644-0
本体 ¥1,800+税

チボー家の人々<1>　灰色のノート(白水 U ブックス)
ロジェ・マルタン・デュ・ガール　著
白水社
日本経済新聞 2018/12/01

1984:3./ 203p
978-4-560-07038-3
本体 ¥850+税

農家が消える～自然資源経済論からの提言～
寺西　俊一、石田　信隆、山下　英俊　著
みすず書房
持続可能な農業・農山村をどう維持・保全していくかについて、自然資源経済論の視点から検討を重ねてきた共同研究の成果。自然共生型農業の実現のさきに、アジアと連携し、ともに発展する環境共同体を構想する。

日本経済新聞 2018/12/01

2018:10./ 302p
978-4-622-08737-3
本体 ¥3,500+税

大名家の秘密～秘史『盛衰記』を読む～
氏家　幹人　著
草思社
将軍家光とお風呂で指切りした松平頼重、罪人の刑死体の解剖を観察した松平頼常…。18 世紀半ばに高松藩士・小神野与兵衛がさまざまな逸話を記録した「盛衰記」などの諸史料から、江戸前期の苛烈な武士世界を浮き彫りにする。

日本経済新聞 2018/12/01

2018:9./ 287p
978-4-7942-2353-1
本体 ¥2,000+税

「中東」の世界史～西洋の衝撃から紛争・テロの時代まで～
臼杵　陽　著
作品社
中東地域研究の第一人者が 200 年以上にわたる激動の近現代史を大胆に解読。中東戦争からパレスチナ問題、イラン革命、湾岸戦争、「イスラーム国」まで、「中東」をめぐる数々の危機が起きた歴史的過程を明らかにする。

日本経済新聞 2018/12/01

2018:8./ 302p,15p
978-4-86182-681-8
本体 ¥2,600+税

澤野工房物語～下駄屋が始めたジャズ・レーベル、大阪・新世界から世界へ～
澤野　由明　著
DU BOOKS
広告なし、ストリーミングなし、ベスト盤なし。そんな破天荒なやり方で、世界中で愛されるインディ・ジャズ・レーベルとなった「澤野工房」。下駄屋とレーベル、“二足のワラジ”を続けてきた著者が、その軌跡を振り返る。

日本経済新聞 2018/12/01

2018:9./ 286p
978-4-86647-081-8
本体 ¥2,500+税

MARUZEN-YUSHODO

「死」とは何か～イェール大学で 23 年連続の人気講義～
シェリー・ケーガン 著
文響社
死はなぜ悪いのか。なぜ哲学は「死なないほうが良い」ことを論証できないのか。死の本質について沸き起こる哲学的な疑問の数々を検討する。道徳・哲学・倫理の専門家が「死」をテーマに行うイェール大学の講義を書籍化。

日本経済新聞 2018/12/01

2018:10./ 382p
978-4-86651-077-4
本体 ¥1,850+税

中国と日本 二つの祖国を生きて
小泉 秋江 著
集広舎
1953 年、中国人軍医の父と日本人教師の母の間に生まれた著者は、「大躍進」運動や「文化大革命」の下で<生き地獄>を体験する。日本への「帰国」後も続く生活の困難…。長く過酷な運命に翻弄された生涯を克明に綴る。

日本経済新聞 2018/12/01

2018:9./ 269p
978-4-904213-63-6
本体 ¥1,500+税

ペットと葬式～日本人の供養心をさぐる～(朝日新書 687)
鵜飼 秀徳 著
朝日新聞出版
「うちの子」であるペットは、人間同様に極楽へ行けるのか? ペット葬を中心に、クジラ、マグロから蚕、シロアリ、AIBO、紙まで、なんでも供養してしまう世界でも類をみない日本人の尽きぬ慈悲心に迫る。

日本経済新聞 2018/12/01、読売新聞 2018/12/02

2018:10./ 303p
978-4-02-273788-5
本体 ¥890+税

写真で愉しむ 東京「水流」地形散歩(集英社新書 0956)
小林 紀晴 著
集英社
湧水、河岸段丘、調整池、人工河川…あらゆる地形の原点は水流にあり! 旅する写真家と鉄道・地形ファンが信頼する地図研究家が、東京の「水流」に挑戦。モノクロの「古地形」が哀愁を誘う一冊。

日本経済新聞 2018/12/01、読売新聞 2018/12/09

2018:11./ 218p
978-4-08-721056-9
本体 ¥820+税

公卿会議～論戦する宮廷貴族たち～(中公新書 2510)
美川 圭 著
中央公論新社
天皇家を支えた貴族層のうち、大臣らを公卿という。律令制の導入以降、国政の重要案件は、公卿たちが会議を行って方針を決めた。貴族の政務の実態を解説し、日本の合意形成プロセスの原型というべき公卿会議の変遷をたどる。

日本経済新聞 2018/12/01、毎日新聞 2018/12/09

2018:10./ 3p,240p
978-4-12-102510-4
本体 ¥840+税

佐野洋子の動物ものがたり
佐野 洋子、広瀬 弦 著
小学館
うさぎ、ゴリラ、ブタ、きつね、白熊、かば、蛙、そして人間。ヘンないきものたちが七転八倒する 6 つの寓話を収録。『図書新聞』に連載された、佐野洋子の遺された傑作、初の単行本化。広瀬弦の斬新な挿絵も多数収録。

日本経済新聞 2018/12/08

2018:10./ 150p
978-4-09-386513-5
本体 ¥1,500+税

外国人が見た日本～「誤解」と「再発見」の観光 150 年史～(中公新書 2511)
内田 宗治 著
中央公論新社
外国人は何を見たいのか。日本人は何を見せたいのか。外国人による見どころランキングの変遷や、日本人による観光客誘致をめぐる賛否両論を紹介し、日本の魅力はどこにあるのか、誰がどう発見し、アピールするのかを追う。

日本経済新聞 2018/12/08

2018:10./ 3p,274p
978-4-12-102511-1
本体 ¥880+税

日の名残り
カズオ・イシグロ、土屋 政雄 著
早川書房
品格ある執事の道を追求し続けてきたスティーブンスは、短い旅に出た。執事の鑑だった亡父、女中頭への淡い想い、邸内で催された重要な外交会議…。過ぎ去りし思い出は、輝きを増して胸の中で生き続け…。村上春樹の解説つき。

日本経済新聞 2018/12/08

2018:4./ 322p
978-4-15-209758-3
本体 ¥2,700+税

告発児童相談所が子供を殺す(文春新書 1090)
山脇 由貴子 著
文藝春秋
最後のセーフティーネットであるはずの児童相談所は今、子供を救う場所ではなくなっている。親の言うなりになる児童福祉司、いつも満員で入れない一時保護所、虐待親の心理など、元職員が非情な現場を告発する。

日本経済新聞 2018/12/08

2016:9./ 254p
978-4-16-661090-7
本体 ¥780+税

東欧音楽綺譚～クルレンツィス・跛行の来訪神・ペトルーシュカ～
伊東 信宏 著
音楽之友社
著者の専門分野である東欧の民俗音楽にとどまらず、新鋭指揮者のクルレンツィス、ヴァイオリニストのコパチンスカヤといった旬の話題まで、音楽・芸術・文化を縦横無尽に語り尽くす。『レコード芸術』連載を単行本化。

日本経済新聞 2018/12/08

2018:9./ 249p
978-4-276-21076-9
本体 ¥2,300+税

アメリカ(河出新書 001)
橋爪 大三郎、大澤 真幸 著
河出書房新社
アメリカとはそもそもどんな国か? アメリカ的とはどういうことか? 日本を代表するふたりの社会学者による対話で、日本にとっていちばん重要な国であるアメリカのひみつを明らかにする。

日本経済新聞 2018/12/08

2018:11./ 344p
978-4-309-63101-1
本体 ¥920+税

ルポ児童相談所～一時保護所から考える子ども支援～(ちくま新書 1233)
慎 泰俊 著
筑摩書房
社会起業家である著者自ら 10 カ所の一時保護所を訪問、2 つに住み込み、子供たち、親、職員ら 100 人以上のインタビューを実施。一時保護所の現状と課題点を浮かび上がらせ、一方的でない解決の方向性を探る。

日本経済新聞 2018/12/08

2017:1./ 221p
978-4-480-06939-9
本体 ¥780+税

アジア沈殿旅日記(ちくま文庫 み 27-4)
宮田 珠己 著
筑摩書房
旅に私の人生が飲み込まれることは、きっともうない。それでも私は旅をしたい-。「旅の理不尽」以降、ふたたびアジアへ。自分の気分と都合だけを優先した、純粋ピュアな旅日記。

日本経済新聞 2018/12/08

2018:11./ 248p
978-4-480-43555-2
本体 ¥740+税

居酒屋甲子園の奇跡～この若者たちはなぜ元気なのか～
桑原 才介 著
筑摩書房
「居酒屋から日本を元気に!」の旗印の下に全国の繁盛店が集い、自店の魅力を競い合う「居酒屋甲子園」。この大会を始めたのは 4 人の若者だった。居酒屋甲子園の歩みをたどり、4 人の起こした奇跡の全貌と、成功の秘密に迫る。

日本経済新聞 2018/12/08

2018:10./ 319p
978-4-480-81849-2
本体 ¥1,500+税

会計の世界史～イタリア、イギリス、アメリカ-500 年の物語～
田中 靖浩 著
日本経済新聞出版社
帳簿と会社の誕生から、計算や報告の仕組みの変化、管理会計やファイナンスといった新分野の登場まで、会計の世界史を物語として綴る。簿記、会計、ファイナンスの全体がわかる一冊。

日本経済新聞 2018/12/08

2018:9./ 423p
978-4-532-32203-8
本体 ¥2,200+税

児童相談所 70 年の歴史と児童相談～"歴史の希望としての児童"の支援の探究～
加藤 俊二 著
明石書店
戦災孤児の保護救済の仕事から出発した日本の児童相談所の歴史を、現存のさまざまな資料を基に振り返る。また、著者の児童福祉分野での実践活動と研究を、実践記録及び小論で紹介する。

日本経済新聞 2018/12/08

2016:11./ 390p
978-4-7503-4434-8
本体 ¥2,800+税

ベートーヴェン捏造～名プロデューサーは?をつく～
かげはら 史帆 著
柏書房
ベートーヴェンの晩年に、音楽活動や日常生活の補佐役をつとめていたシンドラー。彼はなぜ罪を犯し、どうやってそれを隠し通したのか。音楽史上最大のスキャンダル「会話帳改竄事件」の全貌に迫る歴史ノンフィクション。

日本経済新聞 2018/12/08

2018:10./ 319p
978-4-7601-5023-6
本体 ¥1,700+税

ビデオゲームの美学
松永 伸司 著
慶應義塾大学出版会
1970 年代以降、ポピュラーカルチャーの王として君臨するビデオゲーム。スペースインベーダー、テトリス、ドラゴンクエスト…。多くの事例をとりあげ、ビデオゲームを芸術哲学の観点から考察し、その諸特徴を明らかにする。

日本経済新聞 2018/12/08

2018:10./ 350p,23p
978-4-7664-2567-3
本体 ¥3,200+税

中華料理進化論(イースト新書 Q Q050)
徐　航明　著
イースト・プレス
中国から伝来し、愛され、独自の進化を遂げて日本に定着した中華料理。そのプロセスを文化、テクノロジー、ビジネスの視点から、グローバルな流れの中で分析し、4000 年の歴史の最先端にある日本の中華料理を描き出す。

日本経済新聞　2018/12/08

2018:9./ 223p
978-4-7816-8050-7
本体 ¥880+税

虐待が脳を変える～脳科学者からのメッセージ～
友田　明美、藤澤　玲子　著
新曜社
既刊「いやされない傷」をベースに、その後明らかになったことや検討を重ねてきた推論などを追加。子ども虐待で傷つく脳の厳正な科学研究を通して、マルトリートメント(子そだて困難)のみならず、正しい子そだてを提示する。

日本経済新聞　2018/12/08

2018:1./ 14p,185p
978-4-7885-1545-1
本体 ¥1,800+税

チャイナ・イノベーション～データを制する者は世界を制する～
李　智慧　著
日経BP社
14 億人の中国「モバイル決済」市場を二分するアリババとテンセントは、どこへ向かうのか? 中国フィンテック研究の第一人者が、中国政府の戦略と政策などにも触れながら、中国型イノベーション勃興の謎を解き明かす。

日本経済新聞　2018/12/08

2018:9./ 289p
978-4-8222-5587-9
本体 ¥1,800+税

魂に息づく科学～ドーキンスの反ポピュリズム宣言～
リチャード・ドーキンス、大田　直子　著
早川書房
科学アウトリーチ(啓発・教育活動)を天職とするドーキンスの論考集成。専門である進化生物学を中心とした科学解説、現代社会の動きと風潮に鋭く異議を申し立てた議論など、多岐にわたる文章を選り抜いて収録。

日本経済新聞　2018/12/08、朝日新聞　2018/12/15

2018:10./ 524p
978-4-15-209807-8
本体 ¥2,700+税

逆転の大戦争史
オーナ・ハサウェイ、スコット・シャピーロ、野中　香方子　著
文藝春秋
ペリーによって砲艦外交の屈辱を嘗めた日本は、「侵略は善」たる「旧世界秩序」を学ぶ。だが、1928 年に締結された「パリ不戦条約」により、戦争は非合法となった…。忘れられた国際条約を起点に戦争をめぐる世界史を描く。

日本経済新聞　2018/12/08、朝日新聞　2018/12/15

2018:10./ 725p
978-4-16-390912-7
本体 ¥2,450+税

世界を売った男(文春文庫　チ 12-1)
陳　浩基　著
文藝春秋
一夜にして 6 年間の記憶を失った刑事・許。“昨日まで”捜査していた殺人事件は、意外な結末を迎えていた。6 年前の事件の真相と己の記憶を追い求める許の捜査行が始まる。

日本経済新聞　2018/12/08、読売新聞　2018/12/09

2018:11./ 332p
978-4-16-791182-9
本体 ¥840+税

MARUZEN-YUSHODO

民主主義の死に方～二極化する政治が招く独裁への道～
スティーブン・レビツキー、ダニエル・ジブラット、濱野　大道　著
新潮社
現代の民主主義の死は、選挙から始まる-。20 世紀にヨーロッパやラテンアメリカで起きた民主主義の崩壊を長年研究してきた 2 人の著者が、世界の民主主義の現状を分析し、将来に向けて打つべき手を提言する。

日本経済新聞 2018/12/08、読売新聞 2018/12/23

2018:9./ 318p
978-4-10-507061-8
本体 ¥2,500+税

Haruki Murakami を読んでいるときに我々が読んでいる者たち
辛島　デイヴィッド　著
みすず書房
世界で最も広く読まれている日本人小説家・村上春樹。世界へのブレイクスルーまでの道のりを後押しした出版界のスペシャリストたちとの対話と、村上本人のインタビューをもとに、世界的作家が生まれるまでのストーリーを追う。

日本経済新聞 2018/12/08、読売新聞 2018/12/23

2018:9./ 356p,24p
978-4-622-08700-7
本体 ¥3,200+税

ブッダのことば～スッタニパータ～(ワイド版岩波文庫)
中村　元　著
岩波書店
日本経済新聞 2018/12/15

1991:1./ 453p
978-4-00-007007-2
本体 ¥1,600+税

ブッダの真理のことば感興のことば(岩波文庫)
中村　元　著
岩波書店
日本経済新聞 2018/12/15

1978:1./ 394p
978-4-00-333021-0
本体 ¥1,010+税

懐かしい年への手紙(講談社文芸文庫)
大江健三郎　著
講談社
日本経済新聞 2018/12/15

1992:10./ 640p
978-4-06-196196-8
本体 ¥1,700+税

平成犬バカ編集部
片野　ゆか　著
集英社
人生崖っぷちの男が起死回生をかけて立ち上げたのは、この国初めての日本犬専門雑誌『Shi-Ba』だった！ 犬バカが集まる編集部を軸に激動の犬現代史を追うノンフィクション。『レンザブロー』掲載に加筆・修正。

日本経済新聞 2018/12/15

2018:11./ 300p
978-4-08-771165-3
本体 ¥1,600+税

オリンピック 101 の謎(新潮文庫　ふ-56-1)
吹浦　忠正　著
新潮社
オリンピックにはいくらかかる? マラソンの距離はどう測るのか? 「金栗四三」って誰? 半世紀以上にわたって五輪にかかわり続けた著者が、「スポーツの祭典」の面白エピソードを明かす。『週刊新潮』連載を文庫化。

日本経済新聞 2018/12/15

2018:12./ 270p
978-4-10-100386-3
本体 ¥520+税

いやしい鳥(河出文庫　ふ 18-1)
藤野　可織　著
河出書房新社
現実と非現実がシームレスに語られて、いつしか読み手は「まさか」の世界へ。鳥に変身した男をめぐる惨劇を描いた表題作、愛と暴力が奇妙に同居する「胡蝶蘭」など、恐怖と不安と笑いがせめぎあう異色の幻想小説全 3 作を収録。

日本経済新聞 2018/12/15

2018:12./ 168p
978-4-309-41652-6
本体 ¥690+税

アジアはいかに発展したか～アジア開発銀行がともに歩んだ 50 年～
ピーター・マッコーリー、浅沼　信爾、小浜　裕久、アジア開発銀行　著
勁草書房
1966 年に創設されたアジア開発銀行(ADB)。開発のパートナーとしての ADB の「開発途上加盟国への資金・ナレッジ支援」「優れた政策の促進」「友好関係の触媒としての役割」の全貌を説き明かす。

日本経済新聞 2018/12/15

2018:11./ 36p,460p
978-4-326-50451-0
本体 ¥4,000+税

現代の死に方～医療の最前線から～
シェイマス・オウマハニー、小林　政子　著
国書刊行会
人生の最期から見た生き方とは-。技術一辺倒に陥り、サービス産業化する現代医療に危機感を募らせる医師が、「生と死」の現実と哲学に寄り添い、人間存在の弱さと、苦難を乗り越える勇気を問いかける。

日本経済新聞 2018/12/15

2018:10./ 259p
978-4-336-06285-7
本体 ¥2,700+税

明日を生きるための教養が身につくハーバードのファイナンスの授業～ハーバード・ビジネス・スクール伝説の最終講義～
ミヒル・A.デサイ、関　美和　著
ダイヤモンド社
ファイナンスは自分の将来を見つめる力! ファイナンス理論の大家が、文学や絵画、映画などの芸術作品で語られる物語を題材として、ファイナンスという学問が、いかに人生をよりよく生きるために役立ちうるかを解説する。

日本経済新聞 2018/12/15

2018:11./ 5p,319p
978-4-478-10402-6
本体 ¥1,600+税

いにしえの恋歌～和歌と漢詩の世界～(筑摩選書　0166)
彭　丹　著
筑摩書房
和歌は何ゆえに漢詩と異なる独自の世界を創りあげることができたのか? 東アジアに誕生した和歌と漢詩の魅力の源泉を「恋歌」を入口に解き明かし、古代の日本と中国に生きた人々の心情に迫る。

日本経済新聞 2018/12/15

2018:10./ 279p
978-4-480-01673-7
本体 ¥1,600+税

現代語訳大乗仏典<1>　般若経典
中村　元 著
東京書籍
インド学・仏教学の泰斗が主要な大乗仏典の精髄を現代語に訳し、わかりやすく解説する全 7 巻シリーズの第 1 巻。空の思想を説く『般若心経』『金剛般若経』『八千頌般若経』を収録。

日本経済新聞 2018/12/15

2003:2./ 302p
978-4-487-73281-4
本体 ¥2,000+税

戦略の世界史～戦争・政治・ビジネス～<上>
ローレンス・フリードマン、貫井　佳子 著
日本経済新聞出版社
戦略とは何か。広大な視野のもとに戦略の変遷を論じ、歴史書・文学・哲学など多様な分野にわたり、人間と戦略の関わりを解き明かす。上は、戦略の起源をはじめ、ナポレオン・マクナマラ・毛沢東らの軍事戦略などを取り上げる。

日本経済新聞 2018/12/15

2018:9./ 557p
978-4-532-17645-7
本体 ¥3,500+税

戦略の世界史～戦争・政治・ビジネス～<下>
ローレンス・フリードマン、貫井　佳子 著
日本経済新聞出版社
戦略とは何か。広大な視野のもとに戦略の変遷を論じ、歴史書・文学・哲学など多様な分野にわたり、人間と戦略の関わりを解き明かす。下は、ガンジーらの非暴力運動、経営学の隆盛、合理的選択理論の限界などを取り上げる。

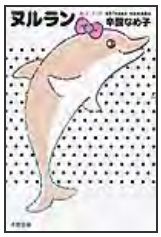
日本経済新聞 2018/12/15

2018:9./ 549p
978-4-532-17646-4
本体 ¥3,500+税

フェイクニュースを科学する～拡散するデマ、陰謀論、プロパガンダのしくみ～ (DOJIN 選書　79)
笹原　和俊 著
化学同人
フェイクニュースはなぜ生まれ、どのようにして拡散し、われわれ人類の脅威となるのか。フェイクニュース現象を「情報生態系」の問題として捉え、その仕組みを平易な言葉で解説する。理解の手助けになるコラムも掲載。

日本経済新聞 2018/12/15

2018:12./ 191p
978-4-7598-1679-2
本体 ¥1,500+税



ヌルラン
辛酸　なめ子 著
太田出版
スピリチュアル系のイベントに参加したレミ。そこで、高次元の星から来たイルカの守護霊がついていると言われ…。悩めるインスタグラマーのレミと、その守護霊でゲイのイルカ・ヌルランによる抱腹絶倒、唯一無比の物語。

日本経済新聞 2018/12/15

2018:10./ 228p
978-4-7783-1651-8
本体 ¥1,600+税

最速でトップに駆け上がる人は何が違うのか?
エレナ・ボテロ、キム・パウエル、加藤　万里子 著
日経BP社
2000 人の CEO の評価データを徹底分析し、リーダーの本質を明らかにした書。CEO の 4 つの行動特性、成功パターンを解説し、CEO の地位を手にしたあと、そこで結果を出すための方法を指南する。

日本経済新聞 2018/12/15

2018:10./ 373p
978-4-8222-5593-0
本体 ¥1,800+税

親鸞聖人御消息(浄土真宗聖典－現代語版－)
親鸞、教学伝道研究センター 著
本願寺出版社
京都から関東の門弟に送られた聖人の手紙「親鸞聖人御消息」と恵信尼公の手紙「恵信尼消息」の現代語訳。丁寧な訳に加えて脚註と訳註を付し、巻末には聖人に関する年表等を収録。親鸞聖人の激動の人生が手紙から見えてくる。

日本経済新聞 2018/12/15

2007:3./ 219p
978-4-89416-263-1
本体 ¥1,000+税

高坂正堯～戦後日本と現実主義～(中公新書 2512)
服部 龍二 著
中央公論新社
日本における国際政治学の最大の巨人・高坂正堯。彼の主著、歴代首相のブレーンとしての活動を中心に生涯をたどり、戦後日本の知的潮流、政治とアカデミズムとの関係を明らかにする。

日本経済新聞 2018/12/15、朝日新聞 2018/12/22、読売新聞 2018/12/23

2018:10./ 6p,410p
978-4-12-102512-8
本体 ¥1,000+税

エリザベスの友達
村田 喜代子 著
新潮社
夕方になると、どこかへ帰ろうとする母。いったいどこへ帰っているのか-。認知症の老女たちのなかに宝石のように眠る戦中戦後の輝かしい記憶。その豊かな世界を描く長篇小説。『新潮』掲載をまとめて単行本化。

日本経済新聞 2018/12/15、東京・中日新聞 2018/12/16

2018:10./ 235p
978-4-10-404105-3
本体 ¥1,800+税

記憶術全史～ムネモシュネの饗宴～(講談社選書メチエ 689)
桑木野 幸司 著
講談社
古代ギリシアで生まれ、中世を経て、ルネサンスで隆盛を極めた「記憶術」。文学、哲学、史学、美術史、建築史、音楽学、科学史、思想史など、多彩な領域に及ぶこの秘技の誕生から黄昏までを一望する。

日本経済新聞 2018/12/22

2018:12./ 348p
978-4-06-514026-0
本体 ¥2,000+税

旅する天皇～平成 30 年間の旅の記録と秘話～
竹内 正浩 著
小学館
天皇・皇后両陛下の印象は、様々ないでたちで人々と触れ合う旅先の姿で形作られている。地球 15 周半に及ぶ両陛下の旅の全貌を地図や図表にして分析し、旅先での具体的なエピソードを紹介する。

日本経済新聞 2018/12/22

2018:10./ 269p
978-4-09-388630-7
本体 ¥1,850+税

荒仏師 運慶(新潮文庫 あ-91-2)
梓澤 要 著
新潮社
少年の頃「醜い顔」と嘲られた運慶は、それゆえ美に敏感となった。鎌倉武士の逞しい肉体に目を奪われ、女の姿態を仏の姿に写しとる。野心、快慶との確執、美の追求。その絶頂期、病が襲った…。天才仏師・運慶の生涯を描く。

日本経済新聞 2018/12/22

2018:12./ 482p
978-4-10-121182-4
本体 ¥710+税

MARUZEN-YUSHODO

すべての医療は「不確実」である(NHK 出版新書　567)
康永　秀生　著
NHK出版
氾濫する病気と治療をめぐる情報に惑わされず、医学の進歩の恩恵を受け、幸せに長生きするにはどうすればよいか? 東大医学部教授が“科学的根拠の有無”を手掛かりに秘訣を伝授する。

日本経済新聞 2018/12/22

2018:11./ 252p
978-4-14-088567-3
本体 ¥820+税

わたしの家族の明治日本
ジョアンナ・シェルトン、滝沢　謙三、滝沢カレン・アン　著
文藝春秋
明治維新直後の日本で布教することを 27 歳で決意したアメリカ人宣教師が、近代化途上の逆境のなか、時を越えて日本に遺したものとは-。最年少で女性初の OECD 事務次長に就任した曾孫が綴る実話。

日本経済新聞 2018/12/22

2018:10./ 284p
978-4-16-390911-0
本体 ¥2,000+税

建設テック革命～アナログな建設産業が最新テクノロジーで生まれ変わる～
木村　駿、日経コンストラクション　編
木村　駿　著
日経BP社
建設テック革命の最前線では何が起こっているのか。AI、ドローン、自動運転、ロボティクスといったテクノロジーが、アナログな建設産業をどのように変えようとしているのかを、豊富な事例と当事者への取材を基に読み解く。

日本経済新聞 2018/12/22

2018:10./ 302p
978-4-296-10025-5
本体 ¥2,200+税

怖い橋の物語(河出文庫　な 39-1)
中野　京子　著
河出書房新社
奇妙な橋、歴史的に大きな意味を持った橋、絵画に描かれた橋…。異なる世界をつなぎ、様々な物語を引き寄せる橋をめぐる、とっておきの物語。『北海道新聞』夕刊等の連載「橋をめぐる物語」から選んだ全 55 話を収録。

日本経済新聞 2018/12/22

2018:12./ 252p
978-4-309-41654-0
本体 ¥800+税

怖い短歌(幻冬舎新書　く-5-4)
倉阪　鬼一郎　著
幻冬舎
恐ろしい風景、向こうから来るもの、死の影、変容する世界…。西行、上田秋成、与謝野晶子、小川太郎ら、さまざまな歌人の歌集から多彩な「怖い短歌」を集め、著者の解説とともに収録。奇想の短歌アンソロジー。

日本経済新聞 2018/12/22

2018:11./ 215p
978-4-344-98527-8
本体 ¥780+税

絶滅できない動物たち～自然と科学の間で繰り広げられる大いなるジレンマ～
M.R.オコナー、大下　英津子　著
ダイヤモンド社
飼育下繁殖から、iPS 細胞、ゲノム編集まで、絶滅に挑むテクノロジーと自然保護の現場を徹底取材。人が介入すればするほど、「自然」から遠ざかっていく自然保護と種の再生テクノロジーの矛盾を暴く。

日本経済新聞 2018/12/22

2018:9./ 13p,372p
978-4-478-06731-4
本体 ¥2,200+税

仮想通貨はどうなるか～バブルが終わり、新しい進化が始まる～
野口　悠紀雄　著
ダイヤモンド社
異常ともいえるほどの価格上昇を示し、暴落した仮想通貨。一体何が起こっているのか? 価格変動の原因を探り、今後どうなるのか、仮想通貨の将来を展望する。『ダイヤモンド・オンライン』等の連載をもとに書籍化。

日本経済新聞 2018/12/22

2018:9./ 277p
978-4-478-10665-5
本体 ¥1,600+税

村役人のお仕事
山崎　善弘　著
東京堂出版
徳川時代、村役人は、武士のいない村の政治と自治の両方を担う重要な存在であった。彼らはどのような仕事をしていたのか? 徳川幕府の二大拠点・関東と関西に分け、4 人の村役人を例に、その仕事を具体的に示す。

日本経済新聞 2018/12/22

2018:11./ 223p
978-4-490-20997-6
本体 ¥2,200+税

銀行デジタル革命～決定版～
木内　登英　著
東洋経済新報社
加速するキャッシュレス化。元日銀審議委員が、日本のフィンテック対応や電子決済、銀行の現状と課題、仮想通貨投資の行方、世界の中央銀行の動向などを詳細に追いつつ、通貨のデジタル化への道を展望する。

日本経済新聞 2018/12/22

2018:8./ 246p
978-4-492-68145-9
本体 ¥1,600+税

恐怖の男～トランプ政権の真実～
ボブ・ウッドワード、伏見　威蕃　著
日本経済新聞出版社
感情的なアメリカ大統領。彼の危険な思いつきを妨害し、国を動かすホワイトハウスのスタッフ。世界一の強国の意思決定は、いま狂気に満ちている。ニクソンを退陣させた伝説の記者が、トランプとホワイトハウスの真実を描く。

日本経済新聞 2018/12/22

2018:12./ 532p 図版16p
978-4-532-17652-5
本体 ¥2,200+税

ビットコインはチグリス川を漂う～マネーテクノロジーの未来史～
デイヴィッド・バーチ、松本　裕　著
みすず書房
人が理解するマネーから、人を理解するマネーへ。電子マネーと電子識別の権威である著者が、マネーの三大機能を踏まえつつ、マネーの誕生から現在までをたどり、ビットコイン後のマネー像を描きだす。

日本経済新聞 2018/12/22

2018:5./ 20p,305p,14p
978-4-622-08694-9
本体 ¥3,400+税

<効果的な利他主義>宣言!～慈善活動への科学的アプローチ～
ウィリアム・マッカスキル、千葉　敏生　著
みすず書房
チャリティや支援活動のパフォーマンスは、どうやったら測れるのか。哲学と経済学の概念を組み合わせて、「事実」をキーワードに、<効果的な利他主義>の新たな潮流を紹介する。

日本経済新聞 2018/12/22

2018:11./ 222p,38p
978-4-622-08742-7
本体 ¥3,000+税

地域通貨によるコミュニティ・ドック
西部　忠 著
専修大学出版局
地域通貨を導入することで「コミュニティ=互酬原理」を働かせることの理論的意義を考察するとともに、「コミュニティ・ドック(地域ドック)」の枠組みを体系化し、地域通貨の実践的な導入・活用のための提言を行う。

日本経済新聞 2018/12/22

2018:9./ 11p,302p
978-4-88125-329-8
本体 ¥2,800+税

人間たちの庭～ホテル・サピエンス～
レーナ・クルーン、末延　弘子 著
西村書店
雲の観察者、常識婦人、死を予言する占い師…看護人や修道女によって、患者のように管理されているホテルの奇妙な住人たち。壊滅した世界の混沌と秩序のもとで、彼らは自身の過去・現在を語り始める…。哲学的 SF 小説。

日本経済新聞 2018/12/22

2018:9./ 215p
978-4-89013-792-3
本体 ¥1,600+税

心ふさがれて
マリー・ンディアイ 著
インスクリプト
突然、理由なく周りの人々から虐げられるようになった小学校教師のナディア。怯え、疑いを抱きながら暮らす彼女の心に過去、出自、家族との関係が甦る。奇想とリアリズムが交錯する長篇小説。

日本経済新聞 2018/12/22

2008:10./ 349p
978-4-900997-20-2
本体 ¥2,500+税

昨日がなければ明日もない([杉村三郎シリーズ])
宮部　みゆき 著
文藝春秋
29 歳のシングルマザーから相談を受けた杉村三郎。彼女は 16 歳で最初の子を産み、別の男性との間にも子供がいて…。表題作ほか全 3 作を収録。杉村三郎シリーズ第 5 弾。『オール讀物』掲載を加筆して単行本化。

毎日新聞 2018/12/01

2018:11./ 396p
978-4-16-390930-1
本体 ¥1,650+税

刀と傘～明治京洛推理帖～(ミステリ・フロンティア 102)
伊吹　亜門 著
東京創元社
慶応 3 年。幕末の京都で若き尾張藩士・鹿野師光は、後に初代司法卿となる江藤新平と邂逅する。2 人の前には、時代の転換点ゆえに起きる事件が次々に待ち受けて…。『ミステリーズ!』掲載に書き下ろしを加え書籍化。

毎日新聞 2018/12/01

2018:11./ 259p
978-4-488-02006-4
本体 ¥1,700+税

ただの文士～父、堀田善衞のこと～
堀田　百合子 著
岩波書店
隣のおじさんのことのように毎晩ゴヤの動向を伝える父、バルセロナで藤原定家の日記に呻吟する父…。「ただの文士」であろうとした作家・堀田善衞の、創作へのあくなき情熱と少しユーモラスな日々を、娘の目から追想する。

毎日新聞 2018/12/02

2018:10./ 10p,211p
978-4-00-061295-1
本体 ¥1,900+税

江戸東京の明治維新(岩波新書 新赤版 1734)
横山 百合子 著
岩波書店
維新の激動に飲み込まれた江戸。諸大名の一斉帰国で人口は一挙に激減。横行する浮浪士のテロ、荒廃する屋敷地、流動化する身分。秩序が解体してゆく東京で、時代の変化に食らいつき、必死にもがきつづけた人びとの明治維新史。

毎日新聞 2018/12/02

2018:8./ 11p,197p
978-4-00-431734-0
本体 ¥780+税

江戸を造った男(朝日文庫 い 90-1)
伊東 潤 著
朝日新聞出版
明暦大火の材木買付、独創的な日本列島海運航路の開発、革新的な大坂・淀川治水工事など、江戸の都市計画・日本大改造の総指揮をとった河村瑞賢。その波瀾万丈の生涯を描いた長編時代小説。

毎日新聞 2018/12/02

2018:10./ 542p
978-4-02-264902-7
本体 ¥800+税

三島由紀夫ふたつの謎(集英社新書 0955)
大澤 真幸 著
集英社
なぜ彼は「切腹」したのか? 最後の長編「豊饒の海」のラストはあれでいいのか? 日本を代表する社会学者が、三島由紀夫の全作品を徹底的に読み解き、文学史上最大の謎に挑む。『すばる』連載をもとに加筆修正して新書化。

毎日新聞 2018/12/02

2018:11./ 316p
978-4-08-721055-2
本体 ¥940+税

小泉信三～天皇の師として、自由主義者として～(中公新書 2515)
小川原 正道 著
中央公論新社
戦前はマルクス主義批判の知識人、戦後は皇太子教育の全権委任者として知られた小泉信三。国家主義の台頭、戦争、敗戦という激動の中、国家のあり方を問い続け、オールド・リベラリストの生き方を貫いた小泉の生涯を描く。

毎日新聞 2018/12/02

2018:11./ 6p,210p
978-4-12-102515-9
本体 ¥780+税

戦争の世界史大図鑑
R.G.グラント、樺山 紘一、マーリンアームズ株式会社、エス・プロジェクト 著
河出書房新社
古代から現代まで、人類 5000 年の戦争・紛争を、オールカラーのヴィジュアル図版とともに解説。各戦争の原因・経過・結果・影響を正確に記述し、兵力、死傷者数などの基礎史料を収録。多角的で新しい視点から読む戦争全史。

毎日新聞 2018/12/02

2018:11./ 360p
978-4-309-22667-5
本体 ¥3,900+税

ヌメロ・ゼロ(河出文庫 エ 3-1)
ウンベルト・エーコ 著
河出書房新社
私たちはすぐ忘れる。そして無関心になる。悪しきジャーナリズムが狙うのはそこだ! ミラノの新聞社を舞台に、陰謀と歪んだ報道にまみれた情報社会をミステリータッチでアイロニカルに描く警鐘の書。

毎日新聞 2018/12/02

2018:11./ 264p
978-4-309-46483-1
本体 ¥880+税

MARUZEN-YUSHODO

人体はこうしてつくられる～ひとつの細胞から始まったわたしたち～
ジェイミー・A.デイヴィス、橘　明美　著
紀伊國屋書店出版部
直径 0.1mm の細胞が、思考し言葉を操る生物になるまで-。未解明領域の残る<ヒトの発生>という生命現象のプロセスを、基本である細胞分裂や、生体と人工物の構築方法の本質的な違いなども含めて平易に解説する。

毎日新聞 2018/12/02

2018:11./ 441p
978-4-314-01164-8
本体 ¥2,500+税

格差社会を生き抜く読書(ちくま新書　1333-5)
佐藤　優、池上　和子　著
筑摩書房
貧困に陥らないために、貧困から抜け出すために、私たちにできることとは? 佐藤優と池上和子が、格差社会の実相を知るための 30 冊の本を紹介しながら現代の貧困を徹底的に議論。格差社会を生き抜くための針路を描く。

毎日新聞 2018/12/02

2018:11./ 201p
978-4-480-07179-8
本体 ¥760+税

中国外交と台湾～「一つの中国」原則の起源～
福田　円　著
慶應義塾大学出版会
朝鮮戦争停戦から文革前夜へと至る、台湾問題をめぐる中国の政治外交史を、「一つの中国」原則の起源という視点から論じる。台湾開放から一つの中国へと移行する毛沢東外交のプラグマティックな側面を浮き彫りにする。

毎日新聞 2018/12/02

2013:2./ 4p,418p
978-4-7664-2010-4
本体 ¥6,800+税

精選折口信夫<1>　異郷論・祭祀論
岡野　弘彦　編
折口　信夫　著
慶應義塾大学出版会
折口信夫の学問研究および釈迢空の筆名で発表された詩歌の作品をも含めた、全著作から精選。1 は、「まれびと」とそれを迎える聖なる女性「神の嫁」とを論じた諸編、神祭りの発生などを収める。

毎日新聞 2018/12/02

2018:11./ 291p
978-4-7664-2548-2
本体 ¥2,800+税

米中台関係の分析～新現実主義の立場から～
河原　昌一郎　著
彩流社
相手国に対する脅威認識の強弱、共通脅威の存在等の状況によって、国家間で一定の持続性を有する「関係」は形成される。これら脅威認識によって形成される米中台関係の動向を的確に把握する。

毎日新聞 2018/12/02

2015:10./ 245p
978-4-7791-2177-7
本体 ¥2,800+税

散文精神について
広津　和郎　著
本の泉社
散文精神を戦時下の抵抗軸として掲げた広津和郎の評論集。新たに「散文精神について」「散文芸術の位置」「再び散文芸術の位置について」を加える。あらためて現代を見つめなおし、文学と人生を思い、政治を考える一冊。

毎日新聞 2018/12/02

2018:9./ 3p,249p
978-4-7807-1905-5
本体 ¥2,200+税

傾いた夜空の下で
岩倉　文也　著
青土社
傘の下で人は透きとおる猫のようにおとなしい。(「傘の下で人は」より)「ユリイカの新人」に選ばれ、毎日歌壇賞を受賞した、SNS でも注目の著者の第 1 詩集。『ユリイカ』掲載等に Twitter の投稿を加え単行本化。

毎日新聞 2018/12/02

2018:9./ 107p
978-4-7917-7103-5
本体 ¥1,600+税

共産中国にしてやられるアメリカ～民主台湾の孤立を招いた歴史の誤り～
阮　銘、廖　建竜　著
草思社
冷戦はいまだ終わらず。共産主義 vs 自由主義の最後の戦いとは…。元共産党エリート幹部が、米・中・台歴代首脳の対立の構図を活写し、台湾危機の根源を明らかにする。東アジア情勢の今後を見通すための必読の書!

毎日新聞 2018/12/02

2006:12./ 314p
978-4-7942-1554-3
本体 ¥2,000+税

日中外交の黒衣六十年～三木親書を託された日本人の回想録～
南村　志郎、西村　秀樹　編
南村　志郎　著
ゆいぽおと
1950 年代から現在まで 60 数年近く、北京を拠点に日中友好活動一筋に生きてきた南村志郎。2018 年に卒寿を迎え、今なお日中関係の改善に腐心する南村にインタビューし、これまでの足跡と歴史の新事実を明らかにする。

毎日新聞 2018/12/02

2018:10./ 110p
978-4-87758-472-6
本体 ¥1,400+税

ジュール・ヴェルヌ<驚異の旅>コレクション<5>　カルパチアの城　ヴィルヘルム・シュトーリッツの秘密
ジュール・ヴェルヌ　著
インスクリプト
ヴェルヌの小説連作<驚異の旅>から、入手困難な重要作品を中心に、地理的・ジャンル的な広がりをバランスよくカバーした選集。5 は、東欧を舞台に不在の女性への狂恋が奔騰する 21 世紀的小説 2 篇を収録する。

毎日新聞 2018/12/02

2018:10./ 385p
978-4-900997-75-2
本体 ¥4,200+税

自転車泥棒
呉　明益、天野　健太郎　著
文藝春秋
20 年前の父の失踪とともに消えた自転車。その行方を追ううち、いつしか台湾から戦時下の東南アジアのジャングルへ-。家族の「愛と記憶」を壮大なスケールで描く長篇。

毎日新聞 2018/12/02、日本経済新聞 2018/12/15

2018:11./ 438p
978-4-16-390925-7
本体 ¥2,100+税

MARUZEN-YUSHODO

戦慄の記録インパール
NHK スペシャル取材班 著
岩波書店
3 万人を超える死者を出した「インパール作戦」は、どのように立案・遂行されたのか。司令官の肉声や兵士たちの証言などを通じて、その全貌に迫る。NHK スペシャルをもとに書籍化。

毎日新聞 2018/12/09

2018:7./ 8p,230p
978-4-00-061285-2
本体 ¥2,000+税

国宝<上> 青春篇
吉田 修一 著
朝日新聞出版
1964 年元旦、長崎の老舗料亭で、この国の宝となる役者・立花喜久雄は生まれた。この世ならざる美貌は人々を巻き込み、喜久雄の人生を思わぬ域にまで連れ出し…。『朝日新聞』連載に加筆修正して単行本化。

毎日新聞 2018/12/09

2018:9./ 351p
978-4-02-251565-0
本体 ¥1,500+税

陰謀の日本中世史(角川新書 K-196)
呉座 勇一 著
KADOKAWA
本能寺の変に黒幕あり!? 関ケ原は家康の陰謀!? 義経は陰謀の犠牲者!? 史上有名な陰謀をたどりつつ、陰謀論の誤りを最新学説で徹底論破。陰謀論の法則も明らかにする。

毎日新聞 2018/12/09

2018:3./ 343p
978-4-04-082122-1
本体 ¥880+税

新・日本の階級社会(講談社現代新書 2461)
橋本 健二 著
講談社
豊かな人はより豊かに、貧しい人はより貧しく…。日本はすでに「階級社会」になっている! SSM 調査(社会階層と社会移動全国調査)データと 2016 年首都圏調査データを中心に、現代日本の実情を明らかにする。

毎日新聞 2018/12/09

2018:1./ 305p
978-4-06-288461-7
本体 ¥900+税

バカロレア幸福論～フランスの高校生に学ぶ哲学的思考のレッスン～(星海社新書 122)
坂本 尚志 著
星海社
日本人が不幸なのは、哲学をやっていないから。日本より幸福度が高いフランスの高校生は偉大な哲学者から学び、自分で考え、答えを出している。バカロレア(フランスの大学入試問題)をもとに、幸せについて考える方法を学ぶ。

毎日新聞 2018/12/09

2018:2./ 190p
978-4-06-511232-8
本体 ¥920+税

機械カニバリズム～人間なきあとの人類学へ～(講談社選書メチエ 683)
久保 明教 著
講談社
機械は、希望なのか、敵なのか、単なる道具なのか?「他者の視点から自己を捉え、自己を変化させていく営為」=カニバリズムという視点から、テクノロジーvs.人間という対立を超えた、新たな人類学を構想する。

毎日新聞 2018/12/09

2018:9./ 221p
978-4-06-513025-4
本体 ¥1,650+税

世界史の哲学講義～ベルリン 1822/23 年～<上>(講談社学術文庫 2502)
G.W.F.ヘーゲル、伊坂 青司 著
講談社
「精神現象学」「大倫理学」で名声を確立したヘーゲルが、ベルリン大学で行った10 年に及ぶ講義の、初年度講義の筆記録を完全再現。上は、序論「世界史の概念」から本論第 1 部「東洋世界」までを収録する。

毎日新聞 2018/12/09

2018:10./ 455p
978-4-06-513336-1
本体 ¥1,490+税

世界でただ一つの読書(集英社文庫 さ 39-4)
三宮 麻由子 著
集英社
主人公の気持ちを表す騒々しい音であふれた「坊っちゃん」、壮大なミュージカル「アラビアンナイト」…。4 歳で光を失った著者が、豊かな感性で古今東西の名著を読み解く。瑞々しい読書エッセイ。『文学界』連載を文庫化。

毎日新聞 2018/12/09

2018:6./ 288p
978-4-08-745759-9
本体 ¥640+税

単純な生活(P+D BOOKS)
阿部 昭 著
小学館
煩雑な現実に振り回されながらも、“もっと単純に生きられたら”と心ひそかに願う中年の男。心臓を患った彼は、医者にもっと海でも眺めていろと通告される-。2 年半の日々を、静かに、淡々と綴った阿倍昭の自伝的作品。

毎日新聞 2018/12/09

2018:1./ 424p
978-4-09-352327-1
本体 ¥650+税

草薙の剣
橋本 治 著
新潮社
10 代から 60 代まで、世代の異なる 6 人の男たちと彼らの祖父母まで遡るそれぞれの人生を辿り、日本人の心の 100 年を描き、現代のありようを根底から問い返す。作家デビュー40 周年記念長篇小説。『新潮』掲載を単行本化。

毎日新聞 2018/12/09

2018:3./ 347p
978-4-10-406115-0
本体 ¥1,700+税

雪の階
奥泉 光 著
中央公論新社
華族の娘・惟佐子は、親友・寿子の心中事件に疑問を抱き、新米カメラマンの千代子とともに謎を追い始める。ふたりの前にさまざまな人物が現れ…。戦前昭和を舞台に描くミステリーロマン。『中央公論』連載を単行本化。

毎日新聞 2018/12/09

2018:2./ 587p
978-4-12-005046-6
本体 ¥2,400+税

リズムの哲学ノート
山崎 正和 著
中央公論新社
文明一般から自然現象におよぶ森羅万象に遍在するリズム。リズムの構造を根底に据えることによって、古代以来、哲学を苦しめてきた病弊「一元論的二項対立」の克服をめざす。『アステイオン』連載に加筆して書籍化。

毎日新聞 2018/12/09

2018:3./ 262p
978-4-12-005066-4
本体 ¥2,200+税

MARUZEN-YUSHODO

原発事故と「食」～市場・コミュニケーション・差別～(中公新書　2474)
五十嵐　泰正　著
中央公論新社
農水産物の一大供給地であった福島は、3・11　以後、「デマ」や風評によって、苦しい状況に追い込まれている。流通や市場の課題、消費者とのコミュニケーション、差別の問題等から「食」を多面的に論じ、残る課題を考える。

毎日新聞　2018/12/09

2018:2./ 6p,220p
978-4-12-102474-9
本体　¥820+税

政権交代の政治力学～イギリス労働党の軌跡 1994-2010～
今井　貴子　著
東京大学出版会
党勢が低迷していたイギリス労働党は、1994　年に党首に就任したブレアの下で自己改革を遂げて政権を獲得、長期政権を維持し、2010　年に総選挙で敗退した。その過程を検討し、現代における政権交代の意義と教訓を示す。

毎日新聞　2018/12/09

2018:2./ 8p,263p,33p
978-4-13-036267-2
本体　¥5,200+税

佐野洋子の「なに食ってんだ」
佐野　洋子、オフィス・ジロチョー　編
佐野　洋子　著
NHK出版
食べるの大好き、しゃべるのはもっと好き。絵本、エッセイ、小説等、佐野洋子のすべての著作から、口に入れたもの、食べ物、料理にまつわる絵やエピソードを厳選して抜粋。ゆる?い再現レシピも収録する。

毎日新聞　2018/12/09

2018:3./ 239p
978-4-14-081731-5
本体　¥1,800+税

試験に出る哲学～「センター試験」で西洋思想に入門する～(NHK 出版新書　563)
斎藤　哲也　著
NHK出版
「センター試験・倫理」を導きに、哲学をサクッと身につける! ソクラテス、プラトンからニーチェ、ウィトゲンシュタインまで厳選　20　問にチャレンジし、解説とイラストを楽しむうちに西洋思想の基本を学べる一冊。

毎日新聞　2018/12/09

2018:9./ 261p
978-4-14-088563-5
本体　¥860+税

スタア誕生
金井　美恵子　著
文藝春秋
<金魚の娘>はスタアになれるかしら-。モナミ美容室の女たちは噂する。50　年代の映画の記憶を精緻に編みこんだ、切なく甘い長編小説。「噂の娘」の姉妹作。『群像』『文學界』掲載を単行本化。

毎日新聞　2018/12/09

2018:2./ 253p
978-4-16-390800-7
本体　¥1,850+税

六月の雪
乃南　アサ　著
文藝春秋
入院した祖母を元気づけるため、杉山未來は祖母の生地である台湾の古都、台南を訪れる。そこで未來は戦前の日本人の涙と無念を知り、台湾人を襲った悲劇に驚く…。『オール讀物』連載を単行本化。

毎日新聞　2018/12/09

2018:5./ 509p
978-4-16-390840-3
本体　¥1,850+税

姫君たちの明治維新(文春新書　1184)
岩尾　光代　著
文藝春秋
150　年前、城や屋敷の奥深くで蝶よ花よと育てられた姫君たちを襲った時代の大波。引き裂かれた初恋、落城、我が子との別れ…。悲しく、儚く、だけどどこか逞しい31 人の女性の明治維新物語。『サンデー毎日』連載を新書化。

毎日新聞　2018/12/09

2018:9./ 261p,3p
978-4-16-661184-3
本体　¥980+税

ゲッベルスと私～ナチ宣伝相秘書の独白～
ブルンヒルデ・ポムゼル、トーレ・D.ハンゼン、石田　勇治、森内　薫、赤坂　桃子　著
紀伊國屋書店出版部
なにも知らなかった。私に罪はない-。ヒトラーの右腕としてナチ体制を牽引したゲッベルス宣伝相の 103 歳の元秘書が、69 年の沈黙を破り当時を回想する。2018 年 6 月公開の同名ドキュメンタリー映画の書籍版。

毎日新聞　2018/12/09

2018:6./ 268p
978-4-314-01160-0
本体　¥1,900+税

田中角栄の呪い～“角栄”を殺すと、日本が死ぬ～(カッパ・ビジネス)
小室直樹　著
光文社
毎日新聞　2018/12/09

1984:12./ 204p
978-4-334-01144-4
本体　¥796+税

八月の光(光文社古典新訳文庫　KA フ 14-1)
フォークナー　著
光文社
お腹の子の父親を追って旅する女、肌は白いが黒人の血を引いているという労働者…。米国南部の町で、過去に呪われたように生きる人々の生は、一連の壮絶な事件へ収斂していき-。20 世紀アメリカ文学の傑作。

毎日新聞　2018/12/09

2018:5./ 768p
978-4-334-75376-4
本体　¥1,560+税

享楽社会論～現代ラカン派の展開～
松本　卓也　著
人文書院
ジャック・ラカンが提出した「剰余享楽」「資本主義のディスクール」といった概念は、現代社会の現象の把握のためにきわめて有効である。現代ラカン派の理論を紹介し、臨床や政治社会における広範な事象に応用・分析を試みる。

毎日新聞　2018/12/09

2018:3./ 296p
978-4-409-34051-6
本体　¥2,200+税

官房長官と幹事長～政権を支えた仕事師たちの才覚～(青春新書 INTELLIGENCE PI-557)
橋本　五郎　著
青春出版社
トップリーダー1　人の力で政治が動いているのではない。官房長官や幹事長が、時に清濁併せのみながら政治力を発揮していくことで、物事が動いていく。政治の表舞台からは見えてこない、彼らの役割と仕事師ぶりを明らかにする。

毎日新聞　2018/12/09

2018:11./ 185p
978-4-413-04557-5
本体　¥920+税

MARUZEN-YUSHODO

草莽論～その精神史的自己検証～(ちくま学芸文庫　ム 9-1)
村上　一郎　著
筑摩書房
天下危急の時、大義のために立ち上がる壮士、「草莽」は、明治維新を語るうえで外せない。蒲生君平、高山彦九郎といった「草莽の処士」のさきがけから、文化・文政の文人、水戸学、吉田松陰までを系譜的に論じる。

毎日新聞　2018/12/09

2018:2./ 322p
978-4-480-09846-7
本体 ¥1,200+税

ベルリンは晴れているか
深緑　野分　著
筑摩書房
1945 年 7 月、4 カ国統治下のベルリン。米国の兵員食堂で働くドイツ人少女アウグステは、恩人の男の不審な死を知り、彼の甥に訃報を伝えるため旅立つ。しかし、なぜか陽気な泥棒を道連れにする羽目になり…。歴史ミステリ。

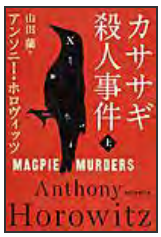
毎日新聞　2018/12/09

2018:9./ 475p
978-4-480-80482-2
本体 ¥1,900+税

法学の誕生～近代日本にとって「法」とは何であったか～
内田　貴　著
筑摩書房
西洋社会に深く根差した思想・文化である法学。全く異質な文化的土壌をもった日本社会は、いかにしてそれまでにない思考様式を受容したのか。近代国家の骨格をつくり上げた明治日本の先人達の苦闘の歴史をあざやかに描き出す。

毎日新聞　2018/12/09

2018:3./ 412p,7p
978-4-480-86726-1
本体 ¥2,900+税



カササギ殺人事件<上>(創元推理文庫　M ホ 15-1)
アンソニー・ホロヴィッツ、山田　蘭　著
東京創元社
1955 年 7 月、パイ屋敷の家政婦が階段の下で亡くなっていた。掃除機のコードに足を引っかけたのか、あるいは…。余命僅かな名探偵アティカス・ピュントの推理は? アガサ・クリスティへの愛に満ちたオマージュ・ミステリ。

毎日新聞　2018/12/09

2018:9./ 360p
978-4-488-26507-6
本体 ¥1,000+税

ドイツ職人紀行
池内　紀　著
東京堂出版
眼鏡師、書店、ビールづくり、タバコ商、かつら師、船乗り、とむらい屋…。ドイツ職人の歴史・由来・変化そして現代の姿を紹介する珠玉のエッセイ集。『NHK ラジオドイツ語講座』連載を書籍化。

毎日新聞　2018/12/09

2018:9./ 271p
978-4-490-20992-1
本体 ¥2,200+税

奥のほそ道
リチャード・フラナガン、渡辺　佐智江　著
白水社
1943 年、<死の鉄路>建設で地獄のような日々を闘っていた、捕虜の軍医ドリゴ。そこへ一通の手紙が届き、すべてが変わってしまう…。第二次世界大戦中の父親の過酷な捕虜経験を題材に描いたリチャード・フラナガンの長篇。

毎日新聞　2018/12/09

2018:5./ 453p
978-4-560-09629-1
本体 ¥3,800+税

第三帝国の歴史<[1]> 第三帝国の到来
リチャード・J.エヴァンズ、大木　毅、山本　孝二　著
白水社
ナチスはいかにして、そして何故に権力を得たのか。第三帝国の歴史について、ビスマルク帝国から、第一次世界大戦、ヴァイマール共和国、ナチが権力の座に就く1933 年までを総合的に物語る。口絵写真・地図多数収録。

毎日新聞 2018/12/09

2018:11./ 341p,60p
978-4-560-09664-2
本体 ¥4,200+税

火環(ひのわ)～八幡炎炎記 完結編～
村田　喜代子　著
平凡社
炎々と天を焦がす製鉄の町・北九州八幡で繰り広げられる少女の物語。中学生のヒナ子は製鉄の街を飛び出し、映画の世界を夢見て密かに上京をもくろむが…。完結編。『こころ』連載を単行本化。

毎日新聞 2018/12/09

2018:5./ 310p
978-4-582-83773-5
本体 ¥1,700+税

ノー・ディレクション・ホーム～ボブ・ディランの日々と音楽～
ロバート・シェルトン、パトリック・ハンフリーズ　編
ロバート・シェルトン、樋口　武志、田元　明日菜、川野　太郎　著
ポプラ社
ボブ・ディランが積極的に協力した決定的自伝。20 年に及ぶインタビューのほか、他のジャーナリストがインタビューを許されなかった両親、家族らへの取材を元に、気分屋で情熱的な天才とその世界を解き明かす。

毎日新聞 2018/12/09

2018:6./ 839p,52p
978-4-591-15839-5
本体 ¥7,800+税

面従腹背
前川　喜平　著
毎日新聞出版
前文部科学事務次官・前川喜平が、安倍政権下で起きた加計学園問題をはじめ「権力私物化」の構造を糾弾し、「道徳の教科化」や「教育勅語」の復活など、安倍政権が進める教育政策に警鐘を鳴らす。

毎日新聞 2018/12/09

2018:6./ 235p
978-4-620-32514-9
本体 ¥1,300+税

死を生きた人びと～訪問診療医と 355 人の患者～
小堀　?一郎　著
みすず書房
最後の日々をどう生き、いかに終えるか-。これまでに 355 人の看取りに関わった訪問診療医が語る、患者たちのさまざまな死の記録。日本の終末医療が在宅診療・在宅看取りへと舵を切りつつある今、必読の書。

毎日新聞 2018/12/09

2018:5./ 203p
978-4-622-08690-1
本体 ¥2,400+税

エコラリアス～言語の忘却について～
ダニエル・ヘラー=ローゼン、関口　涼子　著
みすず書房
言語の崩壊過程に言語の本質をみたヤコブソン、失語症を考察したフロイト、母語についてはじめて語ったダンテなどを導きに、忘却こそが言語が本来持つ運動性であることを論じた、言語哲学の重要書。

毎日新聞 2018/12/09

2018:6./ 275p,50p
978-4-622-08709-0
本体 ¥4,600+税

越境の国際政治～国境を越える人々と国家間関係～
田所　昌幸　著
有斐閣
戦争や迫害によって移動を強いられる人々、観光や留学、商業目的で移動する人々。人の移動は国家と国際政治にどのような影響を与えるのか。近代から現代に至るまでの世界各地のさまざまな事例を参照しながら多角的に分析する。

毎日新聞　2018/12/09

2018:11./ 4p,321p
978-4-641-14924-3
本体 ¥5,500+税

抽象の力～近代芸術の解析～
岡崎　乾二郎　著
亜紀書房
近代芸術はいかに展開したか。20 世紀美術を動かした、真の芸術家たちは誰か。戦後美術史の不分明を晴らし、その力を発揮するはずの抽象芸術の可能性を明らかにする。雑誌掲載記事などに書き下ろしを加えて書籍化。

毎日新聞　2018/12/09

2018:11./ 417p,20p
978-4-7505-1553-3
本体 ¥3,800+税

WORK DESIGN～行動経済学でジェンダー格差を克服する～
イリス・ボネット、池村　千秋　著
NTT出版
「慣行とプロセスを変える」「能力を築く」「リスクのある環境のバイアスを緩和する」…。ハーバードの女性行動経済学者が、男女平等を実現するためのステップを、科学的な知見に基づいて解説する。

毎日新聞　2018/12/09

2018:7./ 435p
978-4-7571-2359-5
本体 ¥2,700+税

100 年後の世界～SF 映画から考えるテクノロジーと社会の未来～(DOJIN 選書 76)
鈴木　貴之　著
化学同人
気鋭の哲学者が、生殖医療、遺伝子操作、サイボーグ、不老長寿、人工知能、仮想現実などを取り上げ、それぞれのテクノロジーの現状を整理。SF 映画も参照しながら、テクノロジーと社会の関係を予測する。「問い」も収録。

毎日新聞　2018/12/09

2018:5./ 246p
978-4-7598-1676-1
本体 ¥2,000+税

つい昨日のこと～私のギリシア～
高橋　睦郎　著
思潮社
ギリシア人は存在したが ギリシアという国はなかった ギリシア人が行き 住みつく先がギリシアだった(「ギリシアとは」より) 古代ギリシアとの出会いから始まった著者の詩作生活の総決算となる詩集。

毎日新聞　2018/12/09

2018:7./ 183p
978-4-7837-3604-2
本体 ¥3,600+税

進歩～人類の未来が明るい 10 の理由～
ヨハン・ノルベリ、山形　浩生　著
晶文社
ニュースやメディアが書き立てるネガティブな終末世界は本当か? 反グローバリズム運動への批判を展開してきたスウェーデンの歴史家が、明快なデータとエピソードで、明るい未来への指針を示す。

毎日新聞　2018/12/09

2018:4./ 342p
978-4-7949-6997-2
本体 ¥1,850+税

日本人のための憲法原論
小室　直樹　著
集英社インターナショナル
日本国憲法はすでに死んでいる!憲法が拠って立つ民主主義の正体を歴史的・学問的に明らかにし、現在の日本がどうして閉塞状況に至ったかを解明。聖書学、政治思想史、経済学、社会学などあらゆる学問を総動員した憲法講義。

毎日新聞 2018/12/09

2006:3./ 492p
978-4-7976-7145-2
本体 ¥1,800+税

米中戦略関係
梅本　哲也　著
千倉書房
中国の力が米国に迫り、これを凌いだ場合、国際秩序にいかなる変化がもたらされるのか。米中間における対外戦略の相関を探究し、戦略関係の安定について考察する。

毎日新聞 2018/12/09

2018:4./ 338p
978-4-8051-1131-4
本体 ¥3,500+税

ドル防衛と日米関係～高度成長期日本の経済外交 1959?1969 年～(叢書 21 世紀の国際環境と日本 007)
高橋　和宏　著
千倉書房
高度成長メカニズムの重要な要因であった国際収支問題を軸として、経済大国化する日本と国際秩序の維持に苦慮する米国との関係が相互補完的な構図へと変容していくプロセスを解明する。

毎日新聞 2018/12/09

2018:7./ 298p
978-4-8051-1141-3
本体 ¥3,800+税

イエズス会士と普遍の帝国～在華宣教師による文明の翻訳～
新居　洋子　著
名古屋大学出版会
カトリック拡大のため東方に渡った宣教師らが、巨大な清朝に見出したものは何か。18 世紀後半に焦点をあて、在華イエズス会士が中国で展開した翻訳活動を、イエズス会士アミオの報告を中心に分析する。

毎日新聞 2018/12/09

2017:10./ 6p,373p,32p
978-4-8158-0889-1
本体 ¥6,800+税

新約聖書～本文の訳～
田川　建三　著
作品社
人類古代の貴重な文化遺産である「聖書」を、余計な粉飾なしに、ありのままの姿で伝える、画期的な日本語訳新約聖書。文中に小さい活字で註を挿入し、旧約の引用の出典も指摘する。携帯版も同時刊行。

毎日新聞 2018/12/09

2018:7./ 493p
978-4-86182-708-2
本体 ¥4,000+税

線量計と奥の細道
ドリアン助川　著
幻戯書房
松尾芭蕉「奥の細道」の全行程約 2000 キロを旅しながら、「生きる」ということを考えた日々-。「3.11」後の日本がどうなっているのか、目と耳と足で確かめた路上の記録。写真、地図も収録。

毎日新聞 2018/12/09

2018:6./ 333p
978-4-86488-151-7
本体 ¥2,200+税

野の春(流転の海 第 9 部)
宮本 輝 著
新潮社
昭和 42 年、熊吾の息子・伸仁は 20 歳の誕生日を迎える。「この子が 20 歳になるまで死なん」と誓った熊吾の、大願成就の日を家族で祝うが…。戦後の時代相を背景に父と子を描く「流転の海」完結。『新潮』連載を単行本化。

毎日新聞 2018/12/09、読売新聞 2018/12/16

2018:10./ 405p
978-4-10-332519-2
本体 ¥2,100+税

水の匂いがするようだ～井伏鱒二のほうへ～
野崎 歓 著
集英社
太宰治が「勉強しだいでは、谷崎潤一郎にはなれるけれども、井伏鱒二にはなれない」と評した作家の魅力とは。「井伏文学の面白さここにあり」というポイントを、心愉しくめぐる一冊。『すばる』掲載を単行本化。

毎日新聞 2018/12/09、読売新聞 2018/12/23

2018:8./ 283p
978-4-08-771149-3
本体 ¥2,200+税

地球星人
村田 沙耶香 著
新潮社
地球星人なんて、ポハピピンポボピア星人が作り上げた幻想なんじゃないかな-。なにがあってもいきのびること。恋人と誓った魔法少女は、世界=人間工場と対峙する!『新潮』掲載を単行本化。

毎日新聞 2018/12/09、読売新聞 2018/12/23

2018:8./ 246p
978-4-10-310073-7
本体 ¥1,600+税

庭
小山田 浩子 著
新潮社
ままならない日々を生きる人間のすぐそばで、虫や草花や動物たちが織り成す、息をのむような不可思議な世界。風景が静かに決定的に姿を変える瞬間を克明に描き出す、15 の物語を収録する。

毎日新聞 2018/12/09、読売新聞 2018/12/23

2018:3./ 235p
978-4-10-333643-3
本体 ¥1,700+税

最初の悪い男(CREST BOOKS)
ミランダ・ジュライ 著
新潮社
43 歳独身シェリルの孤独な箱庭的小宇宙に、美人で巨乳で足の臭い 20 歳のクリーが転がり込んできた。水と油のふたりの共同生活が臨界点をむかえたとき、幾重にも絡み合った人々が奇跡を紡ぎだし…。

毎日新聞 2018/12/09、読売新聞 2018/12/23

2018:8./ 346p
978-4-10-590150-9
本体 ¥2,200+税

彼女は頭が悪いから
姫野 カオルコ 著
文藝春秋
女子大に進学した美咲と、東京大学理科I類に進学したつばさ。ふたりは恋に落ちたはずだった。渦巻く人々の妬み、劣等感、格差意識。そして起こった集団わいせつ事件。しかし、世間に叩かれたのは被害者の美咲のほうだった…。

毎日新聞 2018/12/09、読売新聞 2018/12/23

2018:7./ 473p
978-4-16-390872-4
本体 ¥1,750+税

ならず者たちのギャラリー～誰が「名画」をつくりだしたのか?～
フィリップ・フック、中山　ゆかり　著
フィルムアート社
レンブラントを雇い、才能を開花させた男、セザンヌの市場価値をつくった男、ピカソらキュビストを発見し、応援した男…。サザビーズの競売人が、美術史と美術品の価値に影響を与えた魅力的な画商たちを紹介する。

毎日新聞　2018/12/09、読売新聞　2018/12/23

2018:8./ 498p,12p
978-4-8459-1715-0
本体 ¥3,000+税

日本史で学ぶ経済学
横山　和輝　著
東洋経済新報社
ビットコインと鎌倉時代の宋銭の共通点は? プラットフォーム戦略の原型は信長が作った? 社員のモチベーションアップは享保の改革が手本に? 歴史を読み解きながら経済学の知識を身につける書。

毎日新聞　2018/12/09、日本経済新聞　2018/12/22

2018:9./ 303p
978-4-492-44447-4
本体 ¥1,600+税

悪魔の神話学
高橋　義人　著
岩波書店
欧米人の生活のなかに深く根を下ろす「悪魔」は、ヨーロッパ史を大きく左右し、今でも国際政治に大きな影響を与えている。ヨーロッパの歴史を、悪魔という虚構の観念に操られた悲劇的歴史と捉え、ヨーロッパ精神史の闇に迫る。

毎日新聞　2018/12/09、毎日新聞　2018/12/16

2018:6./ 16p,272p
978-4-00-061256-2
本体 ¥5,300+税

ホモ・デウス～テクノロジーとサピエンスの未来～<上>
ユヴァル・ノア・ハラリ、柴田　裕之　著
河出書房新社
人類は不死と幸福、神性を目指し、神のヒト「ホモ・デウス」へと自らをアップグレードする。そのとき、富む者と貧しい者との格差は、創造を絶するものとなる-。人類の未来を、かつてないスケールで描く。

毎日新聞　2018/12/09、毎日新聞　2018/12/16

2018:9./ 265p
978-4-309-22736-8
本体 ¥1,900+税

孤独の発明～または言語の政治学～
三浦　雅士　著
講談社
なぜ人間だけが言葉を話すようになったのか?現地語・国語・普遍語、土着と外来、感動の構造…。人間のあらゆる認識、思考、行為の根幹をなす、言語という現象の本質に迫る。『群像』連載に書き下ろしを加えて書籍化。

毎日新聞　2018/12/09、毎日新聞　2018/12/16、読売新聞　2018/12/23

2018:6./ 550p
978-4-06-220880-2
本体 ¥3,500+税

加藤周一はいかにして「加藤周一」となったか～『羊の歌』を読みなおす～
鷲巣　力　著
岩波書店
秩序に対する美意識、父母との関係、孤独、戦争体験…。戦後日本を代表する知識人・加藤周一の半生記「羊の歌」を、厖大なノートや著作、近親者などからの証言をもとに、精確に読みなおす。

毎日新聞　2018/12/16

2018:10./ 18p,507p
978-4-00-061294-4
本体 ¥3,500+税

詩の誕生(岩波文庫　31-215-1)
大岡　信、谷川　俊太郎　著
岩波書店
詩とは何か、詩が生まれ死ぬとはどういうことか-。詩にかかわる万古不易のトピックをめぐって現代詩の巨人が果敢に切りこむ、勁い緊迫感に満ちた白熱の対話による詩論。

毎日新聞　2018/12/16

2018:6./ 219p
978-4-00-312151-1
本体　¥600+税

原民喜～死と愛と孤独の肖像～(岩波新書　新赤版　1727)
梯　久美子　著
岩波書店
「夏の花」で知られる作家・詩人、原民喜。死の想念にとらわれた幼少期から、妻の愛情に包まれて暮らした青年期、その死まで-。生き難さを抱え、傷ついてもなお純粋さをつらぬいた稀有な生涯を描く。略年譜も収録。

毎日新聞　2018/12/16

2018:7./ 3p,275p
978-4-00-431727-2
本体　¥860+税

悪玉伝
朝井　まかて　著
KADOKAWA
大阪の炭問屋の跡継ぎ問題。噂は江戸にまで届き、将軍・徳川吉宗や寺社奉行・大岡越前守忠相の耳に入る一大事に。謂れなき罪に問われた吉兵衛は、己の信念を貫くため、大勝負に挑む。『小説野性時代』連載を加筆し単行本化。

毎日新聞　2018/12/16

2018:7./ 325p
978-4-04-106919-6
本体　¥1,600+税

地球にちりばめられて
多和田　葉子　著
講談社
留学中に故郷の島国が消滅してしまった女性　Hiruko　は、ヨーロッパ大陸で生き抜くため、独自の言語をつくり出す。彼女は言語学を研究する青年とともに、自分と同じ母語を話す者を捜す旅に出て…。『群像』連載を単行本化。

毎日新聞　2018/12/16

2018:4./ 309p
978-4-06-221022-5
本体　¥1,700+税

超越と実存～「無常」をめぐる仏教史～
南　直哉　著
新潮社
死とは何か。私が私である根拠は何か。全身全霊の問いから始まった仏教探求の旅。ブッダから道元まで、その思想的変遷を「恐山の禅僧」が読み解く、仏教史の哲学。

毎日新聞　2018/12/16

2018:1./ 250p
978-4-10-302132-2
本体　¥1,800+税

?
星野　智幸　著
新潮社
炎天下の公園で、涙が止まらない人で溢れかえる世界で、人間が貨幣となり自らを売買する社会で。自分ではない何かになりたいと切望する人々が、自らの物語を語り始め…。連環する 9 つの物語。『新潮』他掲載に加筆し単行本化。

毎日新聞　2018/12/16

2018:1./ 265p
978-4-10-437204-1
本体　¥1,600+税

MARUZEN-YUSHODO

モノに心はあるのか～動物行動学から考える「世界の仕組み」～(新潮選書)
森山　徹 著
新潮社
石にも心はある!「心」は、ヒト以外の生物はもちろん、無生物にさえもあると説くダンゴムシ研究者が、私たちが「何かをしたいと思う気持ち」にも、話す言葉にも「隠れた存在」はあるのだという新たな世界の見方を提示する。

毎日新聞 2018/12/16

2017:12./ 217p
978-4-10-603821-1
本体 ¥1,200+税

脳は回復する～高次脳機能障害からの脱出～(新潮新書　754)
鈴木　大介 著
新潮社
41 歳で脳梗塞になった後、僕は僕じゃなくなった!? 小銭が数えられない、電話できない、会話できないの「できないこと」だらけに加えて、号泣の日々。「脳が壊れた」から 2 年、リハビリ後の困難とその克服を当事者が描く。

毎日新聞 2018/12/16

2018:2./ 270p
978-4-10-610754-2
本体 ¥820+税

リンカーンとさまよえる霊魂たち
ジョージ・ソーンダーズ、上岡　伸雄 著
河出書房新社
戦時の大統領リンカーンは、急逝した愛息ウィリーの記憶にひたるため夜の墓地を訪れる。そこには自らの死を受け入れられず、彼岸と此岸の間をさまよう霊魂たちがいた…。短編小説の名手ジョージ・ソーンダーズの第 1 長編。

毎日新聞 2018/12/16

2018:7./ 445p
978-4-309-20743-8
本体 ¥3,400+税

危機の領域～非ゼロリスク社会における責任と納得～(けいそうブックス)
齊藤　誠 著
勁草書房
<危機の領域>への旅に誘う書。将来の危機の可能性、現在進行形の危機への対応、すでに起きた危機からの教訓について、私たちの社会がどう向き合ってきたのか、またどう向き合うべきなのかを考える。

毎日新聞 2018/12/16

2018:4./ 21p,429p,21p
978-4-326-55081-4
本体 ¥2,600+税

AI vs.教科書が読めない子どもたち
新井　紀子 著
東洋経済新報社
気鋭の数学者が AI の誤解や限界を示す一方で、大規模な調査の結果わかった日本人の読解力の低下を指摘。AI 化が進んだ未来の行き着く先の最悪のシナリオと教育への提言を導き出す。

毎日新聞 2018/12/16

2018:2./ 287p
978-4-492-76239-4
本体 ¥1,500+税

ビザンツ帝国生存戦略の一千年
ジョナサン・ハリス、井上　浩一 著
白水社
なぜビザンツ帝国は、さまざまな変動や侵入に脅かされつつも、あれほど長く存続したのか。なぜ最後にはみごとに跡形もなく消えてしまったのか。おもな皇帝と印象的なエピソードを軸に、対外関係からビザンツ史を語る。

毎日新聞 2018/12/16

2018:1./ 355p,22p 図版 16p
978-4-560-09590-4
本体 ¥4,200+税

世紀の小説『レ・ミゼラブル』の誕生
デイヴィッド・ベロス、立石　光子　著
白水社
南北戦争の兵士も共産圏の人々も愛読した小説「レ・ミゼラブル」。文学史に輝く永遠のベストセラーを、作者ユゴーの生涯や信条とからめ、19 世紀のフランス社会を浮き彫りにしながら、多面的に読み解く。

毎日新聞 2018/12/16

2018:7./ 334p,29p
978-4-560-09645-1
本体 ¥3,800+税

U&I〜A True Story〜
ニコルソン・ベイカー、有好　宏文　著
白水社
憧れの大作家への尊敬、嫉妬、畏怖、不安…。「読まず語り」「記憶批評」など、自ら編み出した技法を駆使しつつ、ジョン・アップダイクへの矛盾に満ちた感情を研究し、緻密なまでに描写する。

毎日新聞 2018/12/16

2018:9./ 220p
978-4-560-09649-9
本体 ¥2,400+税

風の演劇〜評伝別役実〜
内田　洋一　著
白水社
「日本のベケット」と称賛され、新たな現代劇を構築した劇作家・別役実。その半生を、ロングインタビューを交え、膨大な取材から描く。戯曲総覧、略年譜も収録。

毎日新聞 2018/12/16

2018:8./ 357p
978-4-560-09650-5
本体 ¥4,200+税

名もなき王国
倉数　茂　著
ポプラ社
売れない小説家が出会った聡明な青年・澤田瞬。彼の伯母が、敬愛する幻想小説家・沢渡晶だと知った私は、古い屋敷を巡る不可思議な物語に魅了されていく…。『SF Prologue Wave』掲載等に書き下ろしを追加。

毎日新聞 2018/12/16

2018:8./ 477p
978-4-591-15930-9
本体 ¥1,800+税

名句の所以〜近現代俳句をじっくり読む〜(澤俳句叢書　第 24 篇)
小澤　實　著
毎日新聞出版
井月・子規から今日活躍する俳人まで、近現代の 300 句を季節ごとに分け、口語訳を付して解説。その多様な響き、季語・切字の生かされ方を徹底解剖した、実作にも役立つ俳句鑑賞読本。『俳句 α あるふぁ』連載を加筆訂正。

毎日新聞 2018/12/16

2018:9./ 332p
978-4-620-32525-5
本体 ¥2,200+税

ピダハン〜「言語本能」を超える文化と世界観〜
ダニエル・L.エヴェレット、屋代　通子　著
みすず書房
ブラジルの先住民「ピダハン」には、数も、右と左の概念も、色名も、神もない。30 年にわたり何度も彼らの村を訪ねてきた著者が、あらゆる西欧的な普遍幻想を揺さぶるピダハンの言語とユニークな認知世界を描く。

毎日新聞 2018/12/16

2012:3./ 390p,8p
978-4-622-07653-7
本体 ¥3,400+税

MARUZEN-YUSHODO

ガザに地下鉄が走る日
岡　真理 著
みすず書房
現代の強制収容所と言われるパレスチナ・ガザ地区。移動の自由はなく、物資は制限され、ミサイルが日常的に撃ち込まれる。長年パレスチナと関わり続ける著者が、絶望的な状況でなお人間的に生きる人びととの出会いを伝える。

毎日新聞 2018/12/16

2018:11./ 305p
978-4-622-08747-2
本体 ¥3,200+税

評伝小室直樹<上> 学問と酒と猫を愛した過激な天才
村上　篤直 著
ミネルヴァ書房
稀代の社会科学者・小室直樹の学問と人生の軌跡を辿る評伝。上は、柳津国民学校、会津中学・高校、京都大学時代から、米国留学、東京大学大学院法学政治学研究科での研究生活、伝説の「小室ゼミ」、出生の謎までを描く。

毎日新聞 2018/12/16

2018:9./ 9p,679p,70p
978-4-623-08384-8
本体 ¥2,400+税

常世の花 石牟礼道子
若松　英輔 著
亜紀書房
人間を超え、生類へと広がる世界を見つめ続けた石牟礼道子。数々の名著を遺して世を去った作家が、生涯を賭して闘ったものとは何だったのか。親しく交流した批評家が、その精髄に迫る。石牟礼道子との対談も収録。

毎日新聞 2018/12/16

2018:4./ 175p
978-4-7505-1546-5
本体 ¥1,500+税

どれがほんと?～万太郎俳句の虚と実～
高柳　克弘 著
慶應義塾大学出版会
虚と実のはざまにたゆたう普遍的な詩情を、卓越した言葉の芸で生み出し続けた久保田万太郎。だれもが感受するその特質と危うい魅力を、俳句の本質に迫りつつ論じた、若手俳人の画期的評論。

毎日新聞 2018/12/16

2018:4./ 181p
978-4-7664-2513-0
本体 ¥1,600+税

神戸闇市からの復興～占領下にせめぎあう都市空間～
村上　しほり 著
慶應義塾大学出版会
「日本一の大闇市場」とも称された神戸三宮の闇市。戦災復興の原点となった闇市の発生から衰退までの軌跡を辿り、そこから新たな商業空間が根付き、また展開していく過程を、多角的な調査と資料で生き生きと描き出す。

毎日新聞 2018/12/16

2018:11./ 347p,32p
978-4-7664-2566-6
本体 ¥4,200+税

注解するもの、翻訳するもの
岡井　隆、関口　涼子 著
思潮社
『現代詩手帖』に連載された「注解者」と「翻訳者」の対話。岡井隆と関口涼子による往復詩簡を収録する。詩の在り処を問う、新たな共同制作の試み。

毎日新聞 2018/12/16

2018:10./ 157p
978-4-7837-3621-9
本体 ¥3,200+税

MARUZEN-YUSHODO

目の眩んだ者たちの国家

キム　エラン、キム　ヘンスク、キム　ヨンス、パク　ミンギュ、チン　ウニョン、ファン　ジョンウン、ペ　ミョンフン、ファン　ジョンヨン、キム　ホンジュン、チョン　ギュチャン、キム　ソヨン、ホン　チョルギ、矢島　暁子　著

新泉社

国家とは、人間とは、人間の言葉とは何か-。現代の韓国を代表する小説家、詩人、学者ら 12 人が、セウォル号の惨事で露わになった「社会の傾き」を前に、内省的に思索を重ね、静かに言葉を紡ぎ出す。

毎日新聞 2018/12/16

2018:5./ 253p
978-4-7877-1809-9
本体 ¥1,900+税

ケルトの想像力～歴史・神話・芸術～<<ケルト:生と死をつなぐ螺旋:終末からの始まりより改題>>

鶴岡　真弓　著

青土社

ヨーロッパの古層文化を築いたケルトの強力な想像力。いにしえから現代までのヨーロッパを「ケルト」をとおして読み直し、これまで陰に隠れていた西洋文明の大元にもあった自然信仰や素朴な生命再生への祈りの様式を見いだす。

毎日新聞 2018/12/16

2018:2./ 548p,14p
978-4-7917-7029-8
本体 ¥3,600+税

その後の震災後文学論

木村　朗子　著

青土社

私たちは何を記憶し、忘れてしまったのか? 不安、崇高、憑在論(ホントロジー)で読み解く、未来への文学論。震災後の文学をどのように読むか、震災後文学が問題にしていることは何なのかをさまざまな角度から見極める。

毎日新聞 2018/12/16

2018:1./ 254p,4p
978-4-7917-7044-1
本体 ¥2,000+税

アイヌ人物誌～松浦武四郎原著『近世蝦夷人物誌』～ 新版

松浦　武四郎、更科　源蔵、吉田　豊　著

青土社

当時流人の島として世間から疎外されていた蝦夷島に踏み入った松浦武四郎が、アイヌ民族の姿をありのままに伝えた「近世蝦夷人物誌」。その現代語訳のほか、解題、解説を収録する。

毎日新聞 2018/12/16

2018:9./ 365p
978-4-7917-7096-0
本体 ¥1,800+税

狼の群れと暮らした男

ショーン・エリス、ペニー・ジューノ、小牟田　康彦　著

築地書館

ロッキー山脈の森の中に野生狼の群れとの接触を求め、決死的な探検に出かけた著者。飢餓・恐怖・孤独感を乗り越え、ついには現代人としてはじめて野生狼の群れに受け入れられ、共棲を成し遂げた体験を綴る。

毎日新聞 2018/12/16

2012:9./ 14p,318p
978-4-8067-1447-7
本体 ¥2,400+税

MARUZEN-YUSHODO

胃袋の近代～食と人びとの日常史～
湯澤　規子　著
名古屋大学出版会
一膳飯屋、残飯屋、共同炊事など、都市の雑踏や工場の喧騒のなかで始まった外食の営みを活写。「人びと」と「食」をめぐる問題を中軸に据え、「胃袋」を通して<日本の近代>という時代を明らかにする。

毎日新聞 2018/12/16

2018:6./ 5p,325p,18p
978-4-8158-0916-4
本体 ¥3,600+税

正法眼蔵第三 佛性～成仏以来に具足する法なり～
松岡　由香子　著
七つ森書館
道元自らの言葉と用例に拠った画期的解釈。注釈、現代語訳、諸釈、私釈から、伝統的解釈と現代の諸解釈を詳細に吟味し、仏性(本覚)批判の伝統を明らかにした道元の「佛性」の真意を読み解く。

毎日新聞 2018/12/16

2018:6./ 493p
978-4-8228-1895-1
本体 ¥3,000+税

やまのかいしゃ(日本傑作絵本シリーズ)
スズキ　コージ　著
福音館書店
今日も朝寝坊した会社員のほげたさん。電車に飛び乗りますが、電車は会社とは反対方向へ。気づけば、足にはトイレのスリッパをはき、眼鏡やかばんも持っていません。やがて、山の駅に到着したほげたさんは…。

毎日新聞 2018/12/16

2018:5./ 40p
978-4-8340-8400-9
本体 ¥1,500+税

日本人の自然観
鈴木　貞美　著
作品社
日本人はいつから自然を愛したのか。記紀・万葉・風土記の世界から、中・近世を経て現代まで、時代の文化とともに変動する意識と精神の変遷を文献を駆使して綜合的に解明する。科学史と人文史による画期的大成。

毎日新聞 2018/12/16

2018:10./ 7p,786p
978-4-86182-722-8
本体 ¥5,800+税

ロミイの代辯～寺山修司単行本未収録作品集～
寺山　修司、堀江　秀史　編
寺山　修司　著
幻戯書房
夜会、レースの手袋、スタンダールの恋愛論、バァィオレットフィズ、シュトラウス、みんなくたばれ-。寺山修司が生前に発表した散文・詩歌等の、単行本未収録のものを中心にまとめた作品集。写真も掲載。

毎日新聞 2018/12/16

2018:4./ 445p
978-4-86488-146-3
本体 ¥3,800+税

カヴァフィス全詩
カヴァフィス、池澤　夏樹　著
書肆山田
アレクサンドリアのギリシア語詩人、カヴァフィス。歴史のアイロニーとひとりの孤独な人間のありよう、そして同性愛者の官能と悲傷…。生前、カヴァフィスが公刊を認めた全作品を、池澤夏樹が長い時間をかけて訳出した詩集。

毎日新聞 2018/12/16

2018:9./ 330p
978-4-87995-975-1
本体 ¥3,500+税

てんてこまい～文学は日暮れて道遠し～(五柳叢書 105)
マイケル・エメリック 著
五柳書院
翻訳論、文学論、「源氏物語」考をはじめ、エッセイや時評、書評など、2006 年 10 月以降、著者が日本語で著してきた文章、日本語で行ってきた対談のほとんどを収めた著述集。

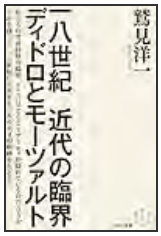
毎日新聞 2018/12/16

2018:7./ 382p
978-4-901646-31-4
本体 ¥3,000+税

曇天記
堀江 敏幸 著
都市出版
黒い旗をそのまま半旗にしてしまうような世の流れに与するわけにはいかない。ならば曇天の思索を可能な限りつづけよう-。作家・堀江敏幸のエッセイ。『東京人』連載を書籍化。

毎日新聞 2018/12/16

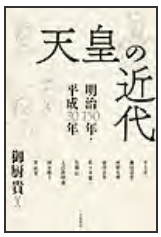
2018:3./ 246p
978-4-901783-65-1
本体 ¥2,200+税



一八世紀近代の臨界～ディドロとモーツァルト～
鷲見 洋一 著
ぷねうま舎
著者が、半世紀をかけた「共時性の研究」、「いま・ここの探求」を、そして、音楽と倫理の先端で触れる「世界図絵」のヴィジョンを集成。モーツァルトとディドロ、一八世紀に交叉する二人の天才の軌跡をたどる。

毎日新聞 2018/12/16

2018:7./ 392p
978-4-906791-94-1
本体 ¥4,300+税



天皇の近代～明治 150 年・平成 30 年～
御厨 貴、井上 章一 著
千倉書房
天皇が自らその位を去りゆく平成。この国と天皇と国民の距離を探る-。「天皇の近代」をテーマにした論考を集成。「建築の王政復古」「近代日本における天皇のコトバ」「象徴天皇の起源」などを収録。

毎日新聞 2018/12/16、朝日新聞 2018/12/22

2018:9./ 6p,348p
978-4-8051-1159-8
本体 ¥3,200+税

エドゥアール・マネ～西洋絵画史の革命～(角川選書 607)
三浦 篤 著
KADOKAWA
模倣と借用によって創造し、古典と前衛の対立を超えてしまう過激な画家は、芸術のルールをいかにして変えたのか。エドゥアール・マネの謎めいた絵画作品の魅力と、21 世紀へと続くその影響力に迫る。

毎日新聞 2018/12/16、朝日新聞 2018/12/22、日本経済新聞 2018/12/22、毎日新聞 2018/12/23

2018:10./ 299p,20p
978-4-04-703581-2
本体 ¥2,000+税

合成生物学の衝撃
須田 桃子 著
文藝春秋
コンピュータ上で DNA を設計した人工生命体が誕生。カズオ・イシグロの代表的小説「わたしを離さないで」の世界が現実になる科学に人間の感情はついていけるか? 合成生物学の取材・研究に基づく科学ノンフィクション。

毎日新聞 2018/12/16、読売新聞 2018/12/23

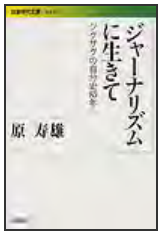
2018:4./ 233p
978-4-16-390824-3
本体 ¥1,500+税

MARUZEN-YUSHODO

探偵小説の黄金時代～現代探偵小説を生んだ作家たちの秘密～
マーティン・エドワーズ、森　英俊、白須　清美　著
国書刊行会
クリスティー、セイヤーズらが集い、1930 年に発足した英国探偵作家の親睦団体<ディテクション・クラブ>。伝説的な入会儀式、名作誕生の内幕、知られざる私生活など、クラブ草創期の歴史と作家群像を生き生きと描く。

毎日新聞 2018/12/16、日本経済新聞 2018/12/22

2018:10./ 425p,7p,25p
978-4-336-06300-7
本体 ¥4,600+税



ジャーナリズムに生きて～ジグザグの自分史 85 年～(岩波現代文庫)
原　寿雄　著
岩波書店
小作農の軍国少年として育ち、海軍経理学校を経て戦後、通信社の報道現場、編集中枢、経営幹部へ。ジャーナリズムの世界で模索と格闘を重ね、今もなおその病理を追及し続ける著者が、メディアの課題を問いかける。

毎日新聞 2018/12/23

2011:2./ 10p,243p
978-4-00-603212-8
本体 ¥920+税

東京裁判への道(講談社学術文庫　2179)
栗屋　憲太郎　著
講談社
「A 級戦犯」28 人はいかにして選ばれたのか。天皇不訴追の決定プロセスの真実とは。アメリカに残されていた膨大な尋問調書を丹念に読み解き、東京裁判をめぐる語られざる歴史の実相と当事者達の人間ドラマを描き出す。

毎日新聞 2018/12/23

2013:7./ 529p
978-4-06-292179-4
本体 ¥1,500+税

鶴見俊輔伝
黒川　創　著
新潮社
戦後日本を代表する思想家・鶴見俊輔。幼少期から半世紀にわたり鶴見の間近で過ごした著者が、全著作と関連文献を繙き、稀代の哲学者を育んだ家と時代、「ベ平連」の活動から老年の態度まで、93 年の歩みと思想を跡づける。

毎日新聞 2018/12/23

2018:11./ 545p,21p
978-4-10-444409-0
本体 ¥2,900+税

牧水の恋
俵　万智　著
文藝春秋
旅と酒の歌人・若山牧水は、恋の歌人でもあった。若き日をささげた恋人の持つ秘密とは。高校時代に牧水の短歌に出会って心から共感した著者が、牧水の恋の絶頂から疑惑、別れまでの秀歌を味わいつくす評伝文学。

毎日新聞 2018/12/23

2018:8./ 290p
978-4-16-390888-5
本体 ¥1,700+税

AI が変えるお金の未来(文春新書　1193)
坂井　隆之、宮川　裕章、毎日新聞フィンテック取材班　著
文藝春秋
AI に代表される急速なデジタル技術の進歩により、銀行、保険会社などはビジネスモデルの変革を余儀なくされ、お金そのものも変わりつつある。歴史の転換点にある「お金」の今を取材し、その未来を探る。

毎日新聞 2018/12/23

2018:11./ 254p
978-4-16-661193-5
本体 ¥800+税

MARUZEN-YUSHODO

知っていますか?SDGs～ユニセフとめざす 2030 年のゴール～
日本ユニセフ協会 著
さ・え・ら書房
世界の未来を変える 17 の目標“SDGs”の入門書。ユニセフの活動をもとにして、SDGs のテーマごとに、世界中の子どもたちに起こっていること、課題や人びとの取り組みなどを、豊富な写真とともに紹介する。

毎日新聞 2018/12/23

2018:9./ 95p
978-4-378-02480-6
本体 ¥2,500+税

わたしの信仰～キリスト者として行動する～
アンゲラ・メルケル、フォルカー・レージング 編
アンゲラ・メルケル、松永 美穂 著
新教出版社
東独で牧師の娘として成育、統一後は少壮政治家として頭角を現したドイツ首相アンゲラ・メルケル。彼女が教会関係の集会などで語った講演やインタビューなど 16 編を収録。信仰観・社会観・人生観を余すところなく伝える。

毎日新聞 2018/12/23

2018:10./ 249p
978-4-400-40745-4
本体 ¥2,300+税

東京裁判～勝者の裁き～
リチャード・H.マイニア 著
福村出版
毎日新聞 2018/12/23

1998:8./ 218p
978-4-571-31003-4
本体 ¥2,000+税

中国奇想小説集～古今異界万華鏡～
井波 律子 著
平凡社
「捜神記」「唐代伝奇」「聊斎志異」「子不語」など、六朝時代から清代まで、中国に綿々と受け継がれた変幻自在な奇想・幻想小説 26 篇を精選。時代順に配列し、練達の中国文学者による新訳に解説を付して収録する。

毎日新聞 2018/12/23

2018:11./ 285p
978-4-582-83789-6
本体 ¥2,400+税

考証東京裁判～戦争と戦後を読み解く～(歴史文化ライブラリー 476)
宇田川 幸大 著
吉川弘文館
「東京裁判」は日本をいかに裁いたのか。帝国主義・植民地主義・レイシズム(人種差別)の発想と、今日の歴史認識問題にもつながる戦争観を重視し、膨大な史料を用いて裁判を再検証。不可視化された戦争被害を具体的に描く。

毎日新聞 2018/12/23

2018:10./ 7p,230p
978-4-642-05876-6
本体 ¥1,700+税

#名画で学ぶ主婦業
宝島社
眠らない我が子、毎日続く家事、自由奔放な夫、義母とのすれ違い…。止まらない心の叫びを主婦たちが「名画」にのせてツイートする、Twitter の人気ハッシュタグ「#名画で学ぶ主婦業」を書籍化。名画の解説も掲載する。

毎日新聞 2018/12/23

2018:8./ 127p
978-4-8002-8666-6
本体 ¥1,200+税

井伏さんの将棋(銀河叢書)
小沼　丹　著
幻戯書房
「終生の師」と仰いだ井伏鱒二をめぐる回想とその作品の魅力、太宰治・三浦哲郎など身近に接した作家たち、そして、静かに磨き上げた自らの文学世界…。文学や将棋・囲碁にまつわる随筆を収録する。

毎日新聞 2018/12/23

2018:12./ 315p
978-4-86488-158-6
本体 ¥4,000+税

マリアン・アンダースン
コスティ・ヴェハーネン、石坂　廬　著
アルファベータブックス
運命的な北欧デビューから米国史に残るリンカン記念堂の 75000 人コンサートまで。アメリカを代表する黒人クラシック歌手、マリアン・アンダースンと共に世界を駆け巡った伴奏者が綴る回想録。当時の貴重な写真も多数掲載。

毎日新聞 2018/12/23

2018:10./ 252p 図版16p
978-4-86598-057-8
本体 ¥2,000+税

総選挙はこのようにして始まった～第一回衆議院議員選挙の真実～
稲田　雅洋　著
有志舎
現代人の想像を超えた第一回総選挙の姿とは?「初期議会=地主議会」という通説のなか、解明されずにきた「財産」づくりの実態や選挙戦のあり様を、長年にわたる膨大な史料の博捜により解き明かす。

毎日新聞 2018/12/23

2018:10./
20p,366p,13p
978-4-908672-24-8
本体 ¥3,400+税

ミッドワイフの家
三木　卓　著
水窓出版
異性への畏怖、憧れ、情欲という切実な問題にぶつかる若者の姿を繊細に表現し、男女の機微を丁寧に描写することで、感受性豊かなイメージが喚起される。鋭敏な<性>の物語。表題作ほか全 3 編を収録。

毎日新聞 2018/12/23

2018:11./ 305p
978-4-909758-00-2
本体 ¥1,800+税

MARUZEN-YUSHODO